



申請番号 3094		経費項目 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年3月2日 から		活動の概要 調査			
平成 年 月 日 まで		県西部の連携事業について県支援の内容を調査すると共に県東部における連携のあり方について調査する。		自宅ー入善ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
(This area is reserved for receipts and is currently blank.)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



報告番号	3395	経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
実施期間	平成29年3月6日 から	実施内容	調査	
	平成 年 月 日 まで	実施内容	平成29年度県予算の歳入構造について調査すると共に、歳出の内容（投資的経費、義務的経費）から県予算の弾力性について調べる。	
実施場所	県議会	実施内容	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の内訳				
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440	
リース車	@18 ×	km =	0	
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



申請番号 <p style="text-align: center;">3396</p>		経費項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間 平成 29年3月8日 から		活動内容 調査	
平成 年 月 日 まで		1. 種子法廃止の県農業に対する影響について調査する。 2. 委員会質問について調査する。	
県議会		自宅一朝日IC-富山IC-県議会	
経費の内訳			
経費の内訳 鉄道・バス		経費の内訳 宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 60 km =	2220		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	2220
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



管理番号	3397	研究期間	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成 29年3月10日 から	活動内容	意見交換等	
活動場所	原議会	活動の目的	1. 寺林副知事と、県内市町村間の連携の実態と連携の必要性について意見交換を行う。 2. あいの風とやま鉄道の経営安定基金の支出計画について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-入善IC-自宅
経費の内訳		金額	経費の内訳	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440		
リース車 @18 × km =		0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



報告番号	3399		活動科目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費																																
活動期	平成29年3月13日	から	活動の概要	意見交換、調査																																	
	平成	年月日	まで	1. 朝日町笹原町長並びに魚津市村椿市長に会い、新川地域の広域連携の推進について意見交換を行う。 2. 図柄入りナンバープレート制度について調査する。																																	
活動場所	朝日町役場 魚津市役所 県議会			自宅-朝日町役場-魚津市役所-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日C-自宅																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>交通手段</th> <th>金額</th> <th>内容</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄道・バス</td> <td></td> <td>宿泊料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>タクシー</td> <td></td> <td>食事代</td> <td></td> </tr> <tr> <td>航空機</td> <td></td> <td>会費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自家用車 @37 × 125 km =</td> <td>4625</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>リース車 @18 × km =</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>有料道</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>駐車場</td> <td></td> <td>計</td> <td>4625</td> </tr> </tbody> </table>						交通手段	金額	内容	金額	鉄道・バス		宿泊料		タクシー		食事代		航空機		会費		自家用車 @37 × 125 km =	4625			リース車 @18 × km =	0			有料道				駐車場		計	4625
交通手段	金額	内容	金額																																		
鉄道・バス		宿泊料																																			
タクシー		食事代																																			
航空機		会費																																			
自家用車 @37 × 125 km =	4625																																				
リース車 @18 × km =	0																																				
有料道																																					
駐車場		計	4625																																		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>																																					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



経費総額	3400	使用科目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成29年3月14日	から	
終了日	平成 年 月 日	まで	
実施場所	黒部市役所 県議会	活動の内容	意見交換、調査 1. 黒部市堀内市長と新川地域の広域連携の推進について意見交換を行う。 2. 3月18日の入善町での県政報告並びに3月25日滑川市での講演のための資料収集や調査を行う。 自宅-黒部市役所-朝日事務所-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 135 km =	4995		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4995
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 4 月 11 日
 決裁 平成 29 年 4 月 12 日
 処理 平成 29 年 4 月 12 日



220		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月1日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	富山県でも普及が必要と思われる「アールブリュット」(生の芸術、障がい者の描く芸術)についての記録映像上映を見、その後、地域における障がい者の美術活動やその環境づくりについてのトークショーを聴いた。	自宅-朝日IC-滑川IC-高岡市美術館-小杉IC-黒部IC-自宅
高岡市美術館			
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 155 km =	5735		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	5735
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



報告番号	221	経費項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成 29年4月5日	から	活動の概要	調査活動
終了日	平成 年 月 日	まで	1. とやま未来創生戦略2017の見直し内容について、そのポイントを調べる。 2. 県総合計画の改定に対する自民党としての対応について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
場所	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



案内番号	222	資金項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
発着期間	平成29年4月11日 から	発着の概要	調査活動	
場所	県議会	平成 年 月 日 まで 常任委員会での議論に備えるため、滑川市における陸土砂採取を巡る問題点のポイントについて、関係課よりヒヤリングを行う。 2. 議会基本条例について論点を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の別名		金額	経費の別名	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



案内番号	223	経費項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開催期間	平成29年4月12日 から	活動の概要	調査活動	
開催場所	県議会	議事内容	議会基本条例の論点の内、会派規定並びに緊急事態への対応規定について、他県の内容を調べる。	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



管理番号	224		得意項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年4月14日	から	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	まで	1. 今年度の政調会活動方針にある、議員提案条例の見直しの観点から、「都市との交流による農山漁村地域活性化条例」のこれまでの成果と課題について調査する。2. 岩手県における県立高校再編議論の過程を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



225		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月17日	から	調査活動等	
平成 年 月 日	まで	1. 政調会正副部会長会議において、今年度の活動方針、県総合計画の見直しへの自民党の対応方針等について意見交換を行う。 2. 議会基本条例の論点の内、合議制と議員間討議に関する他県の内容を調べる。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



報告者

備考欄	226	経費項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成 29年4月19日 から	活動の内容	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 山崎副知事に、県立高校再編の議論の進め方の問題点について、他県の例を示しつつ説明し意見交換を行う。 2. 議会基本条例の論点の内、知事等の反問権に関する他県の内容を調べる。	自宅-朝日IC-富山IC-富山IC-朝日IC-自宅	
開催地	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



227		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年4月20日	から	調査活動等		
平成 年 月 日	まで	NPO法人グリーンツーリズムとやま理事長の長崎喜一氏と、都市との交流による農山漁村活性化条例の成果とグリーンツーリズムとやまの果たしてきた役割と課題、中山間地域の活性化策等について意見交換を行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会				
県議会				
		金額	内容	金額
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



案内番号	228	経費種別	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成 29年4月24日 から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 議会基本条例の論点の内、議会と住民との関係（特に、議会報告会の開催）に関する他県の内容を調べる。 2. 鳥根県の県立高校再編議論の内容を調べる。	自宅ー魚津ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



報告番号	229	経費項目	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成 29年 4月27日 から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日 まで	1. 議会基本条例の論点の内、議長、副議長の選挙に関する他県条例の内容を調べる。2. 代表質問項目の内、働き方改革に関する内容について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
開催地	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



期	230	
科目	03_広聴広報費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	ホームページホスティング代 (3月分)	
金額	8467	80%
合計	8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005311

鹿熊 正一 様 平成 29年 4月 12日

¥ 10,584-

但しHPホスティング料(3月分)
上記の金額正に領収いたしました。

内	印刷物代金	¥
外	印刷費	¥

株式会社 **まかの印刷**

代表取締役 **寛**

〒330-0828 栃木県宇都宮市下野町1-1-1

取扱者印

29-04-12

*10,584 万円 JHP

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



報告番号	281		
経費項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	ホームページホスティング代 (4月分)		
積算の内訳	金額(円)	比率	
	8467	80%	
(合 計)	8467		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005320

鹿熊正一 様 平成29年5月12日

¥ 10,584-

値しHPホスティング代(4月分)
上記の金額正に領収いたしました。

内 印刷機代金	金額
外 消費税	金額

株式会社 印刷
代表取締役 高橋 寛
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

取 入
印 紙
取扱者印

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



事業番号	232	事業名				
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	(一財)北陸経済研究所29年度賛助会費 (月刊 北陸経済研究購読費)					
備 考	経費の内容	金額(円)	備 考			
		10000				
	合 計	10000				
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 年 月 日

請求書

平成 29 年 4 月 3 日

鹿熊 正一 様

下記のとおりご請求申し上げます。

¥ 10,000.

請求内訳
(29年度賛助会費)

振込先 北陸銀行 富山丸の内支店
普通口座 No.4066180
振替口座 金沢00,00-5-17267

「振込金受取書」をもって領収証に代えさせていただきます。

一般財団法人 北陸経済研究所



〒930-8507
富山市丸の内1丁目8-10
TEL 076 (433) 1134

振替払込請求書兼受領証

記載事項を訂正した場合は、その箇所を訂正印を押してください。

口座記号番号	00700-5	通存払込 付金加入 者印
加入者名	(一財)北陸経済研究所	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円 1 0 0 0 0	
ご依頼人	おなまえ 鹿熊正一 様	
料金	日 附 印 29-04-11 富山県庁内 郵便局	
備考	(32185) N94190008	

この受領証は、大切に保管してください。



報告者*

事業番号	233		
経費項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	新聞代金		
	経費の名称	金額(円)	備 考
	富山新聞	6120	3月分並びに4月分 /
	北日本新聞、日経新聞	6742	4月分
	読売新聞	3093	4月分
	合 計	15955	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

収受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

年月日	摘要	お支払い金額(円)	お預かり金額(円)	差し引き残高(円)
29-04-03		*3,060	トヤマシンブン	
29-05-01	新聞代金	*6,742		
29-05-02		*3,060	トヤマシンブン	



領収書

区域	全戸No	お問い合わせ先
34	84.00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

29年 4月分

84-8305

経 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 29年 5月 4日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。



経理番号	234					
経費科目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	事務所賃借料 (4月分並びに5月分)					
	内容	金額(円)		割合		
	4月分	15000		50%		
	5月分	15000		50%		
	合 計	30000				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

振込金受取書(兼振込手数料受取書)
 預金払戻請求による振込受取書(兼振込手数料受取書)
 預金払戻請求(該当しない方を二条線により捺消する。)

お願い
 ・振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この期日を過ぎた場合は、翌営業日のお取扱いとなりますことありませぬのでご了承ください。

ご注意
 ・電信送の場合には、受取人名等をカナ文字で送信いたします。
 ・ご記入相違などの不備がありまは、照会等のため、振込が遅延することがあります。
 ・やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがありましても当金庫は責任を負いません。

定期的に、決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞお取扱店窓口までお申し出ください。

※口座振替の特は不要

振込(振込)項目
 当・管・他

収入印紙
 会員外且つ5万円(振込金+手数料)以上取付

受付
 29.4.-4
 三井住友信用金庫 柳支店

にいかち信用金庫 柳支店
 取扱店

当金庫をご利用くださいますようお願い申し上げます。
 今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

ご依頼日	29.4.29	店	柳
振込先	〒[] [] [] []	〒	[] [] [] []
預金種目	[] [] [] []	口座番号	[] [] [] [] [] [] [] []
フリガナ	おなまえ [] [] [] [] [] [] [] []	フリガナ	おなまえ [] [] [] [] [] [] [] []
おとこ	[] [] [] [] [] [] [] []	おとこ	[] [] [] [] [] [] [] []
電話	() [] [] [] [] [] [] [] []	電話	() [] [] [] [] [] [] [] []
金額	十萬千円百拾万	千	百
手数料	[] [] [] [] [] [] [] []	元	[] [] [] [] [] [] [] []
振込方法	振込	金額	300,000
お名前	鹿熊正一後援会 様		

手数料には消費税が含まれています。

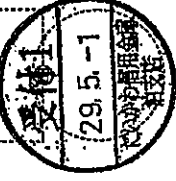
振込金受取書(兼振込手数料受取書) 預金払戻請求書による振込受付書(兼振込手数料受取書) 預金払戻請求書(該当しない方を二条線により捺消する。)

※口座振替の場合は不要

振替(振替)項目
当(普)他

振込金として現金または有価証券(当座小切手等)を受領した場合は、「振込金受取書(兼手数料受取書)」預金払戻請求書による場合は、「振込受付書(兼手数料受取書)」として使用しています。

収入印紙
金額に基つて5万円以内
振込金+手数料



いかり信用金庫

泊支店
取扱店

当金庫をご利用くださいましてありがとうございます。
今後ともよろしく願い申し上げます。

お願い
●振込依頼書は、なるべく午後2時までにお願いします。この時刻以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることありまますのでご了承ください。

ご注意
●電信振の場合には、受取人名等をカナ文字で送りました場合、照会等のため、振込が遅延することがあります。
●やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがありますが、それでも当金庫は責任を負いません。

定期的に決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞ取扱店窓口までお申し出ください。

手数料には消費税が含まれています。

<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>金額</td><td>29</td><td>0</td><td>15</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	金額	29	0	15	0	0	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>金額</td><td>9</td><td>3</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	金額	9	3	0	0	0	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>千円</td><td>1</td></tr> </table>	千円	1	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>万円</td><td>9</td></tr> </table>	万円	9	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>千円</td><td>3</td></tr> </table>	千円	3	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>百円</td><td>0</td></tr> </table>	百円	0	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>十円</td><td>0</td></tr> </table>	十円	0	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>円</td><td>0</td></tr> </table>	円	0	<table border="1" style="width:100%; font-size: small;"> <tr><td>円</td><td>0</td></tr> </table>	円	0
金額	29	0	15	0	0																													
金額	9	3	0	0	0																													
千円	1																																	
万円	9																																	
千円	3																																	
百円	0																																	
十円	0																																	
円	0																																	
円	0																																	
電話 取扱店		電話 振込先		電話 振込先		電話 振込先		電話 振込先																										
お名前	お名前							お名前	お名前																									
お住所	お住所							お住所	お住所																									
お電話番号	お電話番号							お電話番号	お電話番号																									
お印鑑	お印鑑							お印鑑	お印鑑																									
お振込先	お振込先							お振込先	お振込先																									

事務所賃貸料覚書

富山県議会議員 鹿熊正一（以下「甲」という）と鹿熊正一後援会（以下、「乙」という）とは、事務所の賃貸料について、次の条項により覚書を締結する。

第1条 甲と乙は、賃貸人 [REDACTED]（以下、「丙」という）からの借受物件は、これを共同して使用するものとする。

第2条 甲と乙は、本物件を、富山県議会議員 鹿熊正一事務所兼鹿熊正一後援会事務所として使用し、その他の用途には使用しないものとする。

第3条 使用貸借の期間は、平成27年6月1日から平成28年5月31日までとする。以降においても、甲乙及び丙から申し出がなければ、1年間ずつ更新するものとする。

第4条 賃貸料は、月30,000円とする。

第5条 甲は、前条に定める賃貸料の2分の1を負担し、乙は、その残額の全てを負担する。丙に対する支払いは、乙が一括してこれを行うものとする。

第6条 甲は、乙に対し、前条に定める賃貸料15,000円を毎月10日までに支払うものとする。

第7条 この契約に定めのない事項については、必要に応じ甲乙協議して定めるものとする。

この覚書の締結を証するため、この覚書2通を作成し、両者記名押印のうえ、各自1通を保管するものとする。

平成27年6月1日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町1495

自由民主党富山県議会議員

鹿熊正一 [REDACTED]

乙 富山県下新川郡朝日町沼保977-1

鹿熊正一後援会 [REDACTED]

建物賃貸借契約書（事務用）

賃貸人 [REDACTED]（以下「甲」）と、賃借人 鹿熊正一後援会（以下「乙」）は、建物の賃貸借に関し、次のとおり契約（以下「本契約」）を締結した。

（賃貸借の目的物）

第1条 甲は、乙に対し、次条以下の条件により、次に表示する物件（以下「本建物」）を賃貸する。

所在地 富山県下新川郡朝日町沼保 977-1

（使用目的）

第2条 乙は、本建物を事務所の目的にのみ使用する。

（契約期間）

第3条 本契約の期間は、平成27年 6月 1日より、平成28年 5月31日までの1カ年間とする。ただし、契約期限の2カ月前までに甲乙双方より特段の意思表示がないときは、自動的に同一条件で1年間契約が更新されるものとする。

（賃料）

第4条 賃料は1カ月金 3万円とする。

（賃料等の支払時期及びその方法）

第5条 毎月10日までに振込口座「[REDACTED] No. [REDACTED]」に振込入金とする。賃料と諸費用（以下「賃料等」）の当月分を甲の指定する方法により甲に支払う。なお、契約月の賃料等は1カ月を30日とした日割計算とする。

（賃料等の改訂）

第6条 甲は、賃料等が経済事情及び公租公課の変動または近隣の賃料等との比較により不相当となった場合、契約期間中であっても、賃料等の増額を請求することができる。

（公租公課）

第7条 本建物に関する公租公課は、甲が支払う。

（公共料金）

第8条 電気、ガス、水道等公共料金は、乙が支払う。

(少修繕義務)

第9条 本建物の部分的な小修繕は、乙がその費用を負担して行う。

(本建物等の破損等による損害賠償義務)

第10条 乙は、自己又は乙の同居者等の故意・過失により、本建物及び設備を破損・毀損、滅失、故障等させたときは、その損害を甲に賠償しなければならない。

2 乙が甲の承諾なく本建物に変更を加えたときは、甲はただちにこれを現状に回復させ、又は損害を賠償させることができる。

(契約解除)

第11条 甲は、乙が次の各号の一に該当したときは、催告その他の法定の手続きによらず、ただちに本契約を解除できる。

- 一 賃料を2カ月分以上滞納したとき
- 二 2カ月以上不在となり、本契約の継続意思がないと認められるとき
- 三 その他本契約に違反したとき

(行方不明の場合の措置)

第12条 前条第2号の場合、甲は連帯保証人その他立会人の立ち会いの上、乙の家財その他の所有物（以下「所有物等」）を適当な方法により任意の場所に保管し、その後1カ月を経過しても引取人のないときは、乙は所有物等に関する一切の権利を放棄する。

(契約の即時終了)

第13条 本契約は、次の各号のいずれかに該当する場合は、甲は乙に通知することなく、即時に終了する。

- 一 本建物が火災、地震等の災害その他の理由により滅失したとき
- 二 本建物の全部又は一部が公権力等により買い上げ、收容又は使用されることが判明したとき

(延滞損害金)

第14条 乙は、本契約により生じる金銭債務の支払いを遅滞したときは、延滞損害金として支払日までの利息年率10%を支払う。

(賃貸人の立入り)

第15条 甲は、緊急事態の発生及び本建物の維持管理上必要があると認められるときは、本建物内へ立入ることができる。

(建物の明渡し)

第16条 乙は、本建物の明渡しに際し、乙の保有する所有物等をすべて収去しなければ

ならない。

2. 甲の承諾なく本建物に加えた変更については、本契約時の原状に復し、甲の立ち会いのもと本建物の引渡しを行う。

3. 乙は、本契約終了時に、本建物の明渡しをしない間は、その開始月より月割で賃料等相当額の損害金を支払う。

4. 乙は、本建物の明渡しに際し、甲に対して移転料その他の名目で金銭を請求することはできない。

(訴訟管轄)

第17条 本契約に関する訴訟は、本建物所在地の管轄裁判所とする。

[特約事項]

以上、本契約の成立を証するため、この契約書を2通作成して、当事者署名捺印の上、甲乙各1通を保有する。

平成 27 年 6 月 / 日

甲 (賃貸人) 住所 [REDACTED]

氏名 [REDACTED]

乙 (賃借人) 住所 富山県下新井郡朝日町沼保277-1

氏名 鹿熊正一後援会 [REDACTED]



	235		
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
内容	電気料金 (3月分及び4月分)		
	3月分	3580	50%
	4月分	2558	50%
		6138	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

- 17 [Redacted]
- 18 [Redacted]
- 19 D29- 4-10 電気料金 7,160 株式会社〇〇〇〇 [Redacted]
- 20 [Redacted]
- 21 [Redacted]
- 22 [Redacted]
- 23 D29- 5-12 電気料金 5,116 株式会社〇〇〇〇 [Redacted]
- 24 [Redacted]

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

鹿熊正一事務所の経費按分に関する覚書について

政務調査活動に係る事務所経費について、鹿熊正一後援会と鹿熊正一の経費按分の内、鹿熊正一の負担割合は次の通りとする。

1. 電気料、コピー経費、事務消耗品 50%
2. ホームページ管理費 80%

平成29年4月1日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町1495
富山県議会議員 鹿熊正一

乙 富山県下新川郡朝日町沼保977-1
鹿熊正一後援会



事業番号	236	事業名称	
経費種別	09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容	電話代（3月請求分並びに4月請求分）		
請求内容 金額(円)	3月請求分	1818	50%
	4月請求分	1319	50%
	合計	3137	
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）			

收受 平成 29年5月22日
 決裁 平成 29年5月24日
 処理 平成 29年5月24日

郵便番号

郵便番号

お知らせ

口座振替のご案内 (西日本ご利用分)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER)	請求年月 (MONTH OF ISSUE)	振替日 (TRANSFER DAY)
0765-84-8200	2017年 4月ご請求分	2017年 4月25日(火)
振替金額 (TRANSFER AMOUNT OF MONEY)	2,638円	

※振替日に振替が出来なかった場合は延滞利息を加算させていただく場合があります。
※11日振替をご利用のお客様で、振替日に振替ができなかった場合は、原則、振替日から
お引立て15日後に再度振替させていただきます。

NTTファイナンス株式会社 電話料金等料金領収証 (西日本ご利用分)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER) 0765-84-8200

ご請求先氏名(CUSTOMER NAME)
眞藤 正一様

下記、ご利用料金を口座振替により領収いたしました。
The following amount was transferred from your account. (2017年 4月12日発行)

2017年 3月ご請求分 (2017年 3月27日振替)	領収金額 (AMOUNT RECEIVED)	3,637円
金融機関名 BANK/BRANCH	[REDACTED]	
口座番号 ACCOUNT	[REDACTED]	

印紙税申告納付につき
税務署承認済

NTTファイナンス株式会社
〒108-0075
東京都港区港南1-2-70

{NTTファイナンスからのお知らせ}
*** NTTグループ各社ご請求金額 ***
NTT西日本分ご請求額 (合計) 2,638円
2,638円 詳細については、「ご請求内訳」をご覧ください。

*** 振替口座のお知らせ ***
振替口座情報
金融機関名: [REDACTED]
口座番号: [REDACTED]

*** NTTファイナンスからのお知らせ ***
*** NTT西日本からのお知らせ ***
フレッツ光の割引サービス (光もともと割、Web光もともと割、どーんと割、どーんと学割) は割引契約期間満了時に
契約が自動延伸されます。自動延伸をご希望されない場合はNTT西日本へご連絡が必要です。
割引適用期間中 (自動延伸後を含む) に本割引サービスを解約された場合、解約金が発生する場合があります。
なお、割引適用期間の満了月とその翌月に解約した場合には解約金は発生いたしません。
詳しくはNTT西日本フレッツ公式サイト [http://flets-w.com/war1/] でご確認ください。

M300B1391002 06838 06838 00 G

口座振替のご案内 (西日本ご利用分)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER)	請求年月 (MONTH OF ISSUE)	振替日 (TRANSFER DAY)
0765-84-8200	2017年 5月ご請求分	2017年 5月25日(木)
振替金額 (TRANSFER AMOUNT OF MONEY)	1,804円	

※振替日に振替が出来なかった場合は延滞利息を加算させていただく場合があります。
※11日振替をご利用のお客様で、振替日に振替ができなかった場合は、原則、振替日から
お引立て15日後に再度振替させていただきます。

NTTファイナンス株式会社 電話料金等料金領収証 (西日本ご利用分)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER) 0765-84-8200

ご請求先氏名(CUSTOMER NAME)
眞藤 正一様

下記、ご利用料金を口座振替により領収いたしました。
The following amount was transferred from your account. (2017年 5月12日発行)

2017年 4月ご請求分 (2017年 4月25日振替)	領収金額 (AMOUNT RECEIVED)	2,638円
金融機関名 BANK/BRANCH	[REDACTED]	
口座番号 ACCOUNT	[REDACTED]	

印紙税申告納付につき
税務署承認済

NTTファイナンス株式会社
〒108-0075
東京都港区港南1-2-70

{NTTファイナンスからのお知らせ}
*** NTTグループ各社ご請求金額 ***
NTT西日本分ご請求額 (合計) 1,804円
1,804円 詳細については、「ご請求内訳」をご覧ください。

*** 振替口座のお知らせ ***
振替口座情報
金融機関名: [REDACTED]
口座番号: [REDACTED]

*** NTTファイナンスからのお知らせ ***
*** NTT西日本からのお知らせ ***
フレッツ光の割引サービス (光もともと割、Web光もともと割、どーんと割、どーんと学割) は割引契約期間満了時に
契約が自動延伸されます。自動延伸をご希望されない場合はNTT西日本へご連絡が必要です。
割引適用期間中 (自動延伸後を含む) に本割引サービスを解約された場合、解約金が発生する場合があります。
なお、割引適用期間の満了月とその翌月に解約した場合には解約金は発生いたしません。
詳しくはNTT西日本フレッツ公式サイト [http://flets-w.com/war1/] でご確認ください。

M300B1391002 06795-06795 00 G

報告者*



	237		
09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
コピーリース代			
15098	50%		
15098			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
13: [REDACTED] 14: [REDACTED] 15: D29- 5- 8 30,196 比研社 [°] 別 [REDACTED] 16: [REDACTED]			

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日

〒939-0742

富山県下新川郡朝日町沼保1173-1

熊正会 代表 鹿熊 正一 様

平成 29 年 03 月 27 日

〒261-7104

千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1

WBGマリアウエスト棟4階

◎日立キャピタル株式会社

リース事務センター

TEL 043-382-4216 FAX 043-382-4213

担当者

2904-14062-763



再リース契約手続完了のお知らせ

兼 再リース料請求のご案内

拝 啓

貴社益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。平素は格別の御引立を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、先般当社から送りいたしました『リース契約期間満了に伴う契約手続のご案内』により、ご案内させて頂きました通り、下記内容にてリース物件全部の再リースの契約手続を本日完了させて頂きましたことをお知らせ申し上げます。

つきましては、本書をもって、下記の通り再リース料のご案内を申し上げます。再リース料は下記内容にてお支払いをいただきます様お願いいたします。引き続き再リースをご利用賜り、誠にありがとうございました。尚、下記再リース物件につき継続使用中でない場合はご連絡下さい。

敬 具

【再リース契約のご案内】

契約番号	8100119384	発行番号	2904-14062-763
契約者	熊正会 代表 鹿熊 正一 様		
再リース期間	平成 29 年 4 月 4 日 ~ 平成 30 年 4 月 3 日		
再リース料	30,196 円(消費税等含む)		
お支払い方法	平成 29 年 5 月 7 日に下記口座より自動振替させていただきます。 *** ユウセイカイ カクマ マサカズ		
リース物件	デジタル複合機 DocuCentre-3 デジタル複合機 富士ゼロックス	設置場所	沼保 鹿熊事務所 殿町 鹿熊事務所
その他の条件	原リース契約に準じます。(動産総合保険は付保いたしません)		



経路番号	208		事業年度		
債権項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	コピー用紙代、 インク代				
	経費の区分	金額(円)	備 考		
	コピー用紙	966	/		50%
	インク	1782			50%
		2748			
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を複数枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

収受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

お買上明細書

2017年 5月 1日(月)09:55 0832-0001
 5423
 領収証No 000014002

● 28*21"-用紙 A4	¥1,390	✓
(6個 x @27B)		
まとめ値引BS 1回	-140	✓
● 28*21"-用紙 B5	¥228	✓
小計	¥1,478	
(消費税)	8% ¥109	

5423 領収証 000014002号

熊正会 様

¥1,478.

(消費税 ¥109を含みます。)但し

扱者印



2017年05月01日 上記正に領収しました。
 株式会社 コメリ 朝日店
 新潟県新潟市南区清水4501-1
 TEL. 0765-83-9025

◇◇印刷面を内側に折って保管して下さい。◇◇

● コピ-用紙 $1,478 + 45\% = 1,932 \times 0.5$
 ● インク $3,564 \times 0.5$

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店

Tel : 0765-83-3223

2017/05/11(木) 09:45

担当 :

■ 領収証 ■

● 文具 160-用紙	454	✓
200200004932		
● 文具 インク	3,564	✓
200200004932		

合計 ¥4,018
 お預り ¥10,018
 (消費税等 ¥298)
 (お買上げ点数 2)

お釣り ¥6,000

レシートNo. 00145971 店 4213-01



000042130100145971



整理番号	239	
経費項目	10_人件費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	人件費 (4月分)	
上記の経費の内訳	経費の内容	金額 (円)
		35209
	(合計)	35209
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

給料計算書

月	日	曜日	就業時間	時間	月	日	曜日	就業時間	時間
4	1	土			4	16	日		
	2	日				17	月	9:00~15:00	5
	3	月				18	火	11:00~15:00	3
	4	火	9:00~15:00	5		19	水	9:00~15:00	5
	5	水	9:00~15:00	5		20	木	9:00~15:00	5
	6	木	9:00~15:00	5		21	金	9:00~15:00	5
	7	金	9:00~15:00	5		22	土		
	8	土				23	日		
	9	日				24	月	9:00~15:00	5
	10	月	9:00~15:00	5		25	火	10:00~15:00	4
	11	火	9:00~15:00	5		26	水	9:00~15:00	5
	12	水	9:00~15:00	5		27	木	9:00~15:00	5
	13	木				28	金	9:00~15:00	5
	14	金				29	土		
	15	土				30	日		
			小計	35				小計	47
								合計	82

(時給) (時間)	交通費	
850 × 82 = 69,700円 /	1,000 円	70,418円
(雇用保険・被保険者負担分)	(5割)	35,209円
70,700 × 4 / 1000 = 282円	(5割)	35,209円

領収証

自由民主党富山県議会議員
 鹿熊正一様

¥ 35,209 円 /

平成29年 5 月 / 日

上記金額正に領収いたしました



使用人賃金等分担契約書

富山県議会議員鹿熊正一(以下、「甲」という。)と、鹿熊正一後援会(以下、「乙」という。)は、共同して使用する使用人の賃金等について、次の条項により契約を締結する。

(雇用期間)

第1条 雇用期間は、特に定めない。

(賃金の額)

第2条 賃金は、時間給とし、一時間850円とする。
交通費は、必要額を支給する。

(賃金の分担割合)

第3条 甲は、前条に定める賃金の50%を負担し、乙は、その残額の全てを負担するものとする。

(賃金等条件の変更)

第4条 甲及び乙との間で、その雇用契約に定める賃金等の変更がなされた場合は、甲乙双方の協議のうえ、新たに負担割合を協議するものとする。

(協議)

第5条 この契約に定めのない事項については、必要に応じて甲乙が協議して定めるものとする。この契約の締結を証するため、この契約書2通を作成し、両者記名押印のうえ、各自一通を保有するものとする。

平成23年7月1日

甲 富山県下新川郡朝日町殿町1-495

鹿熊正一

乙 富山県下新川郡朝日町沼保1173-1

鹿熊正一後援会



活動番号	482		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
	平成29年4月1日	から	活動の概要		
	平成29年4月30日	まで	(内容) 高速代	(備考)	
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 ×	km =	0			
リース車 @18 ×	km =	0			
有料道		21670			
駐車場		計		21670	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日

ご利用年月日	ご利用店名	ポイント	ご利用金額(円)	お支払方法	今回ご請求金額(円)	摘要
			0.00	現金	0.00	現金一括
		★	1,450	1回払	1,450 ETC	
		☆				
		☆				
		☆				
		☆				
7/45	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/41	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/42	ETC通行料金	☆	1,210	1回払	1,210 ETC 黒部	富山 普通車
		☆				
7/44	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/47	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/49	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/42	ETC通行料金	☆	1,290	1回払	1,290 ETC 朝日	富山 普通車
		☆				
7/42	ETC通行料金	☆	1,440	1回払	1,440 ETC 富山	朝日 普通車
		☆				
	** 今回ご利用金額合計 **		35,710			
	** ご請求金額合計 **				35,710	

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示。※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ボーナス1回払い・ボーナス2回払い)。※今回回数:今回のお支払いが何回目かを表示。
 ※清算:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(※外でのご利用には取扱い別・通貨別・清算レート)を表示。○は支払方法を変更できます。ただし一部ご来店にお応えできない場合がございます。

TSSCARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDモール (<http://ts3card.com>) でご確認ください。
 ※一部のカードはTS3CARDモールの提供サービス内容が異なる場合がございます。

カードNO.は各店舗でご利用のETC専用
 番号の異なるETC専用カードNO.はETC専用
 番号の異なるETC専用カードNO.はETC専用
 番号の異なるETC専用カードNO.はETC専用
 番号の異なるETC専用カードNO.はETC専用



220		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月1日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	富山県でも普及が必要と思われる「アールブリュット」(生の芸術、障がい者の描く芸術)についての記録映像上映を見、その後、地域における障がい者の美術活動やその環境づくりについてのトークショーを聴いた。	自宅-朝日IC-滑川IC-高岡市美術館-小杉IC-黒部IC-自宅
高岡市美術館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 155 km =	5735	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	5735
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



221		02_研修費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年4月5日	から	調査活動			
平成 年 月 日	まで	1. とやま未来創生戦略2017の見直し内容について、そのポイントを調べる。 2. 県総合計画の改定に対する自民党としての対応について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅		
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



222		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月11日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	常任委員会での議論に備えるため、滑川市における陸土砂採取を巡る問題点のポイントについて、関係課よりヒヤリングを行う。 2. 議会基本条例について論点を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



225	02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月12日 から	調査活動	
平成 年 月 日 まで	議会基本条例の論点の内、会派規定並びに緊急事態への対応規定について、他県の内容を調べる。	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅
県議会		
鉄道・バス		宿泊料
タクシー		食事代
航空機		会費
自家用車 @37 × 120 km =	4440	
リース車 @18 × km =	0	
有料道		
駐車場		計 4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>		

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



24		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月14日	から	調査活動	
	まで	1. 今年度の政調会活動方針にある、議員提案条例の見直しの観点から、「都市との交流による農山漁村地域活性化条例」のこれまでの成果と課題について調査する。2. 岩手県における県立高校再編議論の過程を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



225		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年4月17日	から	調査活動等	
平成 年 月 日	まで	1. 政調会正副部会長会議において、今年度の活動方針、県総合計画の見直しへの自民党の対応方針等について意見交換を行う。 2. 議会基本条例の論点の内、合議制と議員間討議に関する他県の内容を調べる。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日

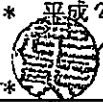


報告者

226		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年4月19日	から	活動の概要	調査活動
平成 年 月 日	まで	1. 山崎副知事に、県立高校再編の議論の進め方の問題点について、他県の例を示しつつ説明し意見交換を行う。 2. 議会基本条例の論点の内、知事等の反問権に関する他県の内容を調べる。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
の内容		金額	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



227		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年4月24日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例の論点の内、議会と住民との関係（特に、議会報告会の開催）に関する他県の内容を調べる。 2. 鳥根県の県立高校再編議論の内容を調べる。	自宅ー魚津ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 5 月 22 日
 決裁 平成 29 年 5 月 24 日
 処理 平成 29 年 5 月 24 日



229		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年 4月27日	から	活動の概要	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例の論点の内、議長、副議長の選挙に関する他県条例の内容を調べる。2. 代表質問項目の内、働き方改革に関する内容について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
県議会				
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 5月 22日
 決裁 平成 29年 5月 24日
 処理 平成 29年 5月 24日



483		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年5月1日	から	調査、勉強会	
平成 年 月 日	まで	1. 学習や学校生活に困難を抱える子どもの課題解決のためのワーキンググループ平成29年度第1回研修会 別紙	自宅ー黒部ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 6月 26日
 決裁 平成 29年 6月 27日
 処理 平成 29年 6月 27日

平成29年4月吉日

各位

学習や学校生活に困難を抱える子どもの
課題解決のためのワーキンググループ
リーダー 武田慎一

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび以下の要領で平成29年度第一回研修会を開催いたします。
参加をご希望の方は、下記の申し込み用紙にてFAXでお申込みください。
皆様のご参加をお待ちしております。

記

平成29年度第一回研修会

日時 平成29年5月1日(月) 13時30分～15時
場所 富山県議会議事堂大会議室
内容 講演
「ひとのまという一軒家からみえるもの」
コミュニティハウスひとのま代表
宮田 隼氏

【講師プロフィール】

- 宮田 隼 (みやた じゅん) プロフィール
- 生年月日：1983年3月19日生まれ。
- 出身：愛知県生まれ福岡県育ち。
- 職歴：大学卒業後、愛知県にて教育関連企業に就職。そこで不登校やひきこもりの問題に直面する。その後、その問題を中心に取り組むことを決め、富山県にて学習塾「寺子屋みやた」を創業。翌年、不登校・ひきこもりのフリースクール「ひとのま学園」をスタート。その翌年、誰もが気軽に使える一軒家、「コミュニティハウスひとのま」をスタート。

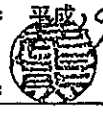
きりとり線

<FAX送信先>

FAX番号 (076) 441-8421 武田慎一宛
平成29年度第一回研修会に

参加します

ご氏名 廣 悠 正 一



484		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月2日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 新川農林振興センターの飯田所長と、管内の鳥獣被害状況、農地集積状況、コメ新品種等について意見交換を行う。 ②. 柔道整復師が、県内市町村において介護予防に関わっている実情について調査する。		自宅—黒部IC—魚津IC—新川農林振興センター—県議会—自宅	
新川農林振興センター 県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 125 km =	4625			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4625	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は、主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年6月26日
 決裁 平成29年6月27日
 処理 平成29年6月27日



485		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月8日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 議会基本条例について、論点整理のための調査を行う。 2. 島根県における高校再編議論の状況について調査する。		自宅—県議会—自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



486		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月9日	から	調査			
平成 年 月 日	まで	1. 総務省大臣官房参事官の新田一郎氏に会い、朝日町や富山県の諸問題について意見交換を行う。 2. 経済産業省ヘルスケア産業課長の江崎氏、同課医療・福祉機器産業室長補佐の向野氏に会い、朝日町の産学ベンチャー企業のアムノスの今後の展開等について意見交換を行う。		自宅ー黒部宇奈月温泉駅 ー東京駅ー総務省、経済産業省ー東京駅ー黒部宇奈月温泉駅ー自宅	
総務省 経済産業省					
鉄道・バス	北陸新幹線	22470	宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 30 km =	1110			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		23580
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 6月 26日
 決裁 平成 29年 6月 27日
 処理 平成 29年 6月 27日

領 収 書 鹿熊正一様

Receipt
領収年月日 2017.-5.-9

金額 ￥11,130 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(30136 1枚)

西日本旅客鉄道株式会社

黒部宇奈月温泉駅

黒部宇奈月MK1発行 40137-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領 収 書 鹿熊正一様

Receipt
領収年月日 2017.-5.-9

金額 ￥11,340

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(00210 1枚)

東日本旅客鉄道株式会社


池袋駅

池袋駅VF3発行 .10211-01

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

県外・海外政務活動報告書

平成29年6月26日

整理番号	486	会派・議員名	
活動名称	調査活動		
目的	朝日町並びに富山県の諸課題について、関係省庁と意見交換を行う。		
日程	平成29年5月9日(火)		
場所 [国名・都市名、施設名、訪問先等]	総務省並びに経済産業省		
相手方等 [主催者、対応者、参加者、同行者等]	総務省 新田一郎氏。 経済産業省 江崎禎英氏、向野陽一郎氏。		
<p>行程・活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務省の新田氏とは、朝日町や富山県の諸課題について意見交換を行う。 ・ 経済産業省の江崎氏、向野氏とは、朝日町に立地する産学連携一企業「アムス」の今後の事業展開について意見交換を行う。 			

※日掃りの政務活動を含む。



総務省

大臣官房参事官
併任復興特別交付税室長

新田一郎

〒100-8926 東京都千代田区霞が関二丁目1番1号
FAX 03-3152-5311 FAX 03-3152-5311
E-Mail: [redacted]

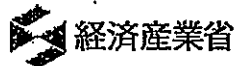


経済産業省

商務情報政策局 ヘルスケア産業課
医療・福祉機器産業室
室長補佐 (総括担当)

向野陽一郎

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
Tel 03-3501-1562 Fax 03-3501-6794



経済産業省

ヘルスケア産業課長

江崎禎英

商務情報政策局
東京都千代田区霞が関1丁目3番1号
Tel 03-3501-1790 Fax 03-3501-0315
http://www.meti.go.jp



487		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月10日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 議会基本条例の論点整理のための調査を行う。 2. 代表質問に関して、都市との交流による農山漁村活性化条例の成果について調査する。		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =			4440	
リース車	@18 × km =			0	
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



788		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月12日	から	調査			
平成 年 月 日	まで	1. 代表質問に関して、①地方自治の確立を巡る現憲法規定と憲法改正の議論、②ひきこもり対策の現状、について調査する。		自宅-朝日IC-滑川IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 6月 26日
 決裁 平成 29年 6月 27日
 処理 平成 29年 6月 27日



489		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月17日 から		視察、調査			
平成 年 月 日 まで		1. 新湊マリナー拡張整備の概成記念式典に出席し、新クラブハウスや大型艇用クレーンの整備状況を視察する。 2. 新総合計画に対する提言に向けて、経済建設部会による執行部ヒヤリングを行う。		自宅-朝日IC-滑川IC-新湊マリナー県議会-自宅	
新湊マリナー県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 132 km =	4884			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4884	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日

富山県新湊マリーナ 拡張整備 概成記念式典のご案内

謹啓 陽春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます
さてこの度かねてから新湊マリーナにおいて整備を進めておりました
新クラブハウスおよび大型艇用クレーンなどが完成し供用の運びと
なりました
これもひとえに関係各位の絶大なるご支援とご協力の賜と厚くお礼
申しあげます
つきましては、左記により概成記念式典を挙行いたしたいと存じます
ので、ご多忙の折誠に恐縮ですが、ご臨席賜りますようご案内申しあ
げます

謹言

平成二十九年四月吉日

富山県知事 石井 隆一

記

一、日時 平成二十九年五月十七日(水)

午前十時より(午前九時半より受付開始)

一、会場

射水市湊町二番地

富山県新湊マリーナ

(別紙会場案内図のとおり)

尚 お手数ながらご出席の有無を 同封いたしました返信ハガキにて
五月一日(月)までにお知らせ下さいませようお願い申し上げます
ご臨席の際は 本状を受付にご提示ください

連絡先 富山県富山新港管理局企画管理課
電話 (0766) 84-8292

自由民主党政務調査会
経済建設部会

日時：平成29年5月17日（水）

13:00～

場所：議事堂2階 210会議室

1 開会

2 執行部ヒアリング

<内容>

各課の抱える中・長期的な課題や取り組むべき施策、懸案事項など
3から4点について(各課15分程度)

【土木部】 13:00～

- ・管理課 及び 建設技術企画課
- ・道路課
- ・河川課
- ・砂防課
- ・都市計画課
- ・建築住宅課
- ・港湾課

【企業局】 15:00～

- ・電気課
- ・水道課

※【商工労働部】 5月19日（金） 9:00～ 210会議室



490		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月19日	から	調査 要望活動			
平成 年 月 日	まで	1. 新総合計画提言に向けて、部会による執行部ヒヤリングを行う。 2. 国土交通省北陸整備局長他に対し、富山県の社会資本整備の推進等に関して要望する。		自宅ー朝日ICー富山ICー県議会・ホテルグランテラス富山ー自宅	
県議会 ホテルグランテラス富山					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日

自由民主党政務調査会
経済建設部会

日時：平成29年5月19日(金)

9:00～

場所：議事堂2階 210会議室

1 開会

2 執行部ヒアリング

<内容>

各課の抱える中・長期的な課題や取り組むべき施策、懸案事項など
3から4点について(各課15分程度)

【商工労働部】 9:00～

- ・商工企画課
- ・労働雇用課
- ・経営支援課
- ・商業まちづくり課
- ・立地通商課
- ・職業能力開発課

※13:30～ 新幹線合同決起大会 オックスカルパークホテル
(13:05に県庁正面からバス出発)

<15:00~15:20>

自民党富山県議会議員会「要望会」

会場：ホテル「グランテラス富山」2F 朝霧の間

次第

挨拶 自民党富山県議会議員会 会長 鹿熊 正一

要望書の概要説明

政務調査会長 武田 慎一

挨拶 北陸地方整備局長 中神 陽一

<出席者> 北陸地方整備局

中神 陽一 局長

福濱 方哉 富山河川事務所長、

古本 一司 黒部河川事務所長、

大坂 剛 立山砂防事務所長

山田 幸男 利賀ダム工事事務所長

岩館 知哉 神通川水系砂防事務所長、

金丸 圭介 伏木富山港湾事務所長

富山県議会議員会

米原 蕃 常任顧問

四方 正治 常任顧問

鹿熊 正一 議員会長

上田 英俊 幹事長

宮本 光明 総務会長

武田 慎一 政務調査会長

中川 忠昭 前幹事長

<19:10~20:30>

自民党富山県議会議員会との意見交換会

会場：ホテルグランテラス富山 2F「こし路」

次第

挨拶 米原 蕃 常任顧問

挨拶と乾杯 中神 陽一 局長

<懇談>

中締め 中川 忠昭 前幹事長



491		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年5月22日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	1. 富山県の国への重要要望事項について、執行部よりヒヤリングを行う。 2. 議会基本条例の論点整理を行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-黒部IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 日

平成29年5月12日

自由民主党 富山県議会議員会
役員各位
政務調査会副会長各位

自由民主党 富山県議会議員会
会長 鹿熊 正一

役員会の開催について

下記により役員会を開催いたしますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成29年5月22日(月) 午前9時～9時45分
- 2 場 所 議事堂2階 210会議室
- 3 協議事項 (1) 平成29年度 県重要要望事項について
(2) その他

※ 欠席の場合は、控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

参考 当日の予定

9:00	自民党 役員会	議事堂 210 会議室
10:00	政務調査会	議事堂 210 会議室
11:30	正副委員長会議	議事堂 大会議室
13:30	自民党 正副部会長会議	議事堂 210 会議室



報告者

492		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年5月23日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	1. 代表質問に関して、北朝鮮ミサイル発射の県民への周知や避難方法等について調査する。 2. 議会基本条例に関して論点整理をする。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-滑川IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年6月26日
 決裁 平成29年6月27日
 処理 平成29年6月27日



493		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年5月25日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	1. 政調会による地域ブロック会議を開催し、各地域支部から諸課題についてヒヤリングを行い意見交換を行う。 2. 代表質問に関して、県立高校再編について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山第一ホテル-富山IC-魚津IC-自宅
富山第一ホテル 県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



494		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月26日		から	調査		
		まで	1. 政調5部会による友好団体との意見交換を行う。 2. 新総合計画の骨子案について当局からヒヤリングを行う。 3. 第2回自民党議会基本条例PTを開催し意見交換を行う。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会・県民会館-富山IC -朝日IC-自宅
県議会 県民会館					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年6月26日
 決裁 平成29年6月27日
 処理 平成29年6月27日

平成29年4月18日

自由民主党 富山県議会議員会
所属議員各位自由民主党 富山県議会議員会
政務調査会長 武田 慎一

新たな総合計画に関する勉強会の開催について

このことについて、下記のとおり開催することといたしましたので、ご参加をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成29年5月26日(金) 正午から
※昼食を準備いたします。
- 2 場所 議事堂2階 大会議室
- 3 件名 新たな総合計画について
- 4 講師 富山県総合政策局長 山本 修 氏

※ ご都合の悪い方は、ご連絡ください。
(自民党控室 TEL 076-431-5244)

参考 当日の予定

9:00	正副部会長会議	議事堂 210 会議室
9:30	友好団体懇談会	県民会館
12:00	勉強会	議事堂 大会議室
上記終了	政調会 各部会	議事堂内
後直ちに	(新たな総合計画に対する提言について)	

平成29年5月2日

自民党議会基本条例検討
プロジェクトチーム各位

自民党議会基本条例検討プロジェクトチーム
座長 鹿熊 正一

自民党議会基本条例検討プロジェクトチーム会議の開催について

標記会議を下記により開催しますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成29年5月26日(金)・午後2時40分から
- 2 場 所 議事堂210会議室
- 3 協議事項 (1) 論点整理
(2) その他

※ 欠席の場合は、控室へ連絡願います。(TEL. 076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

9:00	正副部会長会議	(議事堂210会議室)
9:30	友好団体懇談会	(県民会館)
12:00	政調会勉強会(総合計画)	(議事堂大会議室)
勉強会終了後	各部会	(議事堂大会議室ほか)
<u>14:40</u>	<u>第2回自民党議会基本条例検討P.T.</u>	<u>(議事堂210会議室)</u>



445		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費	
				03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月29日		から	調査		
平成 29年5月31日		まで	1. 山村振興議員連盟で島根県を訪問し、中山間地域振興施策等について視察調査する。別紙。 2. 代表質問に関して、富山湾の資源を活かした可能性や弥陀ヶ原火山対策等について調査する。		
島根県 県議会					自宅-朝日IC-富山IC-富山空港-一島根県-富山IC-県議会-富山IC-黒部IC-自宅
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	125 km =	4625		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場		1700		計	6325
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					
□□□□□□□□□□□□□□□□ 富山空港有料駐車場 富山空港管理事務所 076-495-3055 □□□□□□□□□□□□□□□□ <h2 style="text-align: center;">領 収 証</h2> 入車日時 2017年05月29日 08時18分 精算日時 2017年05月31日 10時49分 No.04-000258 券No.01-551129 駐車料金(一般) 1,700円 料金計 1,700円 投入現金 2,000円 釣銭額 300円					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

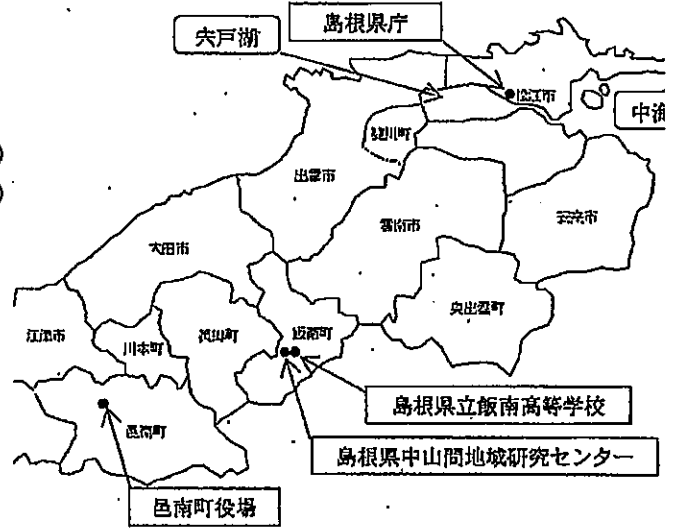
收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日

山村振興議員連盟県外視察参加者名簿

- 会 長 鹿熊 正一 (自由民主党)
 副 会 長 宮本 光明 (自由民主党)
 理 事 大野 久芳 (自由民主党)
 " 米原 馨 (自由民主党)
 事務局長 筱岡 貞郎 (自由民主党)
 監 事 中川 忠昭 (自由民主党)
 会 員 島村 進 (社民・無所属議員会)
 " 澤谷 清 (社民・無所属議員会)
 " 亀山 彰 (自由民主党)
 " 山崎 宗良 (自由民主党)
 " 吉田 勉 (公明党)
 " 浅岡 弘彦 (自由民主党)
 " 藤師富士夫 (自由民主党)
 " 横山 栄 (自由民主党)
 " 山辺 美嗣 (自由民主党)
 (合計15名)

山村振興議員連盟
県外視察

平成29年5月29日(月)~5月31日(水)
(視察先)島根県



第1日目

月 日	場 所	着	発	備 考	移動手段
5月29日 月曜日	富山空港		7:10	6:30 空港集合	ANA312
	羽田空港	8:15	9:35		ANA675
	広島空港	11:00			借上バス
	(昼食)	13:00	13:50	里山イタリアン AJIKURA 邑南町矢上 3123-4 Tel:0855-95-2093	
	邑南町役場 定住促進課、商工観光課 邑南町矢上 6000 Tel:0855-95-1113	14:00	16:00	・日本一の子育て村構想 ・地方創生の取組み ・A級グルメ構想	↓
	(宿舎)	17:00		三次グランドホテル 広島県三次市十日市南 1-10-1 Tel:0824-63-3111	徒歩1分
	(夕食)	18:30		むらたけ総本家 三次市十日市東 6-1-8 Tel:0824-63-0666	

第2日目

月 日	場 所	着	発	備 考	移動手段
5月30日 火曜日	(宿舎)		8:30		借上バス
	島根県中山間地域研究センター 飯南町上来島 1207 Tel:0854-76-3808	9:30	11:00	中山間地域の地域振興対策の研究	↓
	飯南高等学校 飯南町野萱 800 Tel:0854-76-2333	11:00	11:45	・しまね留学生への支援 ・町と連携した特徴的な教育活動、取組み	↓
	(昼食)	12:20	13:05	道の駅 掛合の里 島根県雲南市掛合町掛合 1800-2 Tel:0854-62-1510	↓
	島根県庁 しまね暮らし推進課 教育委員会 松江市殿町 1 Tel:090-5705-1192 (黒崎)	14:30	16:00	・定住促進の取組 ・今後の県立高校の在り方検討委員会 ・しまね留学	↓
	(宿舎)	17:30		皆生シーサイドホテル 鳥取県米子市皆生温泉 3-4-3 Tel:0859-34-2222	↓
	(夕食)	18:30		ホテル内宴会場	

第3日目


月 日	場 所	着	発	備 考	移動手段
5月31日 水曜日	(宿舎)		6:15		借上バス
	米子空港	6:45	7:20		ANA382
	羽田空港	8:40	9:40		ANA315
	富山空港	10:40			

○島根県の概要

項目	島根県	(全国順位)	富山県	(全国順位)
面 積	6,708 km ²	19 位	4,248 km ²	33 位
人 口	690 千人	46 位	1,061 千人	37 位
人 口 密 度	103 人/km ²	43 位	250 人/km ²	25 位
農 業 算 出 額	531 億円	42 位	581 億円	40 位
農 業 就 業 人 口	24,801 人	38 位	21,043 人	41 位
経 営 耕 地 面 積	25,749 ha	35 位	50,984 ha	18 位
森 林 面 積	5,197 km ²	15 位	2,395 km ²	35 位
森 林 面 積 割 合	77.5 %	4 位	56.4 %	33 位
地 域 お こ し 協 力 隊	149 人	3 位	22 人	36 位
公 立 高 校 に 寮 が あ る 割 合	62 %	1 位	4 %	

県外・海外政務活動報告書

平成 29 年 6 月 26 日

整理番号	495	会派・議員名	
活動名称	富山県山村振興議員連盟による視察調査		
目的	島根県の中山間地域振興施策の現状を視察調査する		
日程	平成 29 年 5 月 29 日 (月) ~ 平成 29 年 5 月 31 日 (水)		
場所 [国名・都市名、 施設名、訪問先等]	島根県 邑南町役場 県立飯南高校 県中山間地域研究センター 県庁		
相手方等 [主催者、対応者、 参加者、同行者等]	邑南町役場定住促進課、商工観光課他 別紙報告書に詳しく記載		
行程・活動内容	別紙報告書に記載		

別紙報告書に記載

※日帰りの政務活動を含む。

富山県議会山村振興議員連盟県外視察 参加者名簿

5/29～5/31 島根県

役職名	議員名	会派	備考
会長	かくま まさかず 鹿熊 正一	自由民主党	
副会長	みやもと みつあき 宮本 光明	自由民主党	
理事	おおの ひさよし 大野 久芳	自由民主党	
〃	よねはら しげる 米原 蕃	自由民主党	
事務局長	しのおか ていろう 筱岡 貞郎	自由民主党	
監事	なかがわ ただあき 中川 忠昭	自由民主党	
会員	しまむら すすむ 島村 進	社民・無所属議員会	
〃	さわたに きよし 澤谷 清	社民・無所属議員会	
〃	かめやま あきら 亀山 彰	自由民主党	
〃	やまざきむねよし 山崎 宗良	自由民主党	
〃	よしだ つとむ 吉田 勉	公明党	
〃	あさおかひろひと 浅岡 弘彦	自由民主党	
〃	ぎゃくしふじお 瘡師富士夫	自由民主党	
〃	よこやま さかえ 横山 栄	自由民主党	
〃	やまべ みつぐ 山辺 美嗣	自由民主党	30日帰富

計15名



496					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料 (5月分)					
			8467		80%
			8467		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005323

鹿熊 正一 様 平成29年6月12日

¥ 10,584-

目し HPホスティング料(5月分)
上記の金額正に領収いたしました。

内	印刷物代金	¥
取	消 費 税	¥

株式会社 鳴かの印刷
代表取締役 眞 啓
〒332-0022 埼玉県川口市小島1-1-10 054-0124

取 入
印 紙

取 扱 者 印

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



497	
07_資料購入費	01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費
新聞代金 (5月分)	
高山新聞	3060 /
北日本新聞、日経新聞	6742 /
読売新聞	3093 /
	12895 /

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 地	お問い合わせ地
34	84.00	1899

お名前 鹿熊 正一様

殿町1495

29年 5月分

84-8305

銘 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 29年6月4日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

23 29-05-31	新聞代金	*6,742	
24 29-06-02		*3,060	トヤマシヅカ

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日

報告者* 

498			
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
電気料金 (5月分) 事務所賃借料 (6月分)			
電気料金 (5月分)	2558	/	50%
事務所賃借料 (6月分)	15000	/	50%
	17558		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
17	[Redacted]		
18	[Redacted]		
19	029- 5-12 電気料金	5,116 株式会社リョウ	[Redacted]
	[Redacted]		

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



報告者*

494			
09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費	05_会議費	09_事務費 10_人件費
コピー使用料 (3か月分) コピー用紙代 インク代			
コピー使用料 (3か月分)	12395	/	50%
コピー用紙代	739	/	50%
インク代	4320	/	50%
	17454		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29年6月26日
 決裁 平成 29年6月27日
 処理 平成 29年6月27日

24 D29- 5-23

24,791 SMBC(セブツクス)

お買上明細書

2017年 5月 1日(月)09:55 0832-0001
5423
領収証No 000014002

28*31"-用紙 A4	¥1,390
(5個 x @278)	
まとめ値引BS 1回	-140
<hr/>	
28*31"-用紙 B5	¥228

小言十	¥1,478
(内消費税)	8% ¥109

5423

領 収 証

000014002号

熊正会 様

¥1,478.

(消費税 ¥109を含みます。)但し

扱者印



2017年05月01日 上記正に領収しました。
株式会社コメリ 朝日店
新潟県新潟市南区清水4501-1
TEL: 0765-83-9025

◇◇印刷面を内側に折って保管して下さい。◇◇

領 収 証

№ 06244

熊正会様

収 入
印 紙

金 額		百	拾	万	千	百	拾	円
				7	8	6	4	0

但し _____

上記金額正に領収いたしました

平成 29年 5月 29日

(有)坂東電器 

富山県下新川郡朝日町栄町 150-1

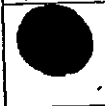
TEL 83-0066

FAX 83-1174

本領収証に取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効。

領収金額に含まれる消費税	
金 額	円
区 分	金 額
現 金	円
小切手	
手 形	
振 込	
相 殺	
計	

取扱者印



品 名	数 量	単 価	金 額	摘 要
リコ-イン G41C	1		4320	
リコ-イン G41M	1		4320	
(消 費 税)				
合 計			8640	

43

753		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月29日 から		山村振興議員連盟 県外視察（島根県）			
平成29年5月31日 まで		(内容)		(備考)	
島根県		邑南町定住促進課・商工観光課 島根県中山間地地域研究センター 飯南高等学校 島根県庁（暮らし推進課 教育委員会） 取組みについて、意見交換。			
経費の内訳		金額		合計	
鉄道・バス		宿泊料 6,600円 15,100円		21,700	
タクシー		食事代 1,500円×2、 2,000円×1		5,000	
航空機		60,390		会費	
自家用車 @37 × km =		0		貸切バス代	
リース車 @18 × km =		0			
有料道		1,069			
駐車場				計	
				105,439	
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成29年7月18日

領 収 証

No. 17981

富山県長門村振興協会の皆様 殿

平成29年 7月 18日

¥ 1,660,960-

(税込)

但し鳥取県税を控除した。

上記の金額正に領収致しました



ニュー・モダン・スーパー

- 本社 富山県奥野新町(ポルファートとやま)
- TEL (076) 431-2001 FAX (076) 431-2735
- ファボーレ店 高岡大和店 金沢営業所
- 名古屋支店 東京支店

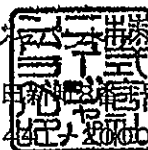


H27.8. 2×50×100.①

平成29年7月4日

富山県議会山村振興議員連盟 様

(株)ニューシブツ
富山市奥田
TEL(076)4



請 求 書

「島根県内視察」旅行に係った費用を、下記の通りご請求いたします。

旅行日 平成29年5月29日(月)～5月31日(水)
人 数 15名様

ご請求金額 金1,660,960円

項目	内容	単価	数量	合計	備考
航空券代	富山⇒羽田⇒広島、米子⇒羽田⇒富山	60,390	15名	905,850	団体券利用
貸切バス代	3日間利用	259,200	1台	259,200	
有料道路代		16,030	1台	16,030	
宿泊ホテル代	三次グランドホテル 1泊(朝食1回付)	6,600	15名	99,000	
"	皆生シーサイドホテル 1泊(夕食1回付)	15,270	14名	213,780	
食事代	5/29 昼食 (邑南町)	2,700	15名	40,500	
"	5/29 夕食 (三次市)	5,940	15名	89,100	
"	5/30 昼食 (掛合町)	2,500	15名	37,500	
総合計				1,660,960	

H29山村振興議員連盟県外視察(5月29日～5月31日) 決算

H29.7

参加者	党派	交通費				ホテル				食事代				掛合の里 (5/30昼食)
		飛行機	貸切バス 代等	有料道路	三ツツがホテル (5/28:泊朝食)	皆生シーサイドホテル (5/30:泊朝食・夕食)	A.W.KURA (5/29昼食)	むらたけ総本家 (5/29夕食)	掛合の里 (5/30昼食)	A.W.KURA (5/29昼食)	むらたけ総本家 (5/29夕食)	掛合の里 (5/30昼食)		
													政治活動費 (実費)	
1 鹿熊会長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
2 宮本副会長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
3 彼岡幹務局長	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
4 大野議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
5 米原議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
6 中川議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
7 亀山議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
8 山崎議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
9 浅岡議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
10 藤原議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
11 横山議員	自民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
12 山辺議員	自民	60,390	17,280	1,064	6,600			1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
13 島村議員	社民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
14 澤谷議員	社民	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
15 吉田議員	公明	60,390	17,280	1,069	6,600	15,100	170	1,500	1,200	2,000	3,940	1,500	1,000	
小計		905,850	259,200	16,030	99,000	0	211,400	2,380	18,000	30,000	59,100	22,500	15,000	
合計		905,850	259,200	16,030	99,000		213,780		40,500	89,100		37,500		

政務活動費	自己負担額	個人合計	会派計	該連負担合計
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
80,334	6,140	86,474	1,325,717	
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
105,439	6,310	111,749		
1,566,480	94,480	1,660,960	0	0
		1,660,960		

山村振興議員連盟 島根県視察日程(案)

H29.4.24

第1日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 29日 (月)	富山空港		7:10		ANA312
	羽田空港	8:15	9:35		ANA675
	広島空港	11:00			借上バス
	(昼食)				
	邑南町定住促進課(まち・ひと・しごと創生戦略推進室)、商工観光課 邑南町矢上6000	14:00	16:00	・日本一の子育て村構想・地方創生の取組み ・A級グルメ構想について	借上バス
	(宿舎)三次グランドホテル 広島県三次市十日市南1-10-1 Tel:0824-63-3111	17:00			徒歩1分
(夕食)むらたけ総本家 三次市十日市東6-1-8 Tel:0824-63-0666	18:30				

第2日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 30日 (火)	宿舎		8:30		借上バス
	島根県中山間地域研究センター 飯南町上来島1207	9:30	11:00	中山間地域の地域振興対策の研究	↓
	飯南高等学校 飯南町野萱800	11:00	11:45	・しまね留学生への支援 ・町と連携した特徴的な教育活動・取組み	↓
	(昼食)				↓
	島根県庁 島根県議事堂、松江市殿町1	14:00	15:30		↓
	しまね暮らし推進課	(14:00)	(14:45)	定住促進の取組 (県、ふるさとしまね定住財団の取組)	
	教育委員会(教育指導課、学校企画課)	(14:45)	(15:30)	・今後の県立高校の在り方検討委員会 ・しまね留学	
	(宿舎)皆生シーサイドホテル 鳥取県米子市皆生温泉3-4-3 Tel:0859-34-2222	17:30			↓
(夕食)ホテル内宴会場	18:30				

第3日目

月日	場所	着	発	備考	移動手段
5月 31日 (水)	宿舎		6:15		借上バス
	米子空港	6:45	7:20		ANA382
	羽田空港	8:40	9:40		ANA315
	富山空港	10:40			

県外・海外政務活動報告書

平成 29年 6月 5日

富山県議会議員会

会派・議員名

山村振興議員連盟

整理番号	
活動名称	山村振興議員連盟県外視察
目的	全国的な地方社会の急激な人口減少と少子高齢化に対する中山間地域の特色のある先進的な振興施策を視察する。
日程	平成 29年 5月 29日(月)～平成 29年 5月 31日(水)
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	里山レストラン「AJIKURA」: 島根県邑南町矢上3123-4 島根県邑南町役場: 島根県邑南町矢上6000 島根県中山間地域研究センター: 島根県飯石郡飯南町上来島1207 島根県立飯南高等学校: 島根県飯石郡飯南町野萱800 島根県庁: 島根県松江市殿町1
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	主催 富山県議会 山村振興議員連盟 参加者 鹿熊議員、宮本議員、大野議員、米原議員、山辺議員、横山議員、笹岡議員、中川議員、吉田議員、滝師議員、浅岡議員、亀山議員、澤谷議員、山崎議員、島村議員
行程・活動内容	
1日目 5月29日(月)	
富山空港集合	
富山空港から羽田空港へ飛行機で移動し、羽田空港から広島空港へ飛行機で移動	
広島空港から借上バスで島根県邑南町の里山レストラン「AJIKURA」へ移動・視察	
借上バスにて邑南町役場へ移動・視察 借上バスにて広島県三次市の宿泊所へ移動	
2日目 5月30日(火)	
借上バスにて宿泊所から島根県中山間地域研究センターへ移動・視察	
借上バスにて島根県立飯南高等学校へ移動・視察	
借上バスにて島根県庁へ移動・視察	
借上バスにて島根県米子市の宿泊所に移動	
3日目 5月31日(水)	
借上バスにて宿泊所から米子空港へ移動	
米子空港から羽田空港へ空路で移動	
羽田空港から富山空港へ空路で移動	
富山空港にて解散	
別紙参照	

※日帰りの政務活動を含む。

山村振興議員連盟県外視察報告書

日 程 平成 29 年 5 月 29 日 (月) ~ 5 月 31 日 (水)

場 所 里山イタリアン「AJIKURA」

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 3123-4

島根県邑南町役場

〒696-0103 島根県邑智郡邑南町矢上 6000

島根県中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島 1207

島根県立飯南高等学校

〒690-3401 島根県飯石郡飯南町野萱 800

島根県庁

〒690-8501 島根県松江市殿町 1 番地

主 催 富山県議会 山村振興議員連盟

同行者 鹿熊議員、宮本議員、大野議員、米原議員、山辺議員、横山議員、
筱岡議員、中川議員、吉田議員、瘡師議員、亀山議員、澤谷議員、
山崎議員、島村議員、浅岡議員

行程

1 日目 5 月 29 日

富山空港に集合

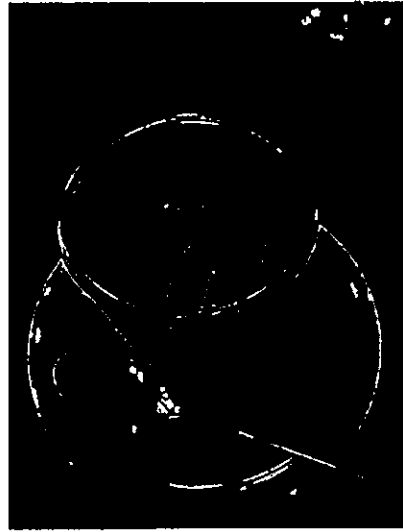
富山空港から羽田空港へ移動

羽田空港から広島空港へ移動

空港から借上バスにて移動し昼食

【里山イタリアン AJIKURA】

昼食は地元邑南町の「A 級グルメのまちづくり」として有名なイタリアンレストランの里山イタリアン「AJIKURA」で地元産素材の料理を食しながら現地視察を開始した。



その後、邑南町役場に借上バスにて移動

【邑南町役場】

邑南町の「日本一の子育て村構想」や「地方創生の取り組み」の報告を受けた。人口減少と少子高齢化に対する危機感を持ち、平成 23 年度から「持続可能なまちづくり」を目指し、

① 攻めのA級グルメ構想

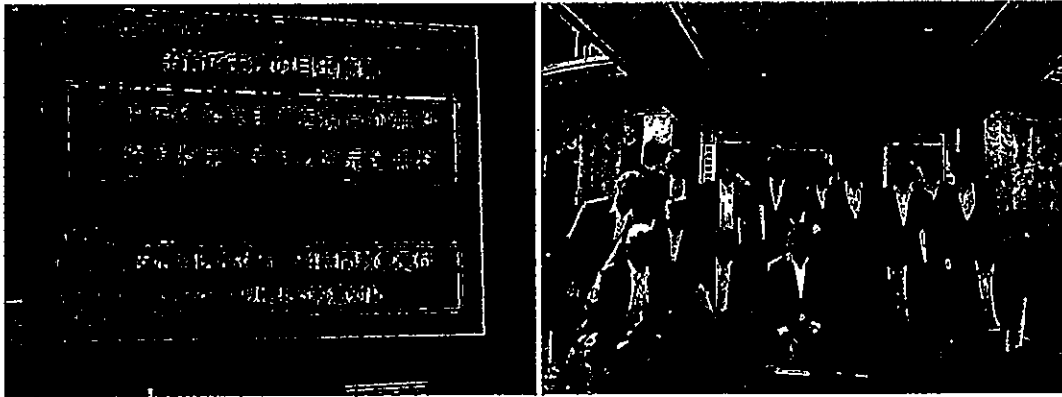
昼食をとった「イタリアンレストラン AJIKURA」を代表とし、石見牛や石見ワインなど地元食材を使用したアイデア料理を提供するA級グルメによるまちづくりが進められている。平成27年度までの観光入り込み客は92万人、UIJターン者数は240人を達成している。

② 守りの「日本一の子育て村」

日本一の子育て村を目指し、きめ細かな移住者に対するケア等による人口増施策を進めている。「日本一の子育て」に関しては、公立邑智病院の小児科、産婦人科の常勤により安心して出産・子育て出来る環境づくりや、中学3年生までの児童の医療費の現物給付、第2子以降の保育料の無償化、第1子の保育料の国基準の6割設定をしている。これらの取り組みにより、平成27年度の合計特殊出生率は2.46、出生数は70人を確保した。

ここで注目する点は、財源は全て過疎債でまかなっているところであった。





邑南町役場から借上バスにて宿泊所へ移動

宿泊所 「三次グランドホテル」 広島県三次市十日市 1-10-1

2日目 5月30日

宿泊所から「島根県中山間地域研究センター」へ借上バスにて移動。

「島根県中山間地域研究センター」

対応者 嶋田 所長

有田昭一郎 主任研究員

嶋田所長から、全国で唯一の中山間地域を総合的・専門的に研究する同センターの設立経緯やセンター運営の基本的な方針等について説明を受けた。

同センターは、平成7年に、当時の澄田知事が過疎化の進行や農林業の生産活動の停滞等に危機感を持ち、農林産物の生産や地域住民の生活の場であり、国土保全などの多面的機能を担う中山間地域の再生のため、総合的な中山間地域対策の展開を図るため「中山間地域研究センター」の整備を表明した事に始まり、平成10年4月に約60億円を投じて「島根県中山間地域研究センター」が発足した。

同センターの活動の基本として、①総合的な中山間地域対策の展開として、地域振興対策の研究、農業、畜産、林業が一体となった技術開発、森林・林業に関する研究などを総合的に実施するとともに、これらの研究成果を活かした各種研修や地域づくり支援事業の展開。②持続的な社会システムづくりの推

進として、研究成果の普及・定着、それを活かした各種研修や地域の特色ある取り組みの支援を行い、21世紀の持続可能な活力ある中山間地域の社会づくりを推進しているとの説明があった。

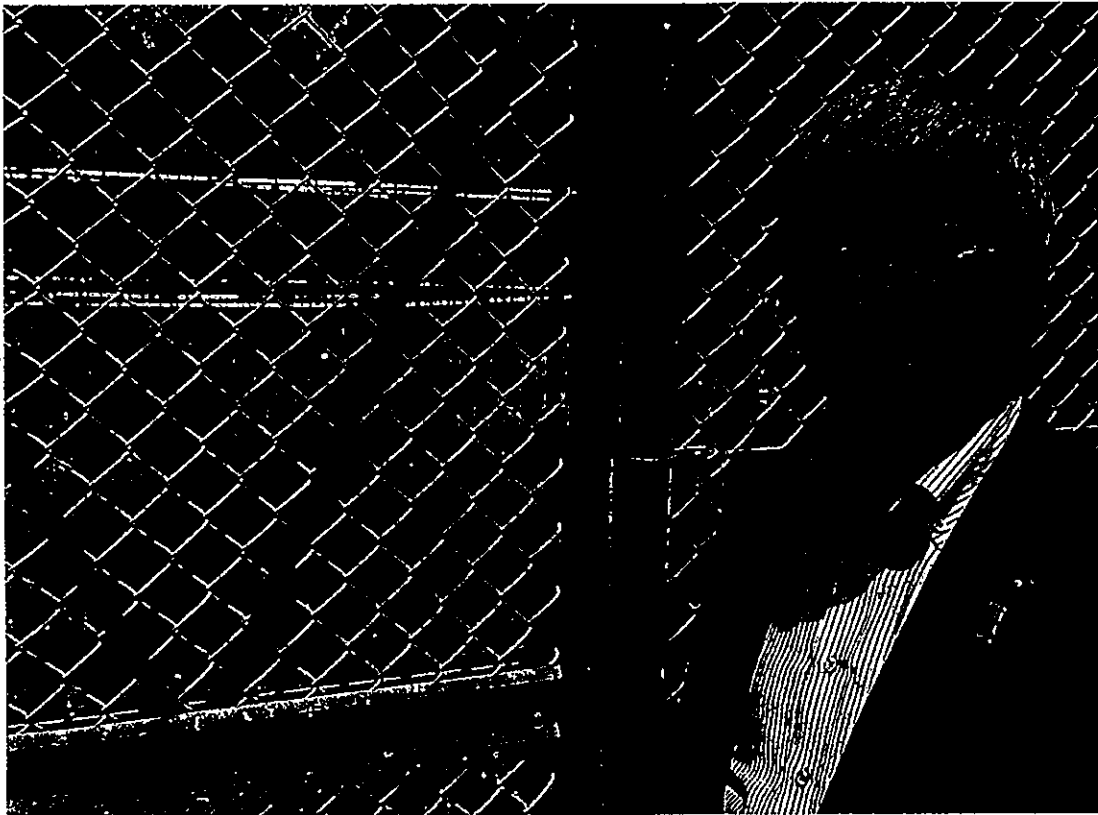


また、有田昭一郎主任研究員からは、島根県地域振興部の中にある「中山間地域研究センター」の具体的活動内容について報告を受けた。

同センターは、正規職員42名、嘱託・臨時等を合わせた77名体制で運営されており、地域研究支援部門として「中山間地域支援スタッフ・地域研究スタッフ」が小さな拠点づくり支援として県内19市町村の地域住民組織への技術的支援や支援ノウハウの開発・スキルアップ研修会の開催などを行い、持続可能な地域づくりの支援を行っている。また農林技術部門では、中山間地域の売れるものづくり、放牧による耕作放棄地対策、特用林産物の栽培研究、野生鳥獣類の効果的な被害対策の開発・実証、森林の保護育成、木材利用の推進などが実施されている。

特に有田氏からは、『島根県の小さな拠点づくりの推進体制、中山間地域対策プロジェクトチーム』の活動の紹介があった。それは、「安心して暮らし続けられる地域の仕組みづくり」を目指す小さな拠点づくり運動である。

県内には236公民館エリアがあるが、平成25年度～27年度で52の支援地区を設け、平成28年度～31年度までで150地区で小さな拠点づくりの支援を行うとの事であった。支援スタッフが月1回程度現場へ行き、地域の課題を整理し、課題解決のための目標設定やアドバイスなどを丁寧に行い支援する活動により、それぞれの地域に合った持続可能な地域づくりを目指す運動が報告された。

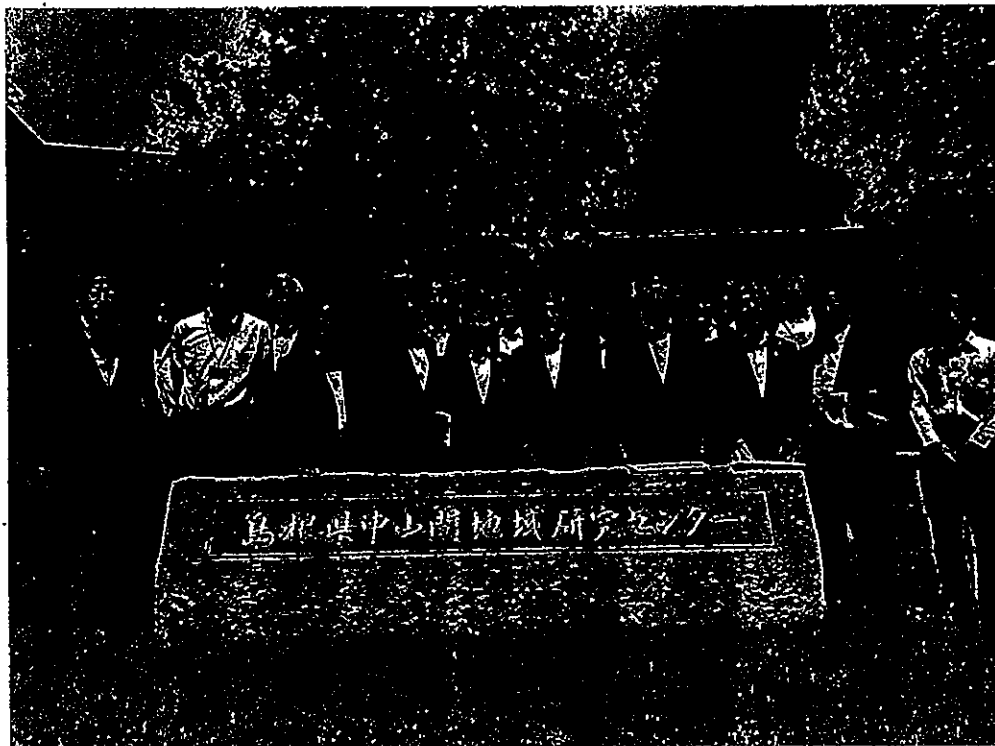


イノシシの生態観察を兼ねてジビエとして育成してるイノシシ園

視察全体を通じた感想としては、人口減少、少子高齢化の中で、どう地域社会を守っていくのか、島根県の強い危機感と持続可能な地域づくりへの決意が感じられた。金も人もかけ、住民と共に進もうとする島根県の気概を、私たちも見習わねばと感じた。



島根県中山間地域研究センターのエントランス



中山間地域研究センターから借上バスにて島根県立飯南高等学校に移動。

【島根県立飯南高等学校】

対応者 秦 学校長

学校の現況としては、島根県立飯南高等学校は、島根県でも広島県境近い中国山地を背負う中山間地域である。町全体の2つの中学校すべての卒業生数でも、飯南高等学校の一学年の定80名より少ない40名前後であり、3学年合わせた生徒数は現在も半数近くは、他市町から入学している。

学校の取り組みとしては、公立高校での全国一の学生寮多い島根県で、3分の1の生徒が男女ほぼ同じように入寮している特色ある高校である。県外性のほぼ全員がホストファミリー活動、宿泊も体験している。

また、昨年度は、14名が国公立大へ進学しているなど、進学校という面もあり、部活動では、報道部が全国大会常連校で優勝したこともあります。スキー部、ハンドボール部は、全国あるいは中国大会の常連校でもある。

生徒の通学修学対策として、バス定期助成や、近隣中学校よりスクールバスの運行もおこなっている。

町外中学校（県外が多い）からの生徒が多く、寄宿舎（月根尾寮）を運営し、支援として、町から寮費月額1万円補助、自己負担月3万円、ただし欠食分は返金するなど、県外に住んでいる意欲ある中学生を「しまね留学生」募集している。

平成10年に公立高校ながら文部省中高一貫教育研究指定校になり、町内からの入学率が伸びたそうである。

また、教育活動後援会があり、資金面での後援を町内中学出身上位者給付金制度を導入している。

キラリ！ドリームアップ推進協議会事業の中に、特色ある教育の推進のひとつ、生命地域学では、課題研究を提案だけでなく、六次産業化・商品化・予算付けまでおこなっている。生命地域ラボとして、地域住民との交流会・ボランティア活動・保育所訪問・介護実習などもおこなっている。学力向上に町営の学習指導もおこなっている。

離島中山間地域高校の活性化・活性化事業として、県主導の支援事業県内8校に選ばれて、高校の魅力を高めながら、高校入学者の確保、地域に根ざした

高校づくりを推進し、地域の活性化を図る町と高校からなる団体へ交付金が、少なくとも9年間支給されている。

生徒数確保2学級維持し、保小中高一貫教育の中核としての、中高一貫教育・中高の連携している。なかでも、T.T.授業は、高校から中学へ、中学から高校へと教師が参加し、教科の連携活動をしている。部活動・学園祭など相互交流教科外連携も行われている。目を見張るのは、月1回の高校長と2中学校長で構成する校長会を開いていることである。小規模校の特色である少人数・習熟度別指導で、教育力向上による生徒確保、活力ある2学級づくりに取り組んでいる。

中山間地域として地域に密着した特色のある高校、町への定住化対策を、町づくりの柱として、バックアップ支援体制がとられている。



島根県立飯南高等学校から借上バスにて島根県庁に移動。

【島根県庁】

島根県の現状としては、県土のうち中山間地が9割を占め、人口の46%が中山間地域で暮らしている。人口のピーク時は(昭和30年)92.9万人で、H26年の人口は69.7万人で、▲23.2万人(▲25%)になっている。詳細としては、出雲圏域は▲3.4万人(▲7%)、石見圏域は▲17.4万人(▲46%)、隠岐圏域は▲2.4万人(▲53%)であり、過疎という言葉が発祥したのが島根県でもあり、20年間にわたり過疎対策を積み重ねた過疎先進県と言える。

定住促進を目的に、総工費60億円で中山間地域交流センターを設置し、【島根県人口ビジョン】を策定して、2040年までに合計特殊出生率2.07と社会移動の均衡を目指している。

また、【島根県総合戦略】を策定して、

基本目標1 しごとづくりとしごとを支える人づくり

基本目標2 結婚・出産・子育ての希望をかなえる社会づくり

基本目標3 しまねに定着、回帰・流入するひとの流づくり

基本目標4 地域の特性を活かした安心して暮らせるしまねづくり
としている。

また、【島根県定住施策の特徴】は、早い時期から取り組んでおり、平成4年に定住財団を設立し、県、市町村、財団を一体化して定住支援員を全市町村に配置し、事業を一体化して行っている。

そして、定住、若年者県内就職、地域づくりの3本柱で、移住者だけでなく県内の人材流出阻止や地域づくりにも着目し、県や市町村は、海士町、小規模多機能自治組織、中山間地域研究センター等のユニークな取り組みをしている。

【島根の強み】は、定住対策予算を充実させ、「オールしまね」で取り組み、定住と若年者県内就職と地域づくりの三本柱の施策である。

また、【小さな拠点づくり】としては、

① 住民主導の取り組みの推進

公民館等の拠点施設で、高齢者のサロン開設(=見守り)

② 生活機能の確保

旧店舗を改修し、小規模の地域運営スーパーを開設。

③ 生活交通の確保

自治会メンバーがボランティアで運転手を担い、地域内を移動する自治会輸送。

④ 地域産業の振興

地域の特産品を産直市で販売。

これらは、行政でできることは各自治体で行い、現場でできることは、「ふるさと島根定住財団」が主に担当している。

一番重要なことは、島根に関する関係性をつないでおく事であり、「人材誘致コーディネーター」を設置している。そして、「しまコトアカデミー」を開催して、関係人口セミナーを東京で7回開き、5期の卒業生が施策・提案しており、参加者の3割が立案した事を島根で施策としていく予定である。例えば、島根で農業をやりたいという案は、就農につなげ、長期体験3か月から1年、月12万の生活費支給している。

また、無料職業紹介として、「くらしまネット」を開設した。

教育魅力化の取組としては、資金調達をクラウドファンディングにし、成長拡散を段階的に実行している。

シングルペアレントには、介護職を斡旋している。

また、海士町では、観光協会が人を雇用し、必要な所へ人材派遣している。

中山間地域対策としては、県の人口減少のほとんどが中山間地域であり、条例制定した。また同時に、中山間地域活性化計画を策定した。小さな拠点をつくり、公民館エリア機能を無理やり一か所に集約するのではなく、地域公共交通でつないでいる。

教育委員会との取り組みは、人材育成であり子供の頃からの教育としての人材育成を行なっている。

【県立高校あり方検討委員会】は、配置・規模・社会的役割など進むべき方向と再編成に関する基本的な考え方を集約し、学校は教育単独でなく、地域振興の中に位置づけている。「島根留学」という学びの環境と地域を守るという違う本質を融合し、教育環境に魅力を感じて、地元の生徒が集まってきている。また、高校を起点として地域と高校を活性化させ、地域とかわり、生徒一人一人の個人の役割を確保させている。現状は、プラスのスパイラルの状況で、地域と学校を結ぶ職員をコーディネーターとして自治体の財源で確保し、県か

ら指示はせず、地域資源を生かすという方向性を与えている。

県外生募集セミナーは、大阪市、名古屋市、東京都内で開いており、また、地元の小中学校での島根の魅力化の取組を促進している。



鳥取県との質疑応答

鹿熊県議

Q: 県立高校の総数は何校か？

A: 全日制は 34 校で、離島と中山間地域で、高校が一つしかない町は 8 校、23 校が中山間地域指定高校されている。

また、県立高校の学級数は、都市部最大は 8 学級で、平均は 3.8 学級である。23 校が学生寮を所有している。

Q: 島根県の高校再編検討会では、1 学年 2 学級ある高校を維持させ、1 学年 1 学級は廃校の方針なのか？

A: 議論はそういう雰囲気で行われている。教育委員会として議論の際にお願いしている事が 2 点ある。小さな拠点づくりの一環や、移住定住対策を含めた、単に学校教育だけではなく、地方創生や地方活性化の観点で色々考えて頂きたいとお願いし、その方向で議論が進んでいる。

中川県議

Q:若年人口が減少する中、若年人口の維持という観点で、小・中・高・保育所を含めて教育の無料化を考えておられるが、これは県外から呼び込むための戦略なのか？

A:小中学生は、親も一緒に移住が必要になるので難しいが、離島の隠岐では、「島留学」として小中学生の生徒を移住対象とした生徒の受け入れ募集をしている。生徒と保護者も共に移住するケースもあるので、取り組みとしてはありだと思う。地域が望めば、その取り組みを地域の強みとして県が支援する形になるが、用途について細かく制限することはない。

Q:その財源はどうするのか？

A:実際は市町村側が起債されるケースがある。1/2 負担なのでそれを前提に考えている。

Q:これは市町村側からの要望でされているのか？

A:これはまちまちである。県立高校と地域の話になるので、取り組みにくい地域もある。離島は三年間の教育で学力のばらつきをまとめるのが難しいので、選択肢を広げたいということもあり、地域によって異なる取組となる。

米原県議

Q:島根県内で私立高校はどれだけあるか？

A:10校である。

彦根県議

Q:島根県は県外留学が多いと思うが、甲子園の強豪校が県外留学を受け入れている高校が多い事にヒントを得たのか？

A:高校野球の選手に県外留学性が多いのは事実だが、私立だから留学が多いわけではない。

米原県議

Q:私立高校の生徒の減少状況はどうなっているのか？先ほどまで説明された対策は県立高校のみの対策なのか？

A:私立高校も県外からの留学生を取り入れている。特に部活動の生徒を多く取り入れている。ちなみに今年度も約半数の生徒が県外からの留学生になっている。

鹿熊県議

Q:小さな拠点づくりや移住定住対策に力を入れると共に、高校の魅力化活性化と不即不離で、かつ一体的に議論されていて非常に重要な所だと思うが、どうか？

A:教育の魅力化を議論する際に、県の定住部局と協同し、話し合いながら組み立てている。定住施策に重点を置きながら、教育の魅力化はどうあるべきかを慎重に議論している。UIターンフェアでも定住部局の協力を得て、その一部に学校教育のブースを設けている。そもそも人口減少が激しい島根県の中で、これをどう解消するかという大きな観点を持ちながら、施策がどう絡み合っていくかを考えて実行している。小さな拠点づくりの中でも、住民同士が話し合いながら決めていくので、教育の魅力化についても、住民が高校を残したいのかという意思を持つ時には、まずそこを議論していただいて、定住と中山間支援とを施策に反映することが重要である。このことを施策の中心として構築している。

Q:高校教育である以上は、議論の中で小規模校において教育の質を担保する事が大きなテーマになると考えるが、もちろん両立もできるという前提だと思うが、要になるのは、教員の資質によるのか？

A:まさに中山間のメリットは、少人数であることによる、きめ細かい教育ができる事と、また地域と綿密にかかわる教育ができるのは、小規模であるからこそ企画設置しやすい。子供たちが中山間地域の中に参画して、その中で役割を感じている。そこから、より意欲の高い子供たちが生まれてくると考えている。少人数だからこそ、実行しやすい教育の形を強みとして取り組んでいる。都心の学力競争の中で取り組むのと差が出始めるので、公営塾を設けているのはそういう意味合いがある。補完的な学習環境をいかにサポートしていくこと等を組み合わせながら学習環境を補完して、学校地域も都心に負けない学習環境の質を担保してゆく。

教育委員会としては、教育魅力化の延長線上に県立高校の在り方もあると考えている。中山間地も含めて教育の質の向上のためには、教育の魅力化を進め、

その魅力化の為にはどういう県立高校があればいいのかと考えているところである。

いままで県立高校再編成基本計画において、どの県においても、まず統廃合基準が前面に出て、これをコアに物事を考えていたが、島根県の考え方としては、検討委員の皆様をお願いするのは、「今後の10年の高校教育をいかに進めていくか?」、「その為に器をどうすべきか、学校規模はどうすべきか?」、「教員の人材確保はどうすべきか?」をお話しいただこうと思っている。

これまでは一律的な県全体の基準があったが、今後は中山間地と都市部の二元論的な考え方であってもいいのではないかと思う。長野県では都市部の学校にはその役割があり、多様な生徒を受け入れて切磋琢磨する。一方で地域と連携しながら地域に貢献する人材を作っていく中山間地の学校。このように二元的に学校のありようを考える。長野県ではそういった観点でビジョンを考えておられる。島根県もそれを参考にさせて頂いている。

横山県議

Q:県外の生徒を受け入れた場合、一人当たりの受け入れ費用はいくらか?

人数が増えると負担になるのではないか?

A:島根留学では生徒の減少分を受け入れるので、新たに教員の配置数が増えなければ問題ない。留学生の数は伸びればよいというわけではなく、生徒を増やすのは地域のためだからで、地元から子供たちが来なくなるとは、その地域の高校ではなくなると思うので、あるべき上限を持ちながら戦略的に受け入れる必要がある。

浅岡県議

Q:日本財団の1年につき1億円×3年間の支援制度は、県の教育魅力化の費用と全く別物か?

A:はい。別物です。

Q:イノベーターをこの支援金を利用して派遣してくれる制度か?

A:日本財団は、島根において個人でイノベーションを起こせる人材の取組を支援しており、この取り組みを将来的には全国規模に広げる計画と言っている。

Q:後方とは別の財源なのか?

A:そうです。

山崎県議

Q:島根県では高校再編が地域再生と一体化していて先進県だと思うが、富山県では勉強するために高校へ行くというところに重きを置き、地域を守る観点が希薄である。島根県でも最初にそこを乗り越えるのが一番大変だったと思うがどうか?

A:8校でいまだにむらがあるのはその部分だと思う。地域としての理解を得るのがこの議論のコアになっている。今回の事業の肝になるのは関係者といかに話し合っただけで想いを共通して同じ方向を向いてもらえるか、その為のキックオフ的なお金に近い。その思いさえできれば様々な施策を組み合わせる発想が生まれてくる。いかにその想いを作るかが成功の秘訣になる。安直にお金の支援を受けたいから手をあげます。というのは必ず失敗すると思う。いかに想いがあるからみんなが集まってくる流れを作れるかが成功のカギになる。

大野県議

Q:幼保小中高の連携において、子供たちに故郷愛を持たせて、地元の学校へ行けというのが暗に見えるが、作戦があるのか?

A:地域によってそれぞれ想いがあるが、地域に閉じ込めたいのではなく、そうすると今の子供たちは出て行ってしまいますので、地元にある高校を子供たちが選択肢として選べないことは不幸だと思う。そのために地元の高校がどうあるべきか。そのために小中学校から高校まで、こういう力が育つから選ぶんだという想いをみんなですろえるが、当然専門高校へ行きたいという選択肢があればほかの市町村に行くことはあり得る。子供たちが自分の選択肢を選べるような形を我々は整えるべきだと。だから幼保小中高の連携をやりたいと思っている。

Q:学校再編の論点整理が幅広くて素晴らしい。統廃合ありきという部分も見え隠れするが、違った視点で産業系の高校とか普通科の高校とかのバランスも総合的に考えられている。その中で再編が進んで今ある高校が統廃合になる事がありうると思う。産業系と普通科をどのように考えているのか?

A:普通高校の生徒も専門高校の生徒も育てたい学力・生徒像としては、十分な知識・技能を身につけさせたい。さらに社会の変化に備えながら様々な課題を乗り越えていくための判断力・思考力・表現力、そして多様な方々と共同しながらチームで物事を解決する姿勢・能力を生徒たちに身につけさせたい。これ

が前提で、普通科では一方的な知識注入型ではどうなんだろうかという意見もあり、去年富山県で探求科を拝見させていただいた。専門高校については島根の産業を支える人材を育成すると考え、時代の変化に応じながら地域のニーズを踏まえて、これまでの農業・工業・商業・水産高校の在り方がいいのかも含めて、枠組みも新たなものが必要じゃないかという事も含めて検討していく。

Q:島根留学について、飯南高校を視察して直感的に素晴らしい寮を作り、一年ですぐ新しい寮を作った。あれは不思議だったが、単に増えたからなのか、再編の中で飯南高校を残すと言う意図がある気がするがいかがか？

A:寮については、私が飯南高校の教頭時代に寮の設計をした。飯南高校の取組が背景にあって足りないんじゃないかという判断を頂き、さらに追加で作っていただいた。具体的には議会の視察もいただいてご意見もいただいて実現した。

借り上げバスにて宿泊所に移動。

3日目 5月31日(水)

借り上げバスにて宿泊所から、米子空港へ移動し空路羽田空港へ移動。

羽田空港から富山空港へ空路移動し、富山空港で解散した。

我富山県が抱える問題である人口減少、高齢化・少子化等の課題を、島根県も地方として抱えているということが、今回の視察における島根県、各市町村の説明から理解できた。富山県と違うのは、島根県農林水産部や地域振興部、教育委員会の皆さん方が、共通課題に対して同じ目標をもって部局横断的に動いているイメージがある点であり、非常に強く感じた。富山県は、それぞれの部局は一生懸命施策を実行するが、一体感をもって目標に向かうという部分が、今後必要のようである。いい意味で施策成功の秘訣を感じさせていただきました。ありがとうございました。



864		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年5月1日	から	活動の概要	
平成29年5月31日	まで	高速代	(備考)
経費の内容		金額	経費の内容
鉄道・バス			宿泊料
タクシー			食事代
航空機			会費
自家用車	@37 × km = 0		
リース車	@18 × km = 0		
有料道		19610	
駐車場		計	19610
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 7月 31日
 決裁 平成 29年 8月 1日
 処理 平成 29年 8月 1日

ご利用 年月日	ご利用店名	ポイント	ご利用 金額 (円)	お支払 方法	回数	今回ご請求 金額 (円)	納車
			鹿嶋 車一様				
7/5	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 富山	朝日 普通車 /
7/5	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC 黒部	富山 普通車 /
7/5	ETC通行料金	☆	420	1回払	1	420 ETC 黒部	魚津 普通車 /
		☆					
		☆					
		☆					
		☆					
		☆					
		☆					
7/511	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 富山	朝日 普通車 /
7/511	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC 黒部	富山 普通車 /
7/512	ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC 朝日	滑川 普通車 /
7/512	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 富山	朝日 普通車 /
		☆					
		☆					
		☆					
		☆					
7/517	ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC 朝日	滑川 普通車 /
		☆					
7/519	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 朝日	富山 普通車 /
		☆					
7/523	ETC通行料金	☆	900	1回払	1	900 ETC 滑川	朝日 普通車 /
7/523	ETC前納・マイル超過	☆	390	1回払	1	390 ETC 朝日	富山 普通車 /
7/525	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 朝日	富山 普通車 /
7/525	ETC通行料金	☆	950	1回払	1	950 ETC 富山	魚津 普通車 /
7/526	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 富山	朝日 普通車 /
7/526	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 朝日	富山 普通車 /
		☆					
		☆					
		☆					
7/529	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC 朝日	富山 普通車 /
7/531	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC 富山	黒部 普通車 /
** 今回ご利用金額合計 **			36190				
** ご請求金額合計 **						36190	
			17,610				

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示。※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ポ-1-ボーナス)圓払い(ポ-2-ボーナス2回払い)。※今回請求:今回のお支払いが何回目かを表示。
※摘要:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(欄外でのご利用には現金/商品/高価物/換札/レド)を表示。○は支払方法を変更できます。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

ご案内
 TS3CARDは各優サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDメール
 (http://ts3card.com)でご確認ください。
 ※一部のカードはTS3CARDメールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

「カードの紛失・盗難後の不正利用が増えています！」
 駐車中の車や、飲食店、駐車場でのご利用の紛失・盗難による不正利用が、多発しております。カードの保管・管理には十分ご注意ください。また、カードの紛失・盗難に気づかれた際は、速やかに弊社までご連絡ください。



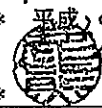
4x3		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費	
				03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月1日	から	調査、勉強会			
平成 年 月 日	まで	1. 学習や学校生活に困難を抱える子どもの課題解決のためのワーキンググループ平成29年度第1回研修会 別紙		自宅-黒部IC-富山IC -県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



44		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年5月2日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	1. 新川農林振興センターの飯田所長と、管内の鳥獣被害状況、農地集積状況、コメ新品種等について意見交換を行う。 ②. 柔道整復師が、県内市町村において介護予防に関わっている実情について調査する。	
新川農林振興センター 県議会		自宅-黒部IC-魚津IC- 新川農林振興センター-県議会-自宅	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 125 km =	4625	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



487		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年5月10日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例の論点整理のための調査を行う。 2. 代表質問に関して、都市との交流による農山漁村活性化条例の成果について調査する。	
県議会			
		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食率代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計 4440	
(領収書貼付枠) (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



18%		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月12日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 代表質問に関して、①地方自治の確立を巡る現憲法規定と憲法改正の議論、②ひきこもり対策の現状、について調査する。		自宅-朝日IC-滑川IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



489		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月17日 から		視察、調査			
平成 年 月 日 まで		1. 新湊マリーナ拡張整備の概成記念式典に出席し、新クラブハウスや大型艇用クレーンの整備状況を視察する。 2. 新総合計画に対する提言に向けて、経済建設部会による執行部ヒヤリングを行う。		自宅-朝日IC-滑川IC-新湊マリーナ-県議会-自宅	
新湊マリーナ 県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 132 km =	4884			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4884	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



490		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年5月19日	から	調査 要望活動	
平成 年 月 日	まで	1. 新総合計画提言に向けて、部会による執行部ヒヤリングを行う。 2. 国土交通省北陸整備局長他に対し、富山県の社会資本整備の推進等に関して要望する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-ホテルグランテラス富山-自宅
県議会 ホテルグランテラス富山			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



412		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月23日	から	調査			
平成 年 月 日	まで	1. 代表質問に関して、北朝鮮ミサイル発射の県民への周知や避難方法等について調査する。 2. 議会基本条例に関して論点整理をする。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-滑川IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



493		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年5月25日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	1. 政調会による地域ブロック会議を開催し、各地域支部から諸課題についてヒヤリングを行い意見交換を行う。 2. 代表質問に関して、県立高校再編について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山第一ホテル- 富山IC-魚津IC-自宅
富山第一ホテル 県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 6 月 26 日
 決裁 平成 29 年 6 月 27 日
 処理 平成 29 年 6 月 27 日



+77		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年5月26日	から	調査	
	まで	1. 政調5部会による友好団体との意見交換を行う。 2. 新総合計画の骨子案について当局からヒヤリングを行う。 3. 第2回自民党議会基本条例PTを開催し意見交換を行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-県民会館-富山IC- 朝日IC-自宅
県議会 県民会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年6月26日
 決裁 平成29年6月27日
 処理 平成29年6月27日



445		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年5月29日 から		調査			
平成 29年5月31日 まで		1. 山村振興議員連盟で島根県を訪問し、中山間地域振興施策等について視察調査する。別紙。 2. 代表質問に関して、富山湾の資源を活かした可能性や弥陀ヶ原火山対策等について調査する。		自宅-朝日IC-富山IC-富山空港-島根県-富山IC-県議会-富山IC-黒部IC-自宅	
島根県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 125 km =	4625			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		1700計		6325	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					
<p>□□□□□□□□□□□□□□□□□□ 富山空港有料駐車場</p> <p>富山空港管理事務所 076-495-3055 □□□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <h3 style="text-align: center;">領 収 証</h3> <p>入車日時 2017年05月29日 06時18分 精算日時 2017年05月31日 10時49分 No. 04-000258 券No. 01-551129</p> <p>駐車料金(一般) 1,700円</p> <p>料金計 1,700円</p> <p>投入現金 2,000円 釣銭額 300円</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 6月 26日
 決裁 平成 29年 6月 27日
 処理 平成 29年 6月 27日



865		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成 29年6月2日	から	調査活動					
平成 年 月 日	まで	代表質問について調査 ①富富富のブランド化に向けた品質向上対策②物資循環フレームワークの具体化に向けた取組み等		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー魚津IC ー自宅			
県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440					
リース車	@18 × km =	0					
有料道							
駐車場				計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日



866		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月7日	から	調査活動、要請活動	
平成 年 月 日	まで	1. 代表質問について調査 ①教員の多忙化解消策 ②地方自治に関わる憲法改正項目について等 2. 朝日町笹川地区の要請活動	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅ー入善土木事務所 ー新川農林振興センターー 自宅
県議会 入善土木事務所 新川農林振興センター			
経費の内容*	金額	経費の内容*	金額*
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 175 km =	6475		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	6475
【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日



備後号	667	係属項目	01_調査研究費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年6月16日 から	から	活動の概要	調査活動
平成 年月日 まで	まで	管内の土地改良事業の進捗状況と平成30年度新規事業の予定等について調査する。	自宅—朝日IC—魚津IC—新川農林振興センター—自宅
新川農林振興センター			
経費の内容	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 55 km =	2035		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	2035
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日



経費番号	868	経費種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成 29年6月20日 から	活動の概要	調査活動	
開催場所	平成 年 月 日 まで 県議会	1. 県内の内水面組合のアユの養殖事業の現状と今後の事業計画について調査する。 2. 環境にやさしい農業の実践状況について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km. =	4440			
リース車 @18 × km. =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日



管理番号 <p style="text-align: center; font-size: 2em;">869</p>	伝令番号 01_調査研究費 02_調査研究費・03_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
実施期間 平成29年6月21日 から 平成 年 月 日 まで 県議会	実施の趣旨 調査活動、勉強会 1. 自衛隊支援議員連盟の勉強会 別紙 2. 議会基本条例について調査する。
経費の内容 鉄道・バス タクシー 航空機 自家用車 @37 × 120 km = 4440 リース車 @18 × km = 0 有料道 駐車場	経費の内容 宿泊料 食事代 会費 計 4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)	

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日

平成29年5月12日

富山県自衛隊支援議員連盟
会 員 各 位

富山県自衛隊支援議員連盟
会 長 米 原 蕃

平成29年度富山県自衛隊支援議員連盟総会
及び勉強会の開催について

このことについて、下記により開催いたしますので、ご出席下さいますようお願い申し上げます。

なお、昼食を準備いたします。

記

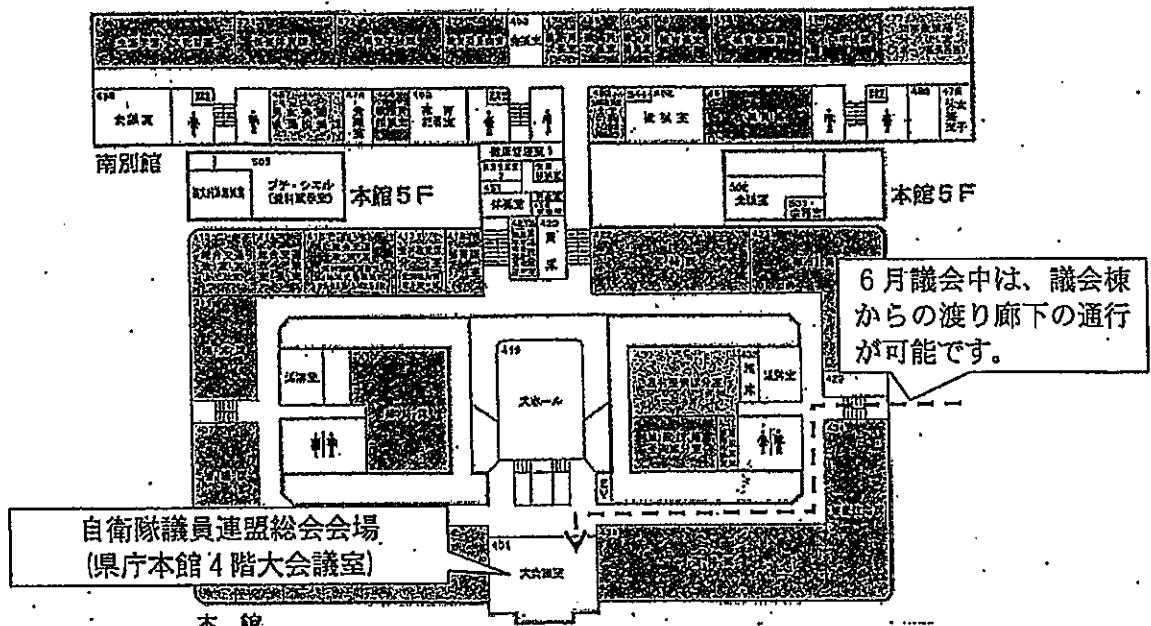
1 日 時 平成29年6月21日(水)

12:00 ~ 12:50 (予定)

(※ 予算特別委員会(1日目午前)終了後の昼休み中)

スケジュール(予定)	
12:00~12:05	総 会
12:05~12:20	昼 食 会
12:20~12:50	勉 強 会

2 場 所 県庁本館 4階 大会議室



3 総 会 付議事項

- (1) 平成28年度事業報告及び収支決算報告について
- (2) 平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
- (3) その他

4 勉強会テーマ「我が国周辺の安全保障環境について」

講師 自衛隊富山地方協力本部

本部長 一等陸佐 ^{やまぐち}山口 ^{かつみ}克己 氏

※ 別紙「出欠確認票」をFAX等にてご返送ください。



870		係長	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月22日	から	活動の概要	調査活動		
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例について調査する。 2. 県立高校の整備に関する検討委員会の委員長を務められた富山大学神川康子副学長を訪問し、県立高校再編の議論について意見交換をする。	自宅ー魚津ICー富山ICー県議会ー富山大学ー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅		
県議会 富山大学					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 130km =	4810			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4810
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日



871		01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費		
平成 29年6月23日	から	勉強会、調査活動		
平成 年 月 日	まで	1. 水産問題調査会の勉強会 2. 県立高校再編について他県の状況を調査する。 3. 6月26日開催の常任委員会の質問について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-県民会館-富山IC -朝日IC-自宅	
県議会 県民会館				
経費の内容*		金額*	経費の内容*	金額*
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日

自民党水産問題調査会 勉強会 次第

と き：平成 29 年 6 月 23 日（金）12：00～
ところ：富山県民会館 8 階 パンケットホール

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 富山県漁業協同組合連合会から説明

(1) 富山県の漁獲状況について 資料-①

(2) 水産基本計画の概要について 資料-②

(3) 水産業競争力強化緊急事業について 資料-③

(4) 太平洋クロマグロの資源管理について 資料-④

(5) 水産物の流通について 資料-⑤

(6) その他

4. 意見交換

5. 閉 会

富山県漁業協同組合連合会出席者 代表理事専務 谷 宣之 参 事 [REDACTED]
--



872		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月24日 から		勉強会			
平成 年 月 日 まで		(愛称) 立山黒部を愛する会の勉強会 別紙		自宅ーパレス扇寿	
黒部パレス扇寿					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 47 km =	1739			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		1739
(領収書貼付枠) (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日

報告者* 

873					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
議会質問の撮影代					
議会の内容		金額(円)	備考		
		12960			
《合計》		12960			

《領収書貼付》

に整理すること。)

領 収 証

No. 29年 6月 20日


鹿熊 正一 様

Y 12,960

但 議会報告用写真

上記正に領収いたしました

内 訳
現金
小切手 /
手形 /
消費税額 (96)

しら  オト
富山市豊田本町 2-16-35
〒931-8512 TEL FAX 076-438-3326

收受 平成 29 年 7 月 31 日
決裁 平成 29 年 8 月 1 日
処理 平成 29 年 8 月 1 日



001.jpg



002.jpg



003.jpg



004.jpg



005.jpg



006.jpg



007.jpg



008.jpg



009.jpg



010.jpg



011.jpg



012.jpg



013.jpg



014.jpg



015.jpg



016.jpg



017.jpg



018.jpg



019.jpg



020.jpg



021.jpg



022.jpg



023.jpg



024.jpg



025.jpg



026.jpg



027.jpg



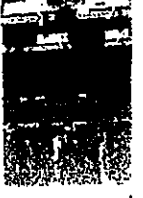
028.jpg



029.jpg



030.jpg



031.jpg



032.jpg



033.jpg



034.jpg



035.jpg



036.jpg



037.jpg



038.jpg



039.jpg



040.jpg



041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



049.jpg



050.jpg



051.jpg



052.jpg



053.jpg



054.jpg



055.jpg



056.jpg



057.jpg



058.jpg



059.jpg



060.jpg



874	
03_広聴広報費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
ホームページホスティング料 (6月分)	
8467	80%
8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005334

鹿熊正一様 平成29年7月12日

¥ 10,584-

但しHPホスティング料(6月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 印刷
代表取締役 寛
〒338-0021 埼玉県川口市栄町5-1-15 04-654-0128

取扱者印

内	印刷物代金	¥
取	消費税	¥

收受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日

報告者*



	875		
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
			04_要請陳情等活動費 09_事務費
			05_会議費 10_人件費
新聞代金(6月分) 学士会会報(年4回発行購読料)			
内容	金額(円)		
富山新聞	3060	/	
北日本新聞、日経新聞	6742	/	
読売新聞	3093	/	
学士会会報(年4回発行)	4000	/	
(合計)	16895		

【領収書貼付枠】 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	84.00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

29年 6月分

84-8305

格 柄	部 数	金 額
1 読売新聞		3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

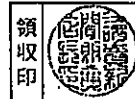
◇左記の通り領収しました

領収日 29年 7月 31日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318



※領収書もあわせて内容を十分お読みください。

29-06-30 新聞代金 *6,742

29-07-03 *3,060 トマソンアソシエ

收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日

振替払込請求書
兼受領証

通常払込料金
加入者負担

00100 1 900686

一般社団法人 学士会

千	百	十	元	角	分	厘
			4	0	0	0

振込元
 振込先
 二枚用紙に記入してください

紙幣
現金
交
附

(住所非表示払込書)

鹿熊 正一様

会費

代行会社 三菱UFJファイナンス社 (CVS信託連)

日 附 印

29-07-10
富山県片内
郵便局

(32185)
N94170008

この受領証は、大切に保管してください。



876		
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
	05_会議費 10_人件費	
電気料金 事務所賃借料 (7月分)		
領受内容	金額 (円)	備 考
電気料金 (6月分)	1672	/ 50%
事務所賃借料 (7月分)	15000	/ 50%
合 計	16672	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		
<p>D29-7-11 電気料金 3,344 株式会社〇〇〇〇</p>		

收受 平成 29年7月31日
 決裁 平成 29年8月1日
 処理 平成 29年8月1日

~~振込金受取書(兼振込手数料受取書)~~
~~預金払戻請求書~~による振込受付書(兼振込手数料受取書)
~~預金払戻振替~~
(該当しない方を二条線により抹消する。)

お願い
 ●振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この時刻以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることありますのでご了承ください。

ご注意
 ●電信扱の場合には、受取人名等をカナ文字で送信いたします。
 ●ご記入相違などの不備がありました場合には、照会等のために、振込が遅延することがあります。
 ●やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがありましても当金庫は責任を負いません。

定期的に、決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞ取扱店窓口までお申し出ください。

振込金として現金または有価証券(当座小切手等)を受領した場合は、「振込金受取書(兼手数料受取書)」、預金払戻請求書による場合は、「振込受付書(兼手数料受取書)」として使用しています。

収入印紙

金額外且つ5万円
(振込金+手数料)
 以上貼付



※口座振替の場合は不要

振込(相手)科目

当・普・他

にいかお信用金庫

取扱店

当金庫をご利用くださりましてありがとうございます。
 今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

依頼日	29	7	3	取扱店	電信扱	手数料 (消算料含む)	現金 振替	324	手数料には消費税が含まれています。		
振込金額	金額			十	億	千	万	千		百	拾
振込先	フリガナ			フリガナ	鹿熊正-後援会様						
お名前	おなまえ			おなまえ	7月分						
おところ	おところ			おところ	電話 ()						



	877		
09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
コピー用紙代			
コピー用紙代	695	50%	
(合計)			
		695	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日

お買上明細書

2017年 6月14日(水)13:16 0832-0001

7690
領収証No 000014273

28 北用紙 A4 ¥1,390
(5個 x @278)

小言十 ¥1,390
(内消費税 8% ¥102)
商品計 5点

6P(250BP)

*** ご返品時は領収証も ***
*** あわせてご提示ください ***

7690

領 収 証
熊正会 様

000014273号

¥1,390.

(消費税 ¥102を含みます。)但し

扱者印



2017年06月14日 上記正に領収しました。
株式会社コメリ 朝日店
新潟県新潟市南区清水4501-1
TEL 0765-83-9025

◇◇印刷面を内側に折って保管して下さい。◇◇



整理番号	1127	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年6月1日 から	活動の概要 (内容)	高速代	(備考)
	平成 年6月30日 まで			
場所				
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × km =	0		
リース車	@18 × km =	0		
有料道		5460		
駐車場			計	5460
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



865		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月2日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		代表質問について調査 ①富富富のブランド化に向けた品質向上対策②物資循環フレームワークの具体化に向けた取組み等		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー魚津IC ー自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は、主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年7月31日
 決裁 平成29年8月1日
 処理 平成29年8月1日



866		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月7日 から		調査活動、要請活動			
平成 年 月 日 まで		1. 代表質問について調査 ①教員の多忙化解消策 ②地方自治に関わる憲法改正項目について等		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅-入善土木事務所 -新川農林振興センター- 自宅	
県議会 入善土木事務所 新川農林振興センター		2. 朝日町笹川地区の要請活動			
経費の種別	金額	経費の種別	金額	合計	
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 175 km = 6475				
リース車	@18 × km = 0				
有料道					
駐車場		計		6475	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日



667		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年6月16日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		管内の土地改良事業の進捗状況と平成30年度新規事業の予定等について調査する。		自宅—朝日IC—魚津IC—新川農林振興センター—自宅	
新川農林振興センター—					
経費の内訳		金額		経費の内訳	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 55 km =		2035			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 2035	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

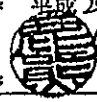
收受 平成 29 年 7 月 31 日
 決裁 平成 29 年 8 月 1 日
 処理 平成 29 年 8 月 1 日



1128		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月4日	から	調査、講演	
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例の検討 2. 日中友好富山県地方議員連盟総会 での講演	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会・富山第一ホテル -富山IC-朝日IC-自宅
県議会、富山第一ホテル			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1129		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月5日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	1. 下新川海岸整備促進議員連盟総会(7.18)に向けて、事務局(黒部市議会事務局)と事業計画等について打合せをする。 2. 高校再編に関して、全国の取組みについて調査する	自宅-朝日IC-黒部IC-黒部市役所-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
黒部市役所、県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 127 km =	4699	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4699
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1130		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年7月11日から		調査			
平成 年 月 日 まで		新川地域推進協議会総会（7.18） に向けて、事業計画、県への要望項目 等について打合せを行う。		自宅-黒部IC-魚津IC- 新川広域圏事務局-自宅	
新川広域圏事務局					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	45 km =	1665		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計 1665	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1181		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月12日 から		現地視察、調査	
平成 年 月 日 まで	角川ダム、朝日町役場	1. 角川ダム管理用水力発電所竣工式に出席し現地を視察する。 2. 朝日町の平成30年度県要望(7.24)について町長等と意見交換を行う。	自宅一角川ダムー魚津ICー朝日ICー朝日町役場ー自宅
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 65 km =	2405	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	2405
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

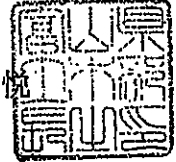
収受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



平成29年6月13日

富山県議会経済建設委員会
委員 鹿熊 正一 様

富山県土木部長 加藤 昭悦



角川ダム管理用水力発電所竣工式のご案内

謹啓 若葉青葉の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて かねてより整備を進めてまいりました「角川ダム管理用水力発電所」が完成の運びとなりました。

これもひとえに関係各位の絶大なるご支援とご協力の賜と厚く御礼申し上げます。

つきましては、下記により竣工式を挙行いたしますので、ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、ご臨席賜りますようご案内申し上げます。

謹言

記

- 1 日 時 平成29年7月12日(水) 午後2時より
- 2 場 所 魚津市鹿熊地内 角川ダム管理用水力発電所前
(別添会場案内図のとおり)
- 3 内 容 挨拶、祝辞、工事経過報告、テープカット、発電開始・くす玉開披

なお、お手数ながら、ご出席の有無を同封いたしました 別紙の確認票にご記入の上、6月30日(金)までにファックスにてお知らせ下さいますようお願い申し上げます。

(お問い合わせ先)

河川課 開発班 尾定 溝口

TEL 076-444-8331

FAX 076-444-4417

平成29年6月29日

富山県議会議員
鹿熊 正一 様

朝日町長 笹原 靖



平成30年度国県予算に対する重要要望事項説明会の開催について

平成30年度国県予算に対する重要要望事項に関する説明会を下記により開催いたしますので、ご出席をお願いします。

記

- 1 日 時 平成29年7月12日(水)
午後4時～(1時間半程度)
- 2 場 所 朝日町役場3階 第3委員会室
- 3 出席予定者
富山県議会 鹿熊 正一議員
朝日町議会 西岡 良則議長、加藤 好進副議長
朝日町長 笹原 靖直、副町長 山崎 富士夫

(説明者) 各担当課長

* 要望内容の詳細につきましては、説明会前までに送付させていただきます。

* 国県予算に対する富山県への要望日は、7月24日(月)です。

<参考>要望日当日のスケジュール

【午前】入善土木、黒部河川事務所、新川農林振興センター、新川土木センター

【午後】県庁各部署及び国土河川事務所、あいの風とやま鉄道株式会社

※知事：午後4時 副知事：午後4時20分



1/32		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月14日から		調査	
平成 年 月 日 まで	1. 県技術専門学院を訪問し、鈴木学長と学院の最近の取組みと課題等について意見交換を行う。 2. 次世代人材育成・確保特別委員会(7.20)の質問について調査する。	自宅-黒部IC-滑川IC-県技術専門学院-県議会-富山IC-魚津IC-自宅	
富山県技術専門学院、県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 132 km =	4884		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4884
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p> <p style="text-align: center;">H29. 7. 14</p> <p style="text-align: center;">▲富山県</p> <p style="text-align: center;">富山県技術専門学院</p> <p style="text-align: center;">校長 鈴木 義 紀</p> <p style="text-align: right;">〒930-0916 富山市向新庄町1丁目14-48 TEL (076) 451-8802 FAX (076) 451-8842</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 8月 29日
 決裁 平成 29年 8月 29日
 処理 平成 29年 8月 30日



1/33		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月18日	から	総会、調査	
平成 年 月 日	まで	1. 小川温泉で各総会を開催する。 (別紙) 2. 高校再編について各県の 再編基準の設定の状況を調査する。 3. 県総合計画に対する提言について 調査する。	自宅-小川温泉-黒部IC -富山IC-県議会-富山I C-朝日IC-自宅
小川温泉、県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 130 km =	4810	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4810
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

平成29年6月6日

新川県議会議員連盟
富山県議会議員 鹿熊正一 殿

魚津・朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会
会長 朝日町長 笹原靖直

魚津・朝日間湾岸道路建設促進期成同盟会
第26回通常総会の開催について（ご案内）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

本同盟会の事業推進につきましては、日頃から格別のご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

この度、標記の通常総会を下記のとおり開催いたしますので、ご多用の折とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

なお、出欠につきましては、お手数ですが同封の返信用葉書にて6月30日（金）までにご連絡いただきますようお願いいたします。

記

1 日時 平成29年7月18日（火） 午前9時00分より

2 会場 下新川郡朝日町湯ノ瀬1番地
小川温泉元湯 ホテルおがわ
電話 0765-84-8111

（事務担当）朝日町建設課 狩谷
電話 0765-83-1100 内線 241

平成 29 年 6 月 14 日

富山県議会議員 鹿熊正一 様

新川地域推進協議会
会長

新川地域推進協議会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席下さいますようお願い
します。

記

- 1 日 時 平成 29 年 7 月 18 日 (火) 午前 10 時 30 分から
- 2 場 所 小川温泉元湯 ホテルおがわ『福寿』(下新川郡朝日町湯ノ瀬1)
- 3 内 容
 - ・平成 28 年度事業報告及び決算について
 - ・平成 29 年度事業計画(案)及び予算(案)について
 - ・県に対する要望について

以上

事務担当 : 新川広域圏事務組合
総務課 河崎 拓也
TEL 0765-23-1024
FAX 0765-24-2953

平成29年6月12日

新川地域推進協議会

会長 鹿熊 正 一 様

(日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議理事)

日本海・関東首都圏連絡道路(新川
・大北直結道)建設構想推進会議

会長 黒部市長 堀内 康 男

(公印省略)

平成29年度日本海・関東首都圏連絡道路(新川・大北直結道)
建設構想推進会議総会の出席について

初夏の候 貴殿にはますますご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本会活動に対し格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび平成29年度日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議総会を下記により開催する運びとなりました。

つきましては、公務ご多用の折とは存じますが、ご臨席を賜りますようお願い申し上げますとともに、誠に恐縮に存じますが、総会においてご祝辞を賜りますよう、併せてお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成29年7月18日(火)
午前9時30分～午前10時
- 2 会 場 小川温泉元湯ホテルおがわ
(下新川郡朝日町湯ノ瀬1 TEL 0765-84-8111)
- 3 協議事項 平成28年度事業報告及び収支決算について
平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

※裏面様式により、7月3日(月)までに出席のご連絡をお願いいたします。

事務担当：黒部市企画政策課 橋本

TEL：0765-54-2111

FAX：0765-54-4461



1/24		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月23日 から		講演	
平成 年 月 日 まで	日本海メタンハイドレードと富山湾についての勉強会に参加する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県連-富山IC-朝日IC- 自宅	
自民党県連会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年8月29日
 決裁 平成29年8月29日
 処理 平成29年8月30日

平成29年7月13日

自民党富山湾未来創造調査会
会 員 各 位

自民党富山湾未来創造調査会
会長 四 方 正 治

自民党富山湾未来創造調査会勉強会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますのでご案内します。
なお、出欠を確認させていただきたいので、別紙を7月20日（木）まで、
自民党控室へ提出（送付）くださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成29年7月23日（日）午前10時から
- 2 場 所 自由民主会館 3階会議室
- 3 内 容 「日本海のメタンハイドレートと富山湾について」
東京海洋大学准教授 青山 千春 氏



1/35		04_要請陳情等活動費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年7月24日から		要請活動			
平成 年 月 日 まで		朝日町の平成30年度県要望活動を行う。		自宅—県庁—自宅	
県庁					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

平成30年度国県予算に対する重要要望事項要望巡回スケジュール

No.	訪問先	訪問先	確定時間	訪問時間
1	入善土木事務所	所長	8:45~9:05	20
2	黒部河川事務所	所長	9:20~9:40	20
3	新川土木センター所長	所長	9:55~10:15	20
4	新川農林振興センター	所長	10:15~10:35	20
1	経営管理部	経営管理部長	13:00~13:15	15
2	総合政策局	総合政策局長	13:35~13:55	20
3	厚生部	厚生部長	14:00~14:15	15
4	農林水産部	農林水産部長	14:20~14:45	25
5	教育長	教育長	14:50~15:20	30
6	土木部	土木部長	15:25~15:55	30
7	知事	知事	16:00~16:15	15
8	副知事	副知事	16:20~16:35	15
9	観光・交通・地域振興局	観光・地域振興局長	16:40~16:50	10
10	富山河川国道事務所	所長不在	17:00~17:10	10
11	あいの風富山鉄道		17:20~17:30	10



報告者*

1/36		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月26日	から	現地視察、総会	
平成 年 月 日	まで	1. ヒスイ海岸自然史展示室及びペットフリーサイトのオープン式典に参加し視察を行う。2. 朝日・魚津間林道建設促進協議会総会に出席する。工事の進捗状況並びに今後の計画について県より説明を受ける。	自宅ー宮崎ー朝日ICー魚津ICーホテルグランミラージュー魚津ICー朝日ICー自宅
朝日町宮崎、ホテルグランミラージュ			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 58 km =	2146	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	2146
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年8月29日
 決裁 平成29年8月29日
 処理 平成29年8月30日

平成29年7月14日

富山県議会議員
鹿熊 正一 様

朝日町長 笹原 靖



朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場「ヒスイ海岸自然史展示室」及び
「ペットフリーサイト」オープン式典の開催について（ご招待）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より町事業に対し、格段のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場に新施設として、「ヒスイ海岸自然史展示室」（愛称：ヒスイ化石 KAN）及びペットフリーサイトをオープンすることとなりました。

つきましては、オープン式典を下記のとおり開催いたします。ご多用の折とは存じますが、ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成29年7月26日（水）13時00分～13時40分
- 2 場 所 朝日ヒスイ海岸オートキャンプ場管理棟

なお、オープン式典において、テープカットをお願い申し上げます。

担当：朝日町教育委員会事務局

山瀬 拓也 電話：83-1100

朝日町埋蔵文化財保存活用施設まいぶん KAN

電話：83-0118

平成29年 7月 5日

富山県議会議員

鹿 熊 正 一 殿

朝日・魚津間林道建設促進協議会
会長 朝日町長 笹原 靖直

朝日・魚津間林道建設促進協議会第23回総会
の開催について(ご案内)

初夏の候 貴殿には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、当協議会の運営並びに事業の促進に関しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協議会の平成28年度の決算並びに平成29年度の事業計画(案)等を併せてご審議いただく時期となりました。

つきましては、下記のとおり総会を開催いたしますので、公私ご多用の折とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成29年 7月26日(水) 午後3時15分より
2. 場所 ホテルグランミラージュ
魚津市吉島 1-1-20 電話(0765)24-4411
3. 議題 (1) 平成28年度事業報告について
(2) 平成28年度収支決算について
(3) 平成29年度事業計画(案)について
(4) 平成29年度収支予算(案)について
(5) 役員を選任について

※ お手数ですが、準備の都合がありますので、同封のはがきにて7月18日(火)までに出欠のご連絡をお願いします。

事務担当：朝日町役場 農林水産課 坂藤
TEL：0765-83-1100 (内236)
FAX：0765-83-1109



1137		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年7月28日から		調査			
平成 年 月 日 まで		県農村振興課長の南課長から中山間地域ルネッサンス事業及び利賀地域におけるトレイルラン事業について説明を受け意見交換を行う。		自宅—朝日IC—富山IC— 県議会—富山IC—朝日IC— 自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》		《原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。》			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1138		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29 年 7 月 31 日 から		調査等			
平成 年 月 日 まで		1. 元気とやま村づくり推進大会に出席し、講演並びに事例発表を聴く。 2. 中山間地域振興施策について調査する。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-県民会館-富山IC -魚津IC-自宅	
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

1139		03_広聴広報費 01_調査研究費 ・02_研修費 ・03_広聴広報費 ・04_要請陳情等活動費 ・05_会議費 06_資料作成費 ・07_資料購入費 ・08_事務所費 ・09_事務費 ・10_人件費
ホームページホスティング料 (7月分)		
	8467	80%
	8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)


領 収 証 005339


鹿熊 正一 様 平成 29 年 8 月 14 日

¥ 10,584 -

但し、HPホスティング料(7月分) 上記の金額正に領収いたしました。


内	印刷物代金	¥
取	消費税	¥

株式会社  印刷

代表取締役 

〒338-0902 豊田県豊田市吉野町1-1-1 (053)54-0111

収入印紙

取扱者印 

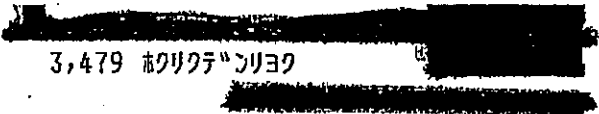
收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1140	
07_資料購入費	01_調査研究費 02_研修費 03_広報広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費
新聞代金（7月分）	
富山新聞	3060 /
北日本新聞、日経新聞	6742 /
	9802
《領収書貼付枠》 （原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）	
15 29-07-31 16 29-07-31 17 29-08-02 18 29-08-10	新聞代金 *6,742 *3,060 トヤマシンワゴン

收受 平成 29年 8月 29日
 決裁 平成 29年 8月 29日
 処理 平成 29年 8月 30日



1141		
08_事務所費	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費	
電気料金 事務所賃借料 (8月分)		
電気料金 (7月分)	1739	/
事務所賃借料 (8月分)	15000	
	16739	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		
29- 8- 7 029- 8- 9 電気料金 29- 8- 9	3,479 株式会社リョウ 	

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

振込金受取書(兼振込手数料受取書)

預金払戻請求書による振込受付書(兼振込手数料受取書)
 預金口座振替 (該当しない方を二条線により抹消する。)

お願い

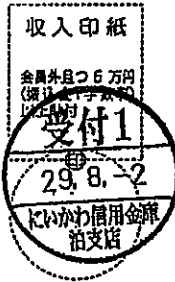
- 振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この時刻以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることとありますのでご了承ください。

ご注意

- 電信扱の場合には、受取人名等をカナ文字で送信いたします。
- ご記入相違などの不備がありました場合には、照会等のために、振込が遅延することがあります。
- やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがありましても当金庫は責任を負いません。

定期的に、決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞ取扱店窓口までお申し出ください。

振込金として現金または有価証券(当座小切手等)を受領した場合は、「振込金受取書(兼手数料受取書)」、預金払戻請求書による場合は、「振込受付書(兼手数料受取書)」として使用しています。



※口座振替の際は不要
 振替(相手)科目
 当・普・他


いしかわ信用金庫

取扱店

当金庫をご利用くださりましてありがとうございます。
 今後ともよろしくお願い申し上げます。

219年 018月 012日		電信扱		現金振替 324	
店		金額		十 億 千 万 千 百 拾 円	
フリガナ		フリガナ		¥ 30000	
おなまえ		おなまえ		鹿熊正一後援会様	
おとこ		おとこ		8月分	
電話 ()		電話 ()			

手数料には消費税が含まれています。

報告者* 

1142			
09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
コピー用紙代 インク代			
コピー用紙代	718	/	
インク代	3706		
	4424		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2017/07/17(月) 16:28
担当 :

■ 領収証 ■

文具 357
2002000004932 (119 X 3)

合計 ¥357
お預り ¥360
(消費税等 ¥26)
(お買上げ点数 3)

お釣り ¥3

レシートNo. 00152010 店 4213-01



000042130100152010

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2017/07/26(水) 16:34
担当 :

■ 領収証 ■

文具 626
2002000004932

合計 ¥626
お預り ¥631
(消費税等 ¥46)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥5

レシートNo. 00152764 店 4213-01



000042130100152764

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2017/07/23(日) 14:19
担当 :

■ 領収証 ■

文具 454
2002000004932

合計 ¥454
お預り ¥1,000
(消費税等 ¥34)
(お買上げ点数 1)

お釣り ¥546

レシートNo. 00152462 店 4213-01



000042130100152462

領収証

2017年 8月 7日 No.01-00153899

鹿熊正一 様

金額 ¥7,412-

但し インクカートリッジ 10
(内消費税額 549円含む)
上記正に領収いたしました。

明文堂書店 朝日店
富山県下新川郡朝日町道下922-3
電話 0765-83-3223





1440		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年7月1日	から	高速代		(備考)	
平成29年7月31日	まで				
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		13350			
駐車場				計 13350	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

ご利用 月日	ご利用店名	ポイント 付与	ご利用 金額 (円)	お支払 方法	回数 数	今回ご請求 金額 (円)	経路	種別
7/4	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日	普通車
7/4	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山	普通車
7/5	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日	普通車
7/5	ETC通行料金	☆	360	1回払	1	360 ETC	朝日 黒部	普通車
7/5	ETC通行料金	☆	950	1回払	1	950 ETC	魚津 富山	普通車
		☆						
		☆						
7/7	ETC通行料金	☆	420	1回払	1	420 ETC	黒部 魚津	普通車
		☆						
		☆						
7/7	ETC通行料金	☆	650	1回払	1	650 ETC	魚津 朝日	普通車
7/7	ETC通行料金	☆	660	1回払	1	660 ETC	黒部 清川	普通車
		☆						
7/7	ETC通行料金	☆	950	1回払	1	950 ETC	富山 魚津	普通車
		☆						
		☆						
		☆						
7/7	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	富山 朝日	普通車
7/8	ETC通行料金	☆	1210	1回払	1	1210 ETC	黒部 富山	普通車
		☆						
		☆						
7/7	ETC通行料金	☆	950	1回払	1	950 ETC	富山 魚津	普通車
7/7	ETC通行料金	☆	1440	1回払	1	1440 ETC	朝日 富山	普通車

** 今回ご利用金額合計 **

25490

** ご請求金額合計 **

25490

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(※1-ボーナス1回払い、※2-ボーナス2回払い)、※今回請求:今回のお支払いが何回目を表す。
※補足:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(※併用でのご利用にはお現地御質問・御連絡先(※クレジット)を表示、○は支払方法を発見できます。ただし一部ご要望にお応えできない場合がございます。

ご案内
TS3CARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTS3CARDモール
(<http://ts3card.com>)でご確認ください。
※一部のカードはTS3CARDモールの提供サービス内容が異なる場合がございます。

カードの紛失・盗難後の不正利用が増えています!
駐車中の車や、飲食店、商業内等でのカードの紛失・盗難による
正使用が、多発しております。カードの保管・管理には十分注意
いただき、かつ、カードの紛失・盗難に気づかれた際は、速
に弊社までご連絡ください。



1128		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月4日 から		調査、講演	
平成 年 月 日 まで	1. 議会基本条例の検討 2. 日中友好富山県地方議員連盟総会での講演	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会・富山第一ホテル -富山IC-朝日IC-自宅	
県議会、富山第一ホテル			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1129		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月5日 から		調査	
平成 年 月 日 まで	黒部市役所、県議会	1. 下新川海岸整備促進議員連盟総会（7.18）に向けて、事務局（黒部市議会事務局）と事業計画等について打合せをする。 2. 高校再編に関して、全国の取組みについて調査する	自宅-朝日IC-黒部IC-黒部市役所-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 127 km =		4699	
リース車 @18 × km =		0	
有料道			
駐車場		計	4699
<p>《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1/30		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月11日から		調査	
平成 年 月 日 まで	新川地域推進協議会総会（7.18） に向けて、事業計画、県への要望項目 等について打合せを行う。	自宅ー黒部ICー魚津ICー 新川広域圏事務局ー自宅	
新川広域圏事務局			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 ×	45 km =	1665	
リース車 @18 ×	km =	0	
有料道			
駐車場		計	1665
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1101		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月12日 から		現地視察、調査	
平成 年 月 日 まで	1. 角川ダム管理用水力発電所竣工式 に出席し現地を視察する。 2. 朝日町の平成30年度県要望 (7.24) について町長等と意見交換を 行う。	自宅一角川ダム一魚津IC 一朝日IC一朝日町役場一 自宅	
角川ダム、朝日町役場			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 65 km =	2405		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	2405
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1/32		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費・03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29 年7 月14 日 から		調査	
平成 年 月 日 まで		1. 県技術専門学院を訪問し、鈴木学長と学院の最近の取組みと課題等について意見交換を行う。 2. 次世代人材育成・確保特別委員会(7.20)の質問について調査する。	自宅-黒部IC-滑川IC-県技術専門学院-県議会-富山IC-魚津IC-自宅
富山県技術専門学院、県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 132 km =	4884	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4884
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
<p>H29. 7. 14</p> <p>▲富山県</p> <p>富山県技術専門学院</p> <p>校長 鈴木 義 紀</p> <p>〒930-0916 富山市向新庄町1丁目14-48 TEL (076)451-8802 FAX (076)451-8842</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 8 月 29 日
 決裁 平成 29 年 8 月 29 日
 処理 平成 29 年 8 月 30 日



1/33		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年7月18日 から		総会、調査	
平成 年 月 日 まで	小川温泉、県議会	1. 小川温泉で各総会を開催する。 (別紙) 2. 高校再編について各県の再編基準の設定の状況を調査する。 3. 県総合計画に対する提言について調査する。	自宅-小川温泉-黒部IC -富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 130 km =		4810	
リース車 @18 × km =		0	
有料道			
駐車場:		計	4810
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年 8月 29日
 決裁 平成29年 8月 29日
 処理 平成29年 8月 30日



整理番号	1138	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年7月31日 から	活動の概要	調査等	
	平成 年 月 日 まで	1. 元気とやま村づくり推進大会に出席し、講演並びに事例発表を聴く。 2. 中山間地域振興施策について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-県民会館-富山IC -魚津IC-自宅	
場所	県議会			
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年8月29日
 決裁 平成29年8月29日
 処理 平成29年8月30日



1441		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月7日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 広島県、島根県の中山間地域振興対策について調査する。2. 地方公務員の地域手当制度について全国の状況を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1442		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月9日	から	調査、要請活動	
平成 年 月 日	まで	1. 県立高校再編について全国の状況を調査する。2. 県総合計画について提言案を検討する。3. 入善土木管内の事業について要請と意見交換。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-入善IC-入善土木事務所-自宅
県議会、入善土木事務所			
		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 125 km =	4625	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1443		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月10日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	第1回中山間地域振興対策推進本部会議を開催し、課題について意見交換を行う。	自宅-入善IC-滑川IC-県議会-富山IC-入善IC-自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年9月29日
 決裁 平成29年9月29日
 処理 平成29年9月29日

平成29年8月8日

自由民主党富山県議会議員会
関係議員各位

自由民主党富山県議会議員会
会長 鹿熊 正一

第1回中山間地域振興対策推進本部会議への
ご出席について（依頼）

このことについて、8月10日（木）に開催の自民党議員総会において、「中山間地域振興対策推進本部」及び「中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム」の設置についてお諮りすることとしておりますが、自民党議員総会においてご承認のうえは、第1回の「中山間地域振興対策推進本部会議」を、議員総会の終了後、下記のとおり開催したいと考えておりますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成29年8月10日（木）午後1時から
- 2 場 所 議事堂 2階 210会議室
- 3 出席予定者 別紙名簿のとおり
- 4 協議事項 (1) 中山間地域振興対策の課題について
(2) その他

※会議冒頭、報道関係者による取材があります。

※ご欠席の場合は控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

（参考）当日のスケジュール

11:00 自民党役員会（210会議室）

正午 自民党議員総会（大会議室）

13:00 第1回中山間地域振興対策推進本部会議（210会議室）



1444		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月17日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		議会基本条例の論点について、調査する。		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー入善IC ー自宅	
原議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日



1445		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月21日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	中央省庁本県出向者と経済建設部会との意見交換を行う。別紙	自宅—泊駅—糸魚川駅—東京駅—経済産業省、国土交通省—東京駅—糸魚川駅—泊駅—自宅
経済産業省、国土交通省			
鉄道・バス 並行在来線、北陸新幹線	27020	宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 10 km =	370		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	27390
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

領収書

花 健 正 一 様

Receipt

領収年月日 2017-8-21

金額 ￥25,800 (消費税等込み)

上記金額に領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(30185 4枚)
西日本旅客鉄道株式会社

糸魚川線
糸魚川駅MK2発行 40186-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

領収書

花 健 正 一 様

ご利用日付 2017年-8月21日

時刻 06時11分

券番号: 1971

取引内容: 乗車券類購入 金610円

印紙税申告納
付につき富山
税務署承認済 伝票番号: 07252

●ご利用ありがとうございます。

糸魚川線 券01発行

あいの風とやま鉄道株式会社

領収証

花 健 正 一 様

ご利用日付 2017年-8月21日

時刻 22時32分

券番号: 5175

取引内容: 乗車券類購入 金610円

印紙税申告納
付につき高田
税務署承認済 伝票番号: 09376

●ご利用ありがとうございます。

糸魚川線 券02発行

えちごトキめき鉄道株式会社

県外・海外政務活動報告書

平成 19 年 9 月 29 日

整理番号	1445	会派・議員名	鹿熊
活動名称	意見交換		
目的	中央省庁本県出向者と情報交換を行い、本県の課題解決や議員の資質向上を図る。		
日程	平成 29 年 8 月 21 日 (月) ~ 平成 年 月 日 ()		
場所 [国名・都市名、施設名、訪問先等]	経済産業省、国土交通省の国会内事務所		
相手方等 [主催者、対応者、参加者、同行者等]	別紙		
<p>行程、活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 別紙 要望書に基づいて、意見交換を行う。 ○ 行程 熊本から羽取に行き、釜石駅乗換え、仙台駅に行き、北陸新幹線で乗換え、最寄り、経済産業省に行き、意見交換を行う。次に、国会内の国土交通省事務所に行き、意見交換を行う。 その後、懇親会を行い、行きと逆の行程で帰る。 			
<p>別紙要望書に基づき意見交換を行う。</p> <p>※日帰りの政務活動を含む。</p>			

【経済産業省から出向されていた方々】

藤木俊光 商務・サービス審議官

戸高秀史 特許庁 総務課長

佐野究一郎 内閣官房日本経済再生総合事務局参事官

亀井明紀 産業技術環境局環境政策課環境経済室長

亀井：

- ・現在は、環境経済室で2020年のCO2削減について環境省と交渉中
- ・立山黒部について、室堂や美女平で並んで列ができていますが、整理券の配布とかもつと効率的にできるようにしたら良い。

佐野：

- ・現在、内閣官房で成長戦略の担当
- ・前は、地域で使えるIoTとして地域公共交通の課題解決に取り組んだ。
- ・第4次産業革命関連で会津若松市で病院のビッグデータをオープン化しているんな企業が参入できるようにした例など、可能性は大きい。

戸高：

- ・現在は特許庁総務課勤務。
- ・第4次産業革命関連で、一つのメーカーが特許を離さないとなると発展がない。
- ・特許は中小企業にとっては大きな武器、どこをopenにし、どこをcloseにして戦略を作るかを中小企業の皆さんにわかって欲しい。そんな検討を進めている。
- ・中小企業の知財の活用を支援する団体も設立されたので、活用願いたい。

部会員：自動車の自動運転の技術が進んでいるが、過疎地で多いようだが、市街地での利用は出来ないか。

佐野：自動運転は、お台場、藤沢などで実証実験をやっている。街中での実証で、無人運転宅配も実証実験中と聞いている。

部会員：空き家対策は国交省と経産省で連携してやっているか。事業承継の問題も大きい。

亀井：空き店舗対策として、税制が変わるような事を聞いた。確認する。

事業承継は希望者同士のマッチング対策に取り組んでいるところ

部会員：事業承継は、家業を継ぐ家族が帰ってこない事が大きな問題

藤木：若干、もっとおせっかいを焼く必要があるのではないが。この会社がなくなると周りが困るようなこともある。周りで支援する事が必要でないか。

亀井：富山でも中小企業の事業承継が進まないと大企業も困る。YKK なども職員の出し先を探している状態。

部会員：富山県では人材不足が続いている。求人倍率は高い。時給も上がっている。新潟や福井まで求人している。

部会員：原子力の再稼働に向けた国の考えはどうか

藤木：再生可能エネルギーは無くならないだろうが、主力には成りえないと思う。やはり、ここ数十年は原子力に頼らざるを得ないと感じる。

- ・アメリカはシェールガスに頼っていくだろう。日本は使える原子力に頼らざるを得ない。
- ・原発を辞められる国は恵まれている国。他のエネルギー資源がある国。
- ・不安を煽って何もしないというのが問題
- ・西側の原発メーカーは大苦戦している。このままでは原発はロシアと中国のものになって行く。

部会員：今後の富山県において、留意すべきことは

藤木：

- ・2025年、大阪万博の話がある。大阪の同友会の代表幹事はコクヨの黒田さん。
- ・観光、サービス、ヘルスケアをもう少し盛り上げたらいい。
- ・今後、地域経済にのしかかるのは、医療費の増大。病院に係る前にヘルスケアにもっと力を入れること。どうやったら医療費を減らせるかを検討すべき。
- ・現在、キッズウィーク（秋休み）を検討している。市町村単位で分散させることを検討し始めている。
- ・電気自動車についてはもっと増えていくだろう。今の車が自動走行する必要はない。それ用の車の開発がされてくると思う。

【国土交通省から出向されていた方々】

佐藤克文 内閣府総合海洋政策事務局企画官

中橋宗一郎 国土交通省国会連絡室長

○部会員より意見要望等

- ・道路財特法による補助率の嵩上げ措置の継続については、9月定例会で意見書も出す予定である。全国からの声が届くと思う。
- ・道路予算は特定財源が無くなって以来、大変厳しい。道路整備は大事。何としても予算の確保をお願いしたい。
- ・港湾では、先日名古屋港を視察した。日本海側と違いが在り過ぎる。均衡ある国土の発展を考えると、日本側にも配慮して欲しい
- ・公共交通、補助金切り下げの話があるが、地方は採算性は厳しい。富山県の実情に詳しい皆さんのご理解をお願いしたい。
- ・立山黒部、関電黒部ルートについてはダムが完成したら地域に解放することが決まっていたが未だに実現していない。県とすれば大事な観光資源と捉えている。知事も力を入れ始めている。協力願いたい。
- ・伏木富山港が総合拠点港に指定されたことは有り難いが、港湾を県レベルで維持するには厳しい。機能向上するには莫大な予算が必要。富山県は物流が弱い。もう少し配慮願いたい。
- ・立山黒部の関電黒部ルートの観光商品化に向けては安全対策が大前提。国交省からの関電へのアドバイスが重要と考える。
- ・国道8号線の新潟県境付近の4車線化について支援してほしい。
- ・高山観光客450万人。富山へ誘客を期待。富山高山連絡道路、北アルプス縦断道路の整備を。
- ・富山空港の活用策についてどうしたらよいか、外から見た場合、私見で構わないが、教えて欲しい
- ・富山地鉄の路線維持管理に対する助成措置がないか。地方では採算面では厳しく、最低レベルの維持管理しか出来ていない。

○中橋室長より

- ・国会連絡室は国会で法律を通すのが仕事。財特法は29年度で切れるため来年度の予算要求で出てくる。財務省を説得する上で地方からも応援して欲しい。
- ・道路予算の確保については各方面から言われている。国土交通部会からも強く言われている。

・東海北陸は飛騨清見まで4車線済み。付加車線で効果を見ながら4車線化へ。暫定2車線は災害や事故があると弱い。なるべく解消していこうという考え。

・新幹線。昨年のルート決定や敦賀までの前倒しは評価できる成果と思う。JRの第4のルートが効いた。2兆円以上かかる費用が課題。少しでも早くと願う。

・空港は、羽田便は安定してきていると感じる。台北便も通年週4便以上確保。この先は2000m滑走路では長い距離は無理。MRJの活用などが有効か

・FDAはエンブラエル(ブラジル)のRJを使用、これも有効か。近距離アジア上海などへ。

・関西への路線、ANA、JALは伊丹空港は難しい。関空へピーチとかもある。

・神戸空港の枠は空いていると思うが、どれだけ利用が見込めるかが問題。

○佐藤企画官より

・富山空港は街から近く、車で行けて無料駐車場が何と言っても強み。

・生命線は羽田便。グランドハンドリングはANA。新幹線が来ても羽田便を残したところが大きい。国際便もあり、機材は小さいながら小回りが利くところが強み。

・立山黒部、キャパシティの問題もあるのでは。海外へPRすると対応できるか心配

・観光に関しては国交省の中でも、驚くほど予算が付いている。今はフォローの風がある。うまくマッチングさせれば良い。

・社会資本整備総合交付金の活用で、地域交通の整備を少しでも負担が軽くやれるが課題

・港の活性化について、富山に居た頃は物流の検討会を良くやった。中古車の輸出が盛んであった。RORO船、コンテナ船それぞれのメリットがある。

部会員：航空貨物の可能性はないか。

中橋：小松規模までは難しいかも。滑走路の長さの制限もある。ANAやクロネコは最近力を入れている。

佐藤：何を運ぶかにかかってくる。価格単価が問題。五島列島とか奄岐は、生鮮、鮮魚、活魚が高いのでうまくいっている。

中橋：農産品を運ぶには空港にコールドチェーン(保冷施設)の充実が必要。初期投資がかかる。コールドチェーン無い中、台湾から花き輸送をやったことがある。貨物の開拓は大事な視点だと思う。

佐藤：県の組織で港湾物流の担当が一本化されていないことが残念。立地通商、港湾、観光などバラバラの感がある。今後は、地方交通で貨客混載方式、タクシーやバスで荷物運搬することでwinwinの関係を保つ動きが出てくると思う。

1446		04_要請陳情等活動費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月22日 から		要請活動			
平成 年 月 日 まで		新川地域推進協議会の平成30年度予算に関する県要請活動を行う。		自宅一朝日IC-富山IC- 県議会-魚津IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 9 月 29 日
 決裁 平成 29年 9 月 29 日
 処理 平成 29年 9 月 29 日

新川地域推進協議会 県要望日程

1 期 日 平成29年8月22日(火)

2 日 程

要望先	担当課	時間	部屋
集 合		9:00	議事堂2階 210会議室
厚生部 次長 大橋 豊 次長 布野 浩久	・医務課 ・厚生企画課 ・高齢福祉課	9:05～9:15 (10分)	部長室 (本館2階)
観光・交通・地域振興局長 蔵堀 祐一	・観光振興室 ・地域振興課 ・総合交通政策室	9:20～9:30 (10分)	局長室 (本館3階)
総合政策局長 山本 修	・企画調整室 ・防災・危機管理課 ・少子化対策・県民活躍課	9:35～9:50 (15分)	局長室 (本館3階)
富山県知事 石井 隆一	・地域振興課	10:00～10:15 (15分)	知事応接室 (本館3階)
土木部長 加藤 昭悦	・道路課 ・河川課 ・砂防課 ・港湾課	10:20～10:40 (20分)	部長室 (本館4階)
商工労働部長 伍嶋 二美男	・立地通商課	10:45～10:55 (10分)	部長室 (東別館3階)
生活環境文化部長 磯部 賢	・自然保護課	11:00～11:10 (10分)	部長室 (南別館3階)
富山県教育長 渋谷 克人	・生涯学習・文化財室 ・県立学校課 ・教職員課	11:15～11:25 (10分)	教育長室 (南別館4階)
農林水産部長 芝田 聡	・農村整備課 ・農村振興課 ・森林政策課 ・水産漁港課	11:30～11:40 (10分)	部長室 (南別館2階)
富山県議会議長 稗苗 清吉		11:50～12:05 (15分)	議長室 (議事堂3階)



1447		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月24日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		岐阜県庁教育委員会を訪問し、岐阜県における県立高校再編議論の経緯について、調査、意見交換を行う。		自宅一朝日IC-各務原IC -岐阜県庁-各務原IC- 朝日IC-自宅	
岐阜県庁					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 520 km =	19240			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 19240	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

県外・海外政務活動報告書

平成 29 年 9 月 29 日



会派・議員名

整理番号	1447
活動名称	調査、意見交換
目的	岐阜県における県立高校再編議論について、担当者から直接ヒヤリングを行う。
日程	平成 29 年 8 月 24 日 (木) ~ 平成 年 月 日 ()
場所 [国名・都市名、施設名、訪問先等]	岐阜県庁
相手方等 [主催者、対応者、参加者、同行者等]	教育委員会 教育総務課長 布施 明彦氏他
<p>行程・活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行程 自家用車で、岐阜から北陸自動車道、東海北陸自動車道を経由し、各務原にて下車し、岐阜県庁へ。帰りは、途中行程にて帰宅する。 ○ 活動内容 布施課長、秋場課長補佐から、岐阜県の県立高校再編について、経緯と内容について説明を聴く。 続いて、統廃合の経緯、全高校を活性化することにより、残存することと選抜校の経緯について、詳しく聴く。 	

※日帰りの政務活動を含む。

(頂上資料の表紙)

岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会

<審議まとめ>

平成28年3月29日

岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会

(通入資料の表紙)

岐阜県立高等学校の活性化に関する検討まとめ

<平成28年度>

平成29年3月

岐阜県教育委員会

布施 明彦

教育総務課長

岐阜県 <http://www.pref.gifu.lg.jp/>

岐阜県教育委員会事務局 教育総務課

岐阜市葦田南2-1-1 〒500-8570

TEL 058-272-1111 (代) 内線3510

FAX 058-278-2812

E-mail [REDACTED]



GIFU



清流の国ぎふ

秋場 毅

課長補佐兼教育企画係長

岐阜県 <http://www.pref.gifu.lg.jp/>

岐阜県教育委員会 教育総務課

岐阜市葦田南2-1-1 〒500-8570

TEL 058-272-1111 (代) 内線3515

直通 058-272-8738

FAX 058-278-2812

E-mail [REDACTED]



GIFU



清流の国ぎふ

日比 学

教育企画係 管理主事

岐阜県 <http://www.pref.gifu.lg.jp/>

岐阜県教育委員会事務局 教育総務課

岐阜市葦田南2-1-1 〒500-8570

TEL 058-272-1111 (代) 内線3516

直通 058-272-8738

FAX 058-278-2812

E-mail [REDACTED]



GIFU



清流の国ぎふ

1448		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月25日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		①9月補正予算について、自民党折衝対応を協議する。②県総合計画に関する自民党提言について協議する。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年9月29日
 決裁 平成29年9月29日
 処理 平成29年9月29日

1449		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月28日		から	調査活動		
平成 年 月 日		まで	9月補正予算の県単折衝に関する土木、農水、教育、警察の各部門について協議する。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-魚津IC-朝日IC-自宅
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 9月 29日
 決裁 平成 29年 9月 29日
 処理 平成 29年 9月 29日

1450		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月30日	から	調査活動、意見交換	
平成 年 月 日	まで	1. 9月補正予算について、県当局と折衝並びに意見交換を行う。2. 高校再編について、自民党議員間で意見交換を行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1451		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月31日	から	講演、意見交換	
平成 年 月 日	まで	ひきこもり支援講演会を開催し、秋田県藤里長社会福祉協議会長の菊池まゆみさんの講演を聴く。	自宅-朝日IC-富山IC-県民会館-富山IC-朝日IC-自宅
県民会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

各位

平成29年6月吉日
自由民主党富山県議会議員会
会長 鹿熊 正一
政務調査会長 武田 慎一

「ひきこもり支援」講演会開催のご案内

時下、皆様方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、ご理解とご協力をいただき、誠に有難うございます。

さて、「ひきこもり支援」講演会を下記の要領で開催いたしたいと思えます。講師の菊池まゆみさんは秋田県藤里町で7年前よりひきこもり支援に取り組んでこられ、現在はその若者たちと共に「まちづくり」に邁進され全国から注目されています。ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせの上、是非ご出席下さいますよう、ご案内申し上げます。 敬 具

記

- 日時 平成29年8月31日(木) (受付)午後1時
- 1部:講演会 1時半開演
- 2部:テーブルディスカッション 3時より4時半終了予定

- 会場 富山県民会館 304号室
- 定員 200名
- 参加費 (無料)
- 〒980-0006 富山市新総曲輪4-18 Tel.076-482-3111

■テーマ&講師 テーマ「ひきこもり町おこしに発つ」

講師 菊池まゆみさん(秋田県藤里町社会福祉協議会会長)

プロフィール:2015年10月より社会福祉法人藤里町社会福祉協議会会長に就任、現在に至る。社会福祉士、精神保健福祉士、主任介護支援専門員。著書「ひきこもり町おこしに発つ」(秋田魁新報社)、「地域福祉の弱みと強み〜「藤里方式」が強みに変える」(全国社会福祉協議会)、「藤里方式」が止まらない」(萌書房)。2012年度秋田県社協会長表彰、全国社協会長表彰、2013年度日本地域福祉学会地域福祉優秀実践賞、2014年度エイボン女性年度賞を受賞。NHK「おはよう日本」、「クローズアップ現代」、日本テレビ「ニュースゼロ」や各新聞で取り上げられる。



- 主催 自由民主党富山県議会議員会
- 後援 特定非営利活動法人はあとぴあ21

*お問い合わせ先 ○自由民主党富山県議会議員会 政務調査会長 武田慎一 090-3760-0106
ONPO 法人はあとぴあ21 高和洋子 (たかわ) 090-2085-3116

【参加ご希望の方は下記の申込用紙をFAXでお申し込み下さい FAX番号 0766-75-3885】

切取り線

■「ひきこもり支援講演会」(8月31日)参加FAX申込書■

よみ 氏 名 _____

住所 〒 _____ Tel. () _____

○を付けて下さい

第1部	(出席 欠席)
第2部	(出席 欠席)

1452		
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
	05_会議費 10_人件費	
ホームページホスティング料 (8月分) ホームページドメイン更新料		
ホームページホスティング料	8467	80%
ホームページドメイン更新料	8640	80%
	17107	
【領収書貼付枠】 (原則、領収書を併し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)		

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

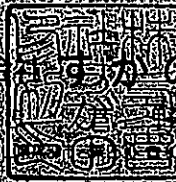
領收証 005343

鹿熊正一様

平成29年9月12日

¥ 10,584-

取入
印紙



領收証 005344

鹿熊正一様

平成29年9月12日

¥ 10,800-

取入
印紙



1453	
07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
新聞代金(8月分)	
富山新聞	3060
北日本新聞、日経新聞	6742 北日本3072、日経3670
読売新聞	3093 /
	12895

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	84,000	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

29年 8月分

84-8305

銘 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 29年 8月 29日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊318



※表裏もあわせて内容をご確認ください

23 29-08-31	新聞代金	*6,742	
24 29-09-04		*3,060	トヤマシンカン

收受 平成 29年 9月 29日
決裁 平成 29年 9月 29日
処理 平成 29年 9月 29日

1454					
08_事務所費	01_調査研究費 02_研修費 03_広報広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費				
電気料金 (8月分) 事務所賃借料 (9月)					
電気料金 (8月分)	1619	/			
事務所賃借料 (9月分)	15000	/			
	16619	/			
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日



ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	取扱金額	店番	通番
29-09-04	1405005-	ナ168	
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額			
003000000000	¥30,000*		
お取扱内容	お取引後の金額		
お振込	¥0		
手数料	¥0	ペーシ	硬貨
時刻	10:17	おつり	
<div style="text-align: right;">9月分</div>			
カクマサカス コウイツカイ様 TEL0765-82-1333			
ご利用ありがとうございました。			

この取扱票は、ネットキャッシュサービス利用時のみ有効です。他のサービス利用時にはご利用できません。

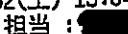
にいかお信用金庫

1455	
09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
コピー用紙代	
	324 50%
	324

《領収書貼付枠》 (原則、領

枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2017/09/02(土) 15:34
担当 : 

■ 令買以又証正 ■

文具 648
2002000004932 (324 X 2)

合計 ¥648
お預り ¥10,000
(消費税等 ¥48)
(お買上げ点数 2)

お釣り ¥9,352

レシートNo. 00156365 店 4213-01



コピー用紙

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1464		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月4日	から	富山県MOA議員連盟 県外視察	
平成29年9月5日	まで	(内容)	(備考)
掛川・熱海		別紙のとおり	
鉄道・バス	54,780	宿泊料	12,100
タクシー		食事代	3,000
航空機			
自家用車	@37 × km = 0		
リース車	@18 × km = 0		
有料道			
駐車場		計	69,880
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

領 収 証

No 19379

富山県議会議員 鹿熊正一 殿

平成 29年 9 月 28日

¥ 73,140- (税込)

但しMOA議員視察として

上記の金額正に領収致しました

収入印紙



ニッセイファイナンシャル

〒920-0001 富山県富山市本丸1-1-1 (本丸ファートとやま)
TEL 076-431-2735 FAX (076) 431-2735
 ファホーレ店 富岡大和店 金沢営業所
 名古屋支店 東京支店



H27.8. 2×50×100 ㊞

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 年 月 日
 決裁 平成 年 月 日
 処理 平成 29年 9月 28日

平成29年9月12日

請 求 書

自民党富山県議会議員会政調会
富山県MOA議員連盟 様

観光庁長官登録旅行業第814号 JATA正会員
株式会社ニュージャパントラベル
富山市奥田新町8番1号 奥田ビル7F
Tel.076-441-2000 Fax076-431-2735

記

*日時 平成29年9月4日(月)～5日(火)
*人数 9名様
*方面 掛川・熱海

*費用項目

1	宿泊代(2名一室利用)	@18,360	×6名	110,160 円
	宿泊代(3名一室利用)	@16,200	×3名	48,600 円
2	JR代(新高岡駅発着)	@59,640	×3名	178,920 円
	JR代(富山駅発着)	@58,140	×5名	290,700 円
	JR代(黒部宇奈月温泉駅発着)	@54,780	×1名	54,780 円
合計				683,160 円

御請求金額 683,160 円

*誠に勝手ながらお支払いは平成29年9月22日迄にお願い申し上げます。
*お振込みの場合は下記の金融機関口座にお願い致します。
北陸銀行 奥田支店 (当)4038850
口座 (株)ニュージャパントラベル

全体集計

富山県議会 MOA議員連盟

月 日 平成29年9月4日(月)~5日(火)

参加者 中川 宮本 山崎 井上 藤井 藪田 筱岡 山本 鹿熊 (9名)

項目	内 訳	単価	数	名 前	金 額
宿泊代	2名1室利用	18,360	6	中川 宮本 藤井	110,160
				筱岡 山本 鹿熊	
	3名1室利用	16,200	3	山崎 井上 藪田	48,600
JR代	新高岡駅発着	59,640	3	藪田 筱岡 山本	178,920
	富山駅発着	58,140	5	中川 宮本 山崎	290,700
				井上 藤井	
黒部宇奈月駅発着	54,780	1	鹿熊	54,780	
					683,160

富山県議会 MOA議員連盟

月 日 平成29年9月4日(月)~5日(火)

参加者 中川 宮本 山崎 井上 藤井 藪田

篠岡 山本 鹿熊 (9名)

項目	内 訳	単価	総額	個人負担
宿泊代	2名1室利用 1泊2食付	18,360	15,100	3,260
JR代	黒部宇奈月温泉駅発着	54,780	54,780	
		73,140	69,880	3,260

7/4-7/5

平成29年6月19日

MOA 議員 連盟
会 員 各 位

M O A 議 員 連 盟
代 表 幹 事 中 川 忠 昭

MOA議員連盟県外視察について

先般よりお知らせしておりました県外視察について、下記の通り開催いたしますのでご参加願います。なお、視察参加希望の有無を、別紙により、6月27日(火)までに自民党控室へご連絡くださいますようお願いいたします。

記

1. 実施日 平成29年9月4日(月)～ 5日(火)
2. 行先 静岡県掛川市・熱海市
3. 日程

月日	時間	行程	月日	時間	行程
9/4 (月)	7:37	高岡駅 発 はくたか554号	9/5 (火)	A M	MOA美術館視察 他
	7:47	富山駅 発		12:59	熱海駅 発 こだま646号
	7:59	黒部宇奈月温泉駅		14:24	東京駅 発 はくたか567号
	10:56	東京駅 発 こだま649号		16:44	黒部宇奈月温泉駅 着
	12:38	掛川駅 着		16:57	富山駅 着
		昼食後 掛川市役所訪問 他		17:06	高岡駅 着
		熱海温泉 泊			

平成29年8月7日

観光庁登録旅行業第818号 JATA正会員
 (株) ニュージャパントラベル
 富山市奥田新町8番1号 ボルファートとやま1階
 TEL076-441-2000 FAX076-431-2735

富山県議会MOA議員連盟 掛川視察 様

期日：平成29年9月4日(月)～5日(火)
 人数：11名様

月 日	行 程	
9/4(月)	7:37発 新高岡駅 <small>はくたか564</small> 7:47発 富山駅 7:59発 黒部宇奈月温泉駅 10:40着 東京駅 <small>こだま649</small> 12:58着 掛川駅 13:30～15:00 掛川市中部地域健康医療支援センター訪問 住所：掛川市杉谷南1-1-30 電話：(0537)28-9713	16:05発 掛川駅 16:58着 熱海駅 到着後、宿泊ホテルへ ※徒歩3分 《宿泊ホテル》 名称：湯宿一番地 住所：静岡県熱海市春日町1-2 電話：(0557)81-3651
9/5(火)	MOA視察及び昼食後、駅へ 12:59発 熱海駅 <small>こだま646</small> 13:47着 東京駅 14:24発 黒部宇奈月温泉駅 <small>はくたか567</small> 16:57着 富山駅 17:06着 新高岡駅	
	《概算費用》 ◆JR新幹線(グリーン席) ◆宿泊ホテル(1泊2食)	【新高岡発着】 59,640円 16,350円 【富山発着】 58,140円 16,350円 【黒部宇奈月温泉発着】 54,780円 16,350円 75,990円 74,490円 71,130円 お一人様合計

県外・海外政務活動報告書

平成29年9月11日

整理番号		会派・議員名	富山県MOA議員連盟
活動名称	MOA議員連盟県外視察		
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の連携体制を調査 ・美による情操教育に貢献している美術館の活動と役割りを調査 		
日程	平成29年9月4日（月）～ 平成29年9月5日（火）		
場所 〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕	静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター MOA美術館		
相手方等 〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕	対応者 <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター 地域医療推進課 大竹課長 野崎さん ほか2名 ・MOA美術館 総務部管理課 [REDACTED] 課長 	参加者	中川忠昭 宮本光明 山崎宗良 井上学 藤井裕久 藪田栄治 伎岡貞郎 山本徹 鹿熊正一
行程・活動内容 別紙添付 参照			

※日帰りの政務活動を含む。

自由民主党富山県議会議員会
MOA議員連盟県外視察報告書



<視察日程>

平成29年9月4日(月)～9月5日(火)

<視察場所>

静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター及びMOA美術館

<メンバー>

鹿熊正一、中川忠昭、宮本光明、山本徹、筱岡貞郎、藤井裕久、

井上学、藪田栄治、山崎宗良

9月4日(月)静岡県掛川市中部地域健康医療支援センター

対応者: 地域医療推進課長大竹さん、地域医療推進課 野崎さん、ほか2名

●中川会長あいさつ

厚労大臣賞を受賞されている新しい拠点医療の取組を勉強させていただきたい。

●地域医療推進課長大竹さんあいさつ

掛川市では、医療資源不足の不安と超高齢化社会、家族構成変化への対応、垣根のない支援の必要性から、地域と共に成長していける地域包括システムとして、生き福祉医療支援センター「ふくしあ」を開設した。

「ふくしあ」という愛称は、福祉と幸せを表している。

●地域医療推進課 野崎さんプレゼン

掛川市では希望が見える街、誰もが住みたくなる街を目指して、教育文化・環境・健康子育て日本一の街づくりを目指している。

人口は4月で117,885人高齢化率が25.8%です。県は28.2%で、比較的若い地域。超高齢化社会と少子化を抱える日本の現在、人の生き方を考えることは重要。市の特徴は全国初の木造復元された掛川城天守閣、深蒸し茶の生産が盛ん。掛川市を中心とした4市1町にまたがる伝統ある茶草場農法が世界農業遺産に認定され、平成30年には26年ぶりとなる皇室への献上が決定した。

昨年3月には市議発議で掛川健康医療基本条例を制定。健康長寿を目指す中で生涯お達者市民推進プロジェクトを進めており、これからの生き方をみんなで考えていく環境づくりに取り組んでいる。今年の5月に市民総ぐるみで掛川お達者市民を目指すことを決定しました。市民主体で地域づくりを進める街づくり協議会の活動も市内全域で始まっている。超高齢者社会の中で社会保障制度を支えるために、国では病院から在宅へ、医療から介護へシフトさせようとしている。

当市では高齢者政策の延長線上での地域包括ケアシステムではなく、本来の垣根のない支援を目指して総合支援体制の構築と合わせてシステムを市民も支え、上手に利用できるように育成する点を重視。

地域包括ケアシステムの構築は、人と人をつなぐネットワークであると同時に街づくりでもある。

私たちの地域でも以前から医療や介護の連携を進めてきたが、次の4つがきっかけとなって動きが加速した。

- ① 医師や看護師の不足を発端とした地域医療の危機を乗り越えるために、袋井市と共に中東遠総合医療センターの開院に合わせて、新たな医療連携体制を構築
- ② 家族構成の変化により家族のサポート力が低下したことで、包括のケースも非常に対処困難なものが多くなってきた。
- ③ 今後の超高齢化の進展・社会変化に目を向けると、変化に応じて対応可能な支援体制を取らなければならぬ。これには地域を見て活かすことが重要。
- ④ 何らかの支援が必要だが法律や制度の隙間に落ちてしまい、支援に結びつかないものや、問題が複雑化し問題の中心が若い世代にあってその対応が必要など、垣根のない支援体制が必要だった。そこで地域と共に成長していける地域包括ケアシステムの構築が必要で2025年に対応できるように

にするために、地域性を重視し支援力を高めるために総合支援体制の構築、専門職の支援の力だけではなくインフォーマルなサービスで支えるために地域力の向上に取り組んでいる。

主役である住民がサービスを上手に利用できると共に生きることの選択ができるよう住民性の育成といった部分を視野に入れて地域健康医療支援センター「ふくしあ」の整備に着手した。

次に病院希望の丘ふくしあについて説明します。

体調が悪くなると掛り付けの開業医に掛ることが基本となるが、このような在宅を中心とした外来や往診が一次医療。

掛り付け医から紹介してもらい入院治療や専門的な検査を行うのが二次医療。当市の場合、主に地域包括ケアシステム総合医療センターが二次医療の機能を担っている。救急車で搬送されるような症状も含まれる。

さらに高度な専門性が必要なケースや難病の治療を行う三次医療がある。西部にある浜松医科大学付属病院や県立がんセンター、政令病院などが該当。

入院治療で改善すると多くは掛り付け医に逆紹介してもらい在宅に戻る。低下した機能回復のリハビリテーションや長期にわたる慢性の治療が必要な場合には、回復リハビリテーションのある病院や療養型の病院へ入院して治療継続するケースもある。症状が思うように改善されない場合には介護施設などを活用することもある。市民からすると体調が悪くなれば医療機関を利用するが、治療後生活支援としっかり繋がなければならない。地域医療では上手な病院の利用の仕方と共に、退院支援が重要。

行政が関わることで施設単体の整備で終わるのでなくそれが活かされる基盤整備に取り組むことが可能となった。

掛川市では地域完結型の医療体制整備と地域包括ケアシステムの構築を進めていて、①市民の健康を守る財政政治として全国初の自治体同士の統合となる中東遠総合医療センターを開院。②急性期病院の後方支援機能を高めることを主軸に医療・保健・福祉・介護・教育の中核ゾーンとして旧市立病院の跡地を希望の丘として整備した。③在宅生活を総合的に支援する地域拠点として市内の5カ所にふくしあを設置を行い、これらが連携して連続性のある支援体制を目指す面的な整備を行います。

これにより地域包括ケアの視点を取り入れた、他市にはないハードとソフト両面における独自の支援体制が確立された。

希望の丘について

希望の丘は新幹線掛川駅から車で約5分程度で東名掛川インターチェンジに隣接していて市街地循環バスが運行する交通至便の市街地にある。広さ約8haの土地を様々な施設の集積地とするエリアとして整備。健康子育て日本一を目指す強いメッセージとなっている。市民に開かれ大学のキャンパスのように美しくをテーマとして幼児・高齢者の世代間交流や多様な利用者間相互のふれあい理解の提供、さらには市民の健康意識の高揚を図る場へとつなげることを目標としている。

希望の丘の施設 16分2秒

静岡県立掛川特別支援学校・掛川東病院(リハビリ機能)・桔梗の丘(介護福祉施設)・びのほ一ぶ生活介護事業所・特別養護老人ホームラスール掛川・掛川のぞみ保育園・障害児学童保育所はるかぜ・掛川市中部地域健康医療支援センター中部ふくしあが同じ場所に隣接している。

中部ふくしあ棟には、掛川中間診療所・静岡県看護協会で中東遠支部・掛川市介護支援専門員連絡協議会・若者サポートステーション掛川など協力団体が入所している。

各施設の代表者で構成される希望の丘事業者連絡協議会では、地元区長をはじめ医師会・歯科医師会・薬剤師会を含めた希望の丘運営委員会を定期的で開催し情報共有・連携が行われる。

希望の丘は、幼児から高齢者まで世代間交流や医療機関相互のふれあい機会提供、市民の健康意識の高揚を図るなど様々な交流が行われる。

百本桜事業で様々な願いが込められた桜が植樹され、地元高校生による桜コンサートも行われる。

障害者・子供・高齢者がスポーツでふれあい、様々な活動や個性を差別なく認め合えるイベントとして、リオパラリンピックで活躍した掛川市出身の山本篤選手(陸上)をはじめとする講師により、陸上競技やショートテニスなど楽しい時間を過ごした。

のぞみ保育園では現役力士を招いて餅つき。隣の老人ホームの利用者も一緒に暖かな交流を楽しんだ。

ふくしあは正式名称は、掛川市地域健康医療支援センターで、愛称のふくしあに込めたのは医療保険福祉介護の4要素を大枠で福祉ととらえ、全てという意味でa→あでつなげている。ふくしあは花の名前にもあり、花言葉は温かい心です。介護を必要とする方への家族の暖かい思いやる気持ちや、各家庭の福祉全般を気遣うことができる市を表す。

中東遠圏域の人口10万人当たりの医師数は184人。全国平均の232人や静岡県の193人に対して大変少ない。この状況を考えてふくしあを設置した。多くの住民の願いである住み慣れた地域で安心して最期まで暮らせるよう医療保険福祉介護の職種連携によって総合的に支援を行う地域拠点となっている。

基本的構成団体は、①総合相談や全体のコーディネートの役割を持つ行政、②高齢者の総合支援を行う地域包括支援センター、③地域の育成や見守りネットワークの構築などを行っている社会福祉協議会、④在宅医療を支える訪問看護ステーションの4団体です。

ふくしあは民間のノウハウと行政の力を合わせて活動する半官半民の総合力と言える。

昨年度5つのふくしあが対応した相談件数は、のべ32,194件、ケース会議が2,298回、地域育成を図る地域活動の支援はのべ2,842回、健康教育・相談などの健康支援活動がのべ416回。

ふくしあは支援の柱は、①在宅医療支援、②在宅介護支援、③生活支援、④予防支援の4つ。在宅生活は4つが上手に調整されていないと良い支援とならず在宅生活を維持できない。

30分で駆け付けられるように、東部ふくしあ、南部大塚ふくしあ、南部大東ふくしあ、西部ふくしあ、中部ふくしあは5カ所で支援している。同じ市の中でも北部(山間部)と南部(海側)では、住み方や考え方に特性があり地域資源にも差がある。地域と共に歩み対象エリアの特徴をとらえながら、各ふくしあがそれぞれできる形を展開している。市の政策で主に集約化・効率化が進められてきたが、ふくしあ機能については地域で活動する必要があると考えて、あえて5カ所に設置している。

ふくしあは5つの特徴

① 専門職による多職種連携

入所4団体は多くの専門職が携わる。通常はそれぞれの団体が個別に業務を行い、必要に応じて連携を図っているが、多職種が連携することにより支援の幅が広がり的確な支援につながっている。

それぞれのふくしあで構成人数が違っている。最小人数の大塚ふくしあは、訪問看護ステーションが大東ふくしあと連携しているため9名。一番多数の中部ふくしあは大東ふくしあは24名。ふくしあ内、ふくしあ間の連携を図ることで、市民生活を支援する最前線として約100名がチームとして

活動している。

社会変化の中で支援の在り方が変わっていくことが考えられ、専門職間で支援の在り方を模索し、必要な支援を生み出していけるように、医療保険福祉介護のそれぞれの分野を背負った専門職が意見を交わすことが必要。そのためにある程度の大きさを持った地域区分(5 地域)になった。

② 執務室のワンフロアー化

ワンフロアー化によって多職種連携を促進している。迅速な総合支援のために入所 4 団体の執務スペースが1つの部屋となっており、訪問から帰ってくるとすぐに執務室で多職種で情報共有でき、支援についての話し合いができるようになっている。

③ アウトリーチの重視

本当に必要な人に支援を届かせるため、地域からの情報を得るために重要な位置づけとなっている。相談に来ることができなかつたり、どこに相談していいかわからないまま、状態が悪化していく方もいる。地域から情報をもらったときはできるだけ早めに外へ出向いて相談に対応するよう心掛けている。

④ 垣根のない支援

支援対象は高齢者だけでなく子供や障害のある人、医療や介護が必要な人など、年齢や状態で垣根ができないよう支援をしている。住民の生活を守るために各課が法律や制度を活用して支援している。実際には各制度に複合的に関わったり、制度の狭間に落ち込んで支援が受けにくいケースがある。ふくしあでは行政や各団体を含めて縦割り意識を解消して、総合的な対応に結びつけ、また地域も重要な力だと考えた職種連携と合わせて、地域にある見守りネットワークなどインフォーマルなサービスを利用した緩やかなサービスも組み合わせ利用している。

健康寿命の延伸、住民生活の質向上には若年層からの支援が重要。各ふくしあでは、ふくしあ健康相談・健康講座・さらにはアウトリーチを生かした活動を行っている。福祉や高齢者子育ての関係者ともリンクした連続性のある取り組みになりつつある。

このような健康づくりを基盤に地域の包括ケアシステムを活かすことのできる環境も同時に作っていかねばならない。問題の解決を公助だけに頼るのではなく自助や共助で対応できるようにするために、住民自らが問題解決できるよう地域力を育てることが重要。

⑤ 予防的視点を重視した活動

ふくしあで対応する相談は、経済面・医療支援・障害の問題・介護の方法など多岐にわたる。生活を取り巻く問題は多種多様で、それらは時間の経過と共に複雑に絡み合っただけで難しい問題になっていく。あくしあは支援は複雑に絡み合ったケースに対して、異業種、異業種間、多職種連携によって総合的な支援を行うことが一つのポイント。しかし実際には支援にあたって問題が表面化してきた時には長期入院や施設入所、経済面では生活保護以外に手の出しようがなく、悔しい思いをすることも時々ある。ふくしあの支援ポイントとして大切にしているものは、生活の質を高めるために地域からの情報発信を受け止め、問題が重症化する前に早期に総合支援体制につなげることである。健康だけでなく生活に関しても予防的観点から取り組むことが大切だと感じている。

ふくしあ活動事例

① 在宅療養の 30 歳代の末期がんの女性の家庭を支援

末期がんの女性を開業医と訪問看護で支え、さらに安心して療養できるように包括ケアマネージャーと連携し、両親の介護支援を行った。そして社会福祉協議会が民生児童委員や地域と連携し見守りネットワークの構築、行政が学校との連携や各種制度を活用しチームで役割分担しながら支援。末期がんの女性が亡くなられた後も女性の保健師が折を見て訪問し継続的に支援している。

② 精神障害がある方とその両親を支えた例

きっかけは精神疾患や糖尿病の疑いのある長男について心配した母親と叔母がふくしあに相談。長男の症状改善のために急性期病院と精神科病院と連携を図り治療につなげた。その後医療機関から訪問看護へつながって内服管理や体調管理を行った。高齢で足が不自由な父について介護保険の申請を行いデイサービスの利用が開始された。父と母の支援、そして世帯全体の生活の問題についてそれぞれの支援者、地域の民生委員参加のもと多職種連携による地域ケア会議を開き、この世代の課題や支援の方向性について話し合う。行政は全体のコーディネートを行ってこの世帯に関わる支援者がチームとなって対応。その結果世帯全体の課題として医療費・生活費など金銭面の問題が心配され、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業へとつながった。そしてなにより地域見守りネットワークにも結びつき地域力の素晴らしさと温かさを感じた事例。

このように多職種連携により、最初の個人だけでなく様々な問題を抱えた家族を含む支援が可能になった。ふくしあは地域拠点なので、地域の方から情報をいただいて支援がスタートするケースも多く見受けられる。

このように地域と連携することで見えてきたことがある。

一つ目は、ふくしあには地域から色々な情報が入ってくる。ケアマネージャーはもちろん民生委員、地区福祉協議会、見守り支援員、地区サロン、医療機関や行政健康相談など、実態把握の活動の成果が表れてきている。ふくしあのコミュニティーソーシャルワーカーの支援によって地区福祉活動の活発化から、地域からも情報が入りやすくなるなど良いサイクルになって来ている。

二つ目に、多職種の関わりが単なる情報伝達でなく、双方向で協議できるような連携体制に進化できたことである。支援における様々な課題に対して話し合う環境が整った。地域の力を信頼しながら地域包括ケアシステムの構築ができているという点です。昨年市民によるまちづくり協議会が市内全域に整ったこともあり、生きることの主役である地域の皆さんと共に考え歩む場面が徐々に増えてきていると感じる。このような地域との活動の中で得た情報や専門職からの情報を活かして政策へとつなげることが重要。関係団体から双方向の政策提言力もふくしあの持つ大きな意味であり、この部分が地域性を考慮した支援につなげていけるものだと考える。

【住民からの感想】

- どこに相談すればいいかわからなかったが、適切な部署や制度につなげてもらった。
- 日中独居の母親のことを相談したら見守りネットワークを築いてもらい安心して仕事に行けるようになった。

【ふくしあの専門職からの感想】

- 地域の中で潜在化硬直化していた問題を関係者が連携し支援する中で見守り推進員など地域住民の協力者も増えネットワークが広がった。

【大学実習生の感想】

- 保健師さんがとても迅速に対応するのを目の当たりにでき、とても刺激的で貴重な体験ができた。

ふくしあの開設によって4団体が抱えていた課題を外部の関係機関と連携することで根本的な機能向上が図られた。支援においては専門職がチームで対応することで、対象者個人のみならず家族全体の課題として対応できるようになったため、健康・障害・経済など根本的問題への対応力が向上した。

最近の相談は生活習慣病はじめ介護・貧困・虐待・うつ・孤独死・自殺など多岐にわたる。昨年度ふくしあの行政が関わった約3,700件のうち4割は問題が複合化しているケースです。ふくしあは在

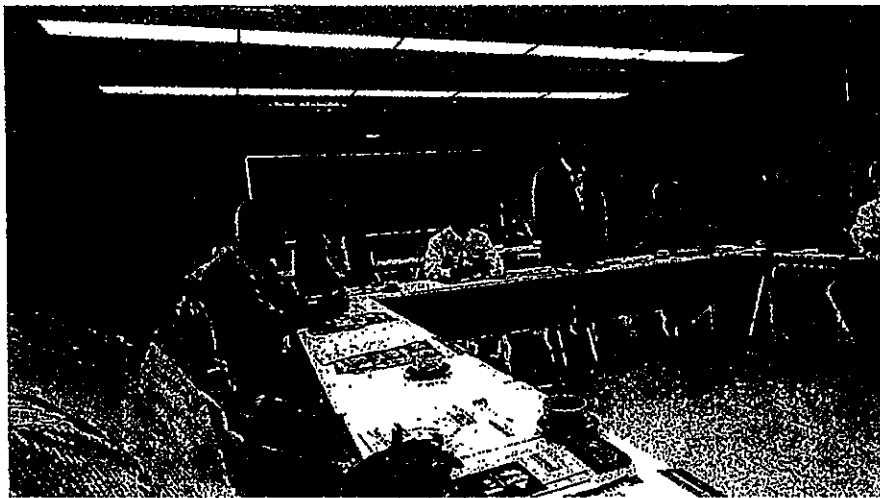
宅生活における総合支援の地域拠点であるということでケアマネはもちろん民生委員や見守り支援員などから情報が集まる。そのことで潜在化していた問題が早期対応可能になった。職種で対応しているため問題へのアプローチの多様化や、医療と介護の連携強化など、地域ケア会議の開催や地域への意識啓発など対応幅が大きく広がった。

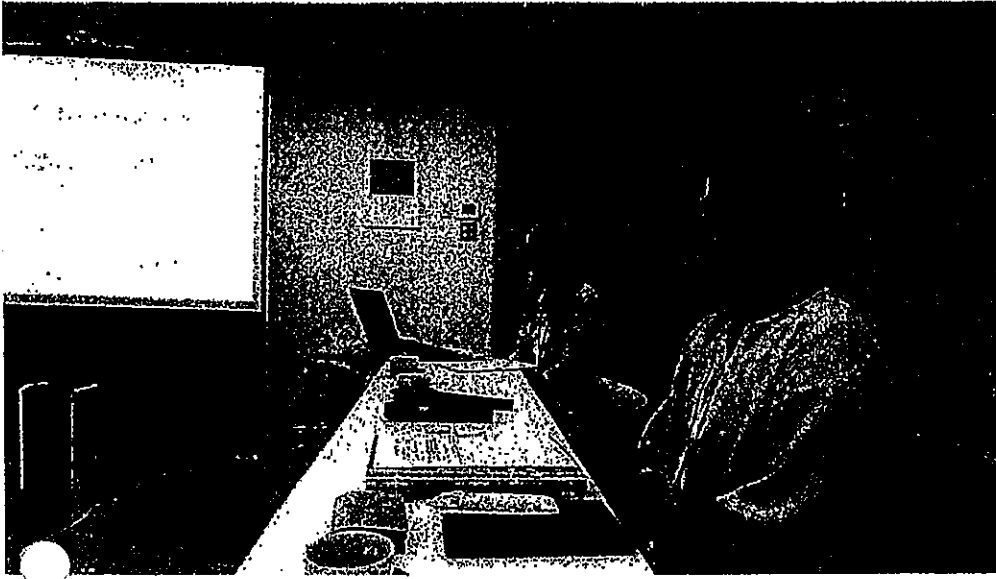
・掛川市の社会福祉協議会が構築してきた地域福祉活動がふくしあ活動に呼応して市内の32地区で活発に行われるようになり見守りネットワークの構築も現在109カ所で活動し力を発揮し始めている。

在宅福祉の訪問看護は市内の訪問看護ステーションの利用実績は、平成20年には約16,000件だったが昨年度(平成28年度)は年間26,000件となり着実に増えている。更なる活動の強化に向けて現在の重要な課題として事態の把握時には問題が複雑に絡み合っている支援の選択肢が狭まることが多いため健康面生活面に加えて予防的な活動の重要性を強く感じている。

実際に生活上のすべての支援をふくしあだけで解決することはできません。45'55"地域にある多くの力と協力し合って住民から見るとワンストップ的な対応に近づくことができるようにした。

最後になりますが、ふくしあは花の名前と説明しましたが、なかなか難しい花で水をあげないとすぐに枯れてしまっていて、あげすぎても腐って枯れてしまいます。ここから私たちが学んだことは、私たちの支援の在り方についても必要な支援をしなければ住民の生活が悪くなってしまいますが、支援をしすぎてしまっても本来人が持っている生きる力を失わせるということでした。これはふくしあという花から教えてもらったとても良い教訓となっています。以上です。





【意見交換概要】

Q: 行政の縦割りの隙間を埋める活動を沢山されているが、地域住民参加についての工夫されている点はあるか。

A: 住民参加は、社会福祉協議会が得意とするところだが、その地域に必要としている活動を把握し、地域に見合った活動を積極的に実施することになっている。うまくくと次の力になる。

Q: 具体的な事例があれば紹介して欲しい。

A: 共助だけで成功した事例だが、母親の日中独居が心配の息子さんからの相談があった。、地域の中でケア会議を開催し、対策を検討した。そして近所の皆さんが普段の近所づきあいの中で少しずつ負担にならない程度で支援活動をした例がある。

Q: 1次医療、2次医療、地域完結型医療を「ふくしあ」が横ぐしで包括しているのが大きな特徴だと理解した。H22年に最初の「ふくしあ」が設置されているが、この構想はいつ頃できたものか。

A: もともとこの地域は、医療資源が少ない地域であり、そこに不安を感じていた。H21年度にこれをどうやって補うかからスタートした。一般社会では病院から在宅へ流れが変わってきた。今では中東遠医療圏(掛川市、磐田市、菊川市、御前崎市、袋井市、森町)の総合医療センターの後方支援の役割も果たしている。

中東遠として統合したことにより、市立病院から企業団へと独立した団体となった。全国初との事。

Q: ふくしあの職員は多職種いるが公務員なのか。

A: 公務員は行政部門のみ。包括支援センター、社会福祉協議会、訪問看護ステーションは市役所から補助金を受けているものもあるが、それぞれの団体の職員。電気代程度を負担してもらっている。

Q: 学校との連携はどうしているのか。

A: 学校から情報を貰う事が多くなっている。子供のみならず祖父母の状況なども教えて頂いている。生活に心配のある養護学校の卒業生への支援にも携わってきている。

Q: ふくしあは、平成22年度から1年1カ所の整備となっているが、何故か。

A: 多分に財政的な問題が大きい。新設したものはなく、いずれも既存施設の改修で対応している。一部



のふくしあは行政の支所機能を持っている。児童手当や身体障害者手帳の申請等の業務も実施している。

Q: 予防的活動とはどんなもの。

A: 各ふくしあで毎月定期的に健康相談の実施や、シニア倶楽部等からの要望に応じて出張相談にも出かけている。

Q: 福祉人材は十分の確保されているのか。

A: 5カ所のふくしあで相談件数の違い等もあり、保健士の増員が望ましい所もあるが、4つの団体で補完し合いながら活動している。

Q: 地域若者サポートステーションとの関係は。

A: 若者サポステは、基本的には独立して活動しているが、障害者の就労支援については、ふくしあと連携して訪問するなど支援している。

Q: 支援学校やグループホームなどとの連携は。

A: 卒業時に心配で相談に応じる事はある。グループホームとは包括支援センターが主体となるが、連携して相談には応じている。

Q: 福祉活動をするには資格が必要であるが、掛川市で資格取得はできるのか。

A: 掛川市内には短大や専門学校等の学校がなく他市で取得している。保健師、社福士、主任ケアマネ、リハビリなどは近隣の浜松市などで取得できる。東京女子医大の1年生のキャンパスが近くにある。実習地としてふくしあが活用されたりしている。

Q: 行政の所管と地域における福祉活動に対する支援は。

A: ふくしあは、地域医療推進課が所管だが、仕事の中身は福祉課や健康長寿課とのやりとりが多い。行政からの地域活動への支援は、掛川市内には202の自治会があり、それが32地区で31のまちづくり協議会を構成している。各地区は必要な活動を各協議会の中で計画を立てている。活動には市から補助金が200～500万円規模で交付されている。

Q: ふくしあの今後の課題は。

A: まだ完成形ではないと思っている。各団体と連携を取るのに時間がかかるのと、役所の人事異動で連携が途切れたり理解度がリセットされる事が課題。これまでやってきたことを振り返り、今後に生かしていく事が大事と感じる。アセスメントシートなども各団体で統一できればさらに良いと考える。



9月5日(火)MOA美術館

対応者:MOA美術館総務部管理課長 [REDACTED]

長いエスカレーターを上り、エントランス付近の万華鏡ドームにて [REDACTED] 課長から美術館のコンセプト等について解説を聞いた。

MOA美術館は現在、国宝3点、重要文化財66点、重要美術品46点を含む3500点余りの美術品を所蔵、コレクションは絵画、書籍、工芸、彫刻など多岐にわたる。また、本年、リニューアル工事が完成し、伝統的素材と現代的デザインが融合した新しい空間を演出している。特に、展示室のガラスが反射しにくい工夫がなされ、以前にも増して迫力ある展示を可能にしている。



MOA美術館の基本構想

1.日本文化の情報発信をする美術館。

2.観光事業と美術・工芸の発展を推進。

3.行政とのパートナーシップによる「新しい公共性」をもった美術館。

4.「国際観光文化都市」に向かって、地域交流型の人々に愛される美術館。

5.学校と連携して、美による情操教育を積極的に推進。

6.観覧者に幸福感を感じていただける顧客満足度の高い美術館。

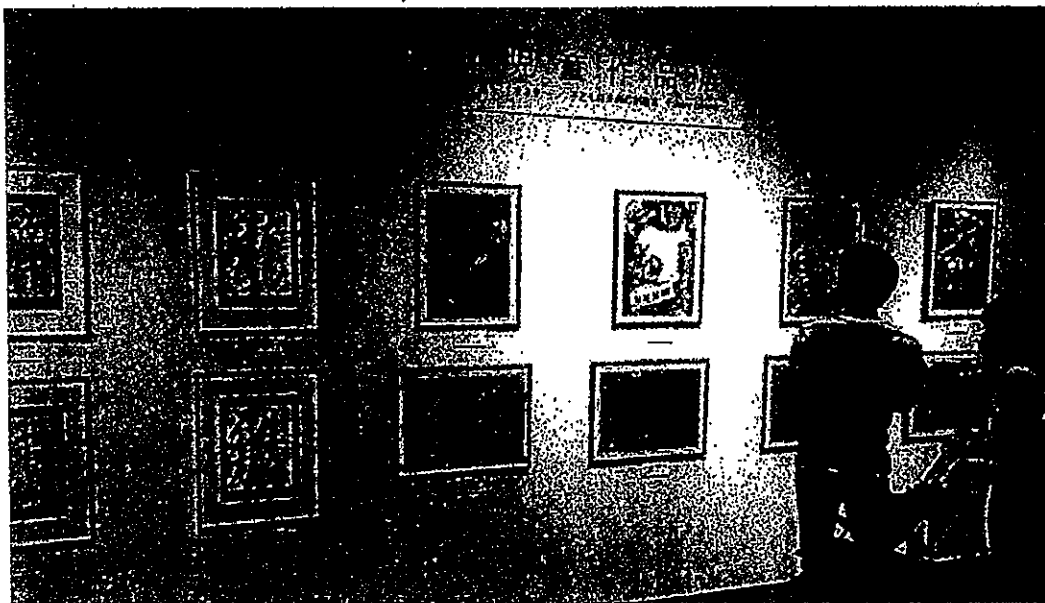
この基本構想のもと、「美」を楽しむことを通じて豊かな心を育み、世界の人々が美術への理解を深めるよう、さまざまな活動を行っている。そのうちの二つの活動について以下のとおり視察した。

1. 児童作品展

全国の児童を対象とした「児童作品展」。長い歴史を持つこの作品展は広く国民に親しまれ、児童の情操教育に大きく貢献してきた。

MOA美術館児童作品展は「学習指導要領」にもとづき、子どもたちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら絵画や書写によって表現することで情操を養い、豊かな心を育てることを目的に開催。主催者であるMOA美術館は、子どもたちの創作活動を奨励することは、夢や目標に向かって自ら考え、行動する力を高めると同時にそれぞれの国の伝統と文化への関心を高め国際文化交流に資するものと考えている。この児童作品展は、2万人を超える全国の美育ボランティアによって支えられ、さまざまな個人、団体と協力しながら、医療福祉機関での巡回展示や、年間を通じた美育活動など、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で子どもを育ていくことを重視するもので、このことによって、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力のあるコミュニティづくりを目指している。

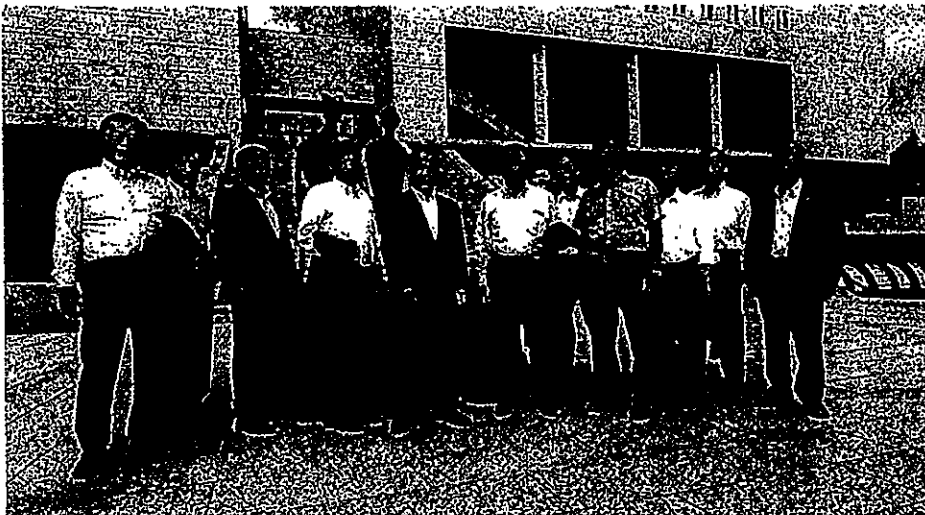
児童作品展は美術館活動の中で、特に日頃子どもたちが取り組んでいる創作活動を奨励することで、「生命を尊ぶ心」「心ゆたかな人間」形成を目的として、地域で実行委員会を組織し、家庭、地域、学校と連携して取り組んでいる。本年度の児童作品展は、海外 12 カ国 30 会場を含む 414 会場にて開催し、応募総数 452,759 点、参加校数 8,953 校(国内 8,344 校、海外 609 校)となりました。この度、各会場の代表作品(MOA美術館奨励賞)を審査し、個人賞・団体賞を選出し全国展開催している。



2. 岡田茂吉賞

MOA美術館ではちょうどこの時、岡田茂吉賞は、創立者の遺志を継承し、日本工芸の優れた作家に賞を贈り、日本美術の発展に寄与することを目的としている。第20回を迎える本賞は、工芸を選考対象として、美術界の第一線で活躍する研究者や工芸家に、現在最も活躍されている作家17名を推薦し、厳正な審査の結果、大賞には林曉氏が選出された。本展覧会は、現代のトップクラスの作家17名による代表作54点を展覧し、現代工芸の最前線を展望。この賞に選出された作家の多くは後に人間国宝になっているという大変権威のある賞である。

大賞に選ばれた林曉先生は何と、富山大学の教授。1954年東京に生まれ、東京藝術大学大学院修了、2010年に紫綬褒章受賞された漆芸家。伝統的な黒漆や朱漆によって独創的な造形でシンプルな作品を制作している。デザインや造形手法にコンピュータを用いて伝統工芸に先端技術を取り入れる点が特徴とされる。





1676		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年 8 月 1 日	から		
平成 29 年 8 月 31 日	まで	高速代	(備考)
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × km =	0	
リース車	@18 × km =	0	
有料道		20850	
駐車場		計	20850
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 10 月 20 日

決裁 平成 29 年 10 月 25 日

処理 平成 29 年 10 月 25 日

1441		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月7日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 広島県、島根県の中山間地域振興対策について調査する。2. 地方公務員の地域手当制度について全国の状況を調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

報告者* 

1442		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月9日	から	調査、要請活動	
平成 年 月 日	まで	1. 県立高校再編について全国の状況を調査する。2. 県総合計画について提言案を検討する。3. 入善土木管内の事業について要請と意見交換。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-入善IC -入善土木事務所-自宅
県議会、入善土木事務所			
		宿泊料	
		タクシー	食事代
		航空機	会費
自家用車	@37 × 125 km =	4625	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1443		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月10日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	第1回中山間地域振興対策推進本部会議を開催し、課題について意見交換を行う。	自宅-入善IC-滑川IC-県議会-富山IC-入善IC-自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日



1444		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月17日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	議会基本条例の論点について、調査する。	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー入善IC ー自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120.km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
 主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日



1447		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年8月24日	から	調査活動		
平成 年 月 日	まで	岐阜県庁教育委員会を訪問し、岐阜県における県立高校再編議論の経緯について、調査、意見交換を行う。		自宅-朝日IC-各務原IC -岐阜県庁-各務原IC-朝日IC-自宅 通称
岐阜県庁				
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車	@37 × 520 km =	19240		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場		計		19240
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1448				01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月25日	から			調査活動	
平成 年 月 日	まで	①9月補正予算について、自民党折衝対応を協議する。②県総合計画に関する自民党提言について協議する。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-魚津IC-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1449		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月28日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	9月補正予算の県単折衝に関する土木、農水、教育、警察の各部門について協議する。	自宅一朝日IC—富山IC— 県議会—魚津IC—朝日IC —自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 9月 29日
 決裁 平成 29年 9月 29日
 処理 平成 29年 9月 29日

報告者* 

1450		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月30日	から	調査活動、意見交換	
平成 年 月 日	まで	1. 9月補正予算について、県当局と折衝並びに意見交換を行う。2. 高校再編について、自民党議員間で意見交換を行う。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1451		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年8月31日	から	講演、意見交換	
平成 年 月 日	まで	ひきこもり支援講演会を開催し、秋田県藤里長社会福祉協議会長の菊池まゆみさんの講演を聴く。	自宅-朝日IC-富山IC-県民会館-富山IC-黒部IC-自宅
県民会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 9 月 29 日
 決裁 平成 29 年 9 月 29 日
 処理 平成 29 年 9 月 29 日

1677		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年9月4日 から		調査、視察	
平成 29年9月5日 まで	静岡県掛川市、熱海市	MOA議員連盟による視察	自宅-朝日IC-黒部IC-黒部宇奈月温泉駅-黒部IC-朝日IC-自宅
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 35 km =	1295		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	700	計	1995
(領収書貼付枠) (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
□□□□□□□□□□□□□□□□□□ □ 黒部市営新幹線駅第1駐車場 □ □ □ □□□□□□□□□□□□□□□□□□			
<h2 style="margin: 0;">領 収 証</h2> <p style="margin: 0;"> 入庫日時 2017年09月04日 07時39分 出庫日時 2017年09月05日 16時53分 No.01-000119 券No.01-027529 </p> <p style="margin: 0;"> 駐車料金(一般) 700円 料金計 700円 投入現金 1,000円 釣銭額 300円 </p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 10月 20日
 決裁 平成 29年 10月 25日
 処理 平成 29年 10月 25日

1678		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月6日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 県立高校再編について、知事と意見交換を行う。2. 議会基本条例案の論点について検討する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日



1679		04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年9月11日	から	提言	
平成 年 月 日	まで	県総合計画について、自民党議員会として、知事に提言を行った。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 10月 8日
 決裁 平成 29年 10月 25日
 処理 平成 29年 10月 25日

新たな総合計画に対する提言

平成29年9月11日

自由民主党富山県議会議員会

	1680		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年9月13日	から		調査	
平成 年 月 日	まで	県議会	常任委員会の質問について調査する。 調査内容は、①自動車産業の今後の方向、②県内の自転車サイクリングコースの整備等。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440	
リース車	@18 ×	km =	0	
有料道				
駐車場			計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日



1681		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月21日 から		調査	
平成 年 月 日 まで	1. 北陸農政局への要請活動(9月28日)のため、要請内容について検討する。2. 田園サイクリングコースを上市駅から東部に延伸するための候補先として滑川の東福寺野自然公園を視察する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-滑川IC -東福寺野自然公園-魚 津IC-朝日IC-自宅	
県議会 東福寺野自然公園			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 138 km = 5106		
リース車	@18 × -km = 0		
有料道			
駐車場		計	5106
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日



1682		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年 9 月 22 日 から		調査	
平成 年 月 日 まで	1. 県医師会との意見交換会の議題について調査する。2. 議会基本条例案の論点について検討する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km = 4440		
リース車	@18 × km = 0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 10 月 8 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

1683		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月25日	から	調査、意見交換	
平成 年 月 日	まで	1. 関電黒部ルート安全性についての勉強会を行った。2. 県医師会と懇談会を行った。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-県民会館-富山IC-入善IC-自宅
県議会、県民会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km = 4440		
リース車	@18 × km = 0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年10月8日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日

勉強会次第

日時 平成29年9月25日(月) 正午～

場所 県民会館 8階 バンケットホール

1 開会

2 研修

(1) 講演

テーマ：「関電黒部ルート安全性について」

講師：関西電力株式会社 北陸支社長

多田 隆司 氏

(2) 質疑応答

3 閉会

自由民主党富山県議会議員会医療問題調査会と
富山県医師会との懇談会

意見交換会次第

日時 平成 29 年 9 月 25 日 (月)
午後 7 時 30 分から
場所 県民会館 8 階 バンケットホール
司会・進行：富山県医師会常任理事 堀地 肇

1. 開 会
2. 自民党 医療問題調査会 会長挨拶
3. 富山県医師会 会長挨拶
4. 自民党議員、県医師会役員紹介
5. 議 題
 - (1) 地域医療構想
 - (2) 富山大学特別枠学生の現状と進路
 - (3) 子宮頸がん予防ワクチン積極的勧奨の早期再開
 - (4) その他
6. 自民党議員からの質問等
7. 質疑応答・フリートーキング
8. 閉 会

1684		04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月28日	から	要請活動	
平成 年 月 日	まで	北陸農政局へ自民党議員会として要請活動を行った。	自宅一朝日IC-富山IC-県議会-(自民党県連の車で金沢往復)-富山IC-朝日IC-自宅
金沢			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 10 月 20 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

富山県農業農村整備事業に関する要望書

平成29年9月

自由民主党富山県議会議員会



1685			
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
04_要請陳情等活動費 05_会議費 09_事務費 10_人件費			
かくま正一通信 (NO. 31) 郵送代			
		4674	82円 57通 /
		17496	72円 243通 /
		22170	/
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を做し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29年10月20日
 決裁 平成 29年10月25日
 処理 平成 29年10月25日

領収書

毎度ありがとうございます

鹿熊正一様

[販売]	
童画のノスタルジシリーズ第4集	
82円 57枚	¥4,674
小計	¥4,674
課税計	¥0
(内消費税等)	¥0
非課税計	¥4,674
合計	¥4,674
お預り金額	¥4,674

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2017年 9月29日 15:48
担当：[REDACTED]
発行No. 170929J3754 端N15箱01
連絡先：泊郵便局
TEL:0765-83-0910

郵便局からのお知らせ



ご注意ください!

「レターパックなどで現金送れ」は
全て詐欺です。
レターパックで現金を送ることは郵便法違反です。

領収書

毎度ありがとうございます

鹿熊正一様

[別納引受]	
区内特別基(定)	17.5g
072 243通	¥17,496
小計	¥17,496
郵便物引受合計通数	243通
課税計	¥17,496
(内消費税等)	¥1,296)
非課税計	¥0
合計	¥17,496
お預り金額	¥17,496

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2017年 9月29日 15:47
担当：[REDACTED]
発行No. 170929A4164 端N15箱01
連絡先：泊郵便局
TEL:0765-83-0910

郵便局からのお知らせ



ご注意ください!

「レターパックなどで現金送れ」は
全て詐欺です。
レターパックで現金を送ることは郵便法違反です。

平素より皆様から温かいご指導ご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。
私は、現在、自民党議員会会長として、30人の自民党所属議員の個々の力と
総合力を発揮して、石井県政に対し県民の皆様の声を代弁しつつ、県民福祉の
向上と地域の発展に努めております。

次に、私の活動の一端をご報告いたします。

【質問】 議会での質問は議員の重要な活動です。

- ・ 6月13日 本会議で自民党の代表質問を行いました。

県内中小企業の事業継承問題、働き方改革、北朝鮮情勢に関する危機管理等
19項目を取り上げました。

- ・ 6月26日 高齢者雇用等について、経済建設委員会で質問しました。
- ・ 7月20日 若者の就業状況、生産性向上に向けた人材育成、県技術専門学
院の機能充実等について、次世代人材育成・確保特別委員会で質問しました。

※ 質問と答弁の詳細は、「かくま正一」のHP及び「富山県議会」のHPを
ご覧下さい。

【要請活動・提言活動】

- ・ 7月19日 東部土地改良協議会（会長：鹿熊）は、管内の土地改良事業促進
のため、国予算確保の要請活動を宮腰代議士や農林水産省に行いました。
- ・ 7月24日 朝日町の平成30年度の県予算・事業要望に当たり、町長・議
長に同行いたしました。
- ・ 8月22日 新川地域推進協議会（会長：鹿熊）は、新川地域の平成30年度
の県予算・事業要望を新川2市2町の首長、議長、県議と共に行いました。
- ・ 9月11日 自民党議員会は、県の新総合計画策定に関する提言を知事に行

いました。内容は、新時代を支える力強い産業・経済基盤の確立、人生90年時代を見据えた健康づくりの推進、公共施設の整備における民間資金等の活用等29項目です。

【意見交換】

- ・5月25日 自民党県連政調会長会議を開催し、29年度予算化状況を報告すると共に、各市町村支部政策責任者と地域の課題や要望について意見交換を行いました。多くの意見が出たのは、有害鳥獣対策の強化と道路等のインフラ整備促進でした。翌26日、政調5部会が各友好団体と意見交換会を行いました。自民党は、毎年このような活動を通して、県民の声をしっかり把握し、県政・国政に反映して来ました。これからも継続してまいります。

上記の他にも、自民党議員会は、役員会、各調査会、各部会等が随時、様々な組織・団体と意見交換を行い、自民党の政策作りに努めております。

【先進地視察、勉強会】

- ・5月29日～31日 山村振興議員連盟（会長：鹿熊）は、島根県を訪問し、中山間地域振興に関する様々な取組みを視察し、関係者との意見交換を行いました。県挙げての振興策の実践は、富山県の中山間地域振興対策の検討にとっても参考になりました。また島根県の県立高校再編議論の経過をお聴きし、本県の再編議論との大きな違いを学びました。
- ・7月23日 自民党富山湾未来創造調査会（会長：四方正治県議）は、東京海洋大学准教授の青山千春氏を招き、「日本の自前資源 メタンハイドレード」のテーマで講演を聴き、日本海沖にある表層型メタンハイドレードの性質、課題、今後の見通し等について勉強しました。

- ・ 8月31日 自民党議員会主催で、秋田県藤里町の社会福祉協議会長の菊池まゆみ氏を招き、「ひきこもり支援講演会」並びにテーブルデスカッションを開催しました。県内に約4000人とされるひきこもりの状態にある方々に対する支援のための、県、市町村、民生・児童委員、NPO等の民間団体等との連携の重要性や様々な課題を認識しました。
- ・ 9月4日～5日 MOA議員連盟（会長：中川県議）の一員として、静岡県掛川市の地域健康医療支援センター「ふくしあ」を訪問し、医療、保健、福祉、介護を多職種連携で実践する先進的な取り組みについて視察いたしました。行政、訪問看護ステーション、社会福祉協議会、地域包括支援センターが連携する取り組みは、県及び県内市町村も大いに参考にすべき取り組みであると思います。

【県政報告】

- ・ 7月15日 第5回寺子屋カレッジを朝日町の音楽夢工房で行いました。世界でここだけにしかない音響施設で「音」を楽しみ、その後高校再編の話を中心に県政報告を行いました。その他にも、各地区や各団体で県政報告と意見交換を行って来ました。

【今後取り組みたい私の県政課題】

- ・ 高校再編議論・・・何らかの再編は避けられません。しかし、小規模校統合による再編に突き進む議論の進め方は遺憾です。学生数の減少の負担を小規模校だけに負わせるのではなく、学区全体で負い、しかも教育の質と生徒の多様な選択肢を確保する再編もあるのでないか、そのような多角的な検討を何故しないのか。しかも、再編の対象校と時期を検討する新たな有識者会議を発足すること。私は、何故また有識者会議なのか疑問です。対象校検討という再編

の核心的事項は、知事と教育長が責任ある当事者として対処すべき事柄でないかと思えます。

・立山黒部世界ブランド化の推進・・・世界的スケールの自然財産である立山黒部を世界的ブランドにしていこうという取組みは肯けるが、当地に詳しい何人かの有識者から、安全対策が置き去りにされているのでないか、という危惧の声が寄せられています。関電ルート安全性も含めて、立山黒部の特に冬の壮絶な厳しさに謙虚でなければならないと思えます。

・その他の関心事・・・

- ① 地球温暖化による気候変動がもたらす集中豪雨等の自然災害の多発化に対処するため、インフラの老朽化対策や県土強靱化対策を強化すべきでないか。
- ② 電気自動車時代到来に向けて、すそ野の広い自動車産業の将来はどのようになるのか、県内の自動車関連業界はどのように対処していくべきなのか。
- ③ 人生90年あるいは100年時代と言われる中、ヘルスケア産業はどのように発展していくのか、県内のヘルスケア産業の将来性はどうか。

以上、5月から9月までの活動の一端をご報告いたしました。なお、ホームページでは、随時、私の近況を報告しております。「かくま正一」で検索して頂ければ幸いです。

今後とも、皆様の温かいご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に皆様のご健勝、ご活躍、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。


【かくま正一通信 (No. 31)】

発行日 平成29年10月

発行者 自由民主党富山県議会議員会

事務所 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保 977-1 tel 0765-82-1333 fax 0765-82-2113

正一メールアドレス XXXXXXXXXX

報告者* 

1686				
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
ホームページホスティング料(9月分)				
			8467	80%
			8467	

【領収書貼付枠】 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証


005350


鹿熊正一様

平成29年10月12日

¥ 10,584-

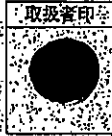
但し、ホームページホスティング料(9月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社  印刷

代表取締役 

〒338-0822 鹿熊町(〒338-0822) 05)54-0127

収入印紙

取扱者印 

收受 平成 29 年 10 月 20 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

報告者* 

1687	
07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
新聞代金 (9月分)	
富山新聞	3060
北日本新聞、日経新聞	6742
読売新聞	3093
	12895

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を一枚、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	86.00	1899

お名前 鹿熊 正一 様
殿町 1 4 9 5

29 年 9 月分	84-8305
領 柄	◇ 左記の通り領収しました
1 読売新聞	1 3,093
2	
3	
合 計	3,093 円

領収日 29年 9月 30日

便利な自動振替受付中！手数料はございません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊 3 1 8



29-10-02		*3,060	トマソンアソシ
29-10-02	新聞代金	*6,742	

收受 平成 29 年 10 月 20 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

1688			
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
電気料金(9月分) 事務所賃借料(10月分)			
電気料金(9月分)	1538		50%
事務所賃借料(10月分)	15000		50%
	16538	/	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

② D29-10-10 電気料金 3,077 株式会社

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取引日	29-10-04	お取引店番	1405005-ナ108
口座番号	*****-*****-*****		
お取引金額	003000000000 ¥30,000*		
お取引後の金額	お振込 ¥0		
手数料	¥0	お振込	¥0
時刻	10:48		
様 10月分			
カクマサカス コウインカイ様			
TEL0765-82-1333			
印紙税申告納付	ご利用ありがとうございました。		
成り立つ為			
現務承認			



收受 平成 29 年 10 月 20 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

1689			
09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
インク代 コピー用紙代			
インク代	4320	/	50%
コピー用紙代	620	/	50%
	4940		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 29 年 10 月 20 日
 決裁 平成 29 年 10 月 25 日
 処理 平成 29 年 10 月 25 日

領 収 証

No. 06382

熊 正 会 様

金額		百	拾	円	千	百	拾	円
				7	8	6	4	0

収 入
印 紙

但しリコーインク

上記金額正に領収いたしました

平成 29年 9月 20日

(有)坂東電器 

富山県下新川郡朝日町栄町 150-1

TEL 83-0066

FAX 83-1174

本領収証に取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効。

領収金額に含まれる消費税		
金額		円
区分	金額	
現金		円
小切手		
手形		
振込		
相殺		
計		

取扱者印


領 収 証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店

0765-83-9025

2017年 9月20日(水)12:20 0832-0001

9585

28*21-用紙 A4 ¥1,240

(5個 x @248)

小計		¥1,240
(内消費税	8%	¥91)
商品計		5点

合 計	¥1,240
お預り	¥1,300
お釣り	¥60

5P



1987		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費	
平成29年10月12日 から		勉強会		03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 年 月 日 まで		自民党富山湾未来創造調査会勉強会		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-滑川IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日

平成29年9月13日

自民党富山湾未来創造調査会
会 員 各 位

自民党富山湾未来創造調査会
会長 四 方 正 治

自民党富山湾未来創造調査会勉強会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますのでご案内します。
なお、出欠を確認させていただきたいので、別紙を9月27日(水)まで、
自民党控室へ提出(送付)くださるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成29年10月12日(木) 午前9時から
- 2 場 所 富山県議会議事堂 2階 大会議室
- 3 内 容 「富山湾における海上安全の確保について」
伏木海上保安部長 福井 孝之 氏

1938		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年 10 月 13 日 から		講演会等	
平成 年 月 日 まで	とやま水土里フォーラムにおける基調講演並びにパネルディスカッション	自宅-朝日IC-富山IC-富山国際会議場-魚津IC-黒部IC-自宅	
富山国際会議場			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	700	計	5140
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <p style="text-align: center;">富山国際会議場 駐車場</p> <p style="text-align: center;">TEL 076-493-4455</p> <p style="text-align: center;">□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <h2 style="text-align: center;">領 収 証</h2> <p>入車日時 2017年10月13日 09時28分 出車日時 2017年10月13日 12時26分 No.02-000031 , 券No.01-495622</p> <p>駐車料金 (一般) 700円</p> <p>料金計 700円</p> <p>投入現金 1,000円 釣銭額 300円</p> </div>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1939		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年10月17日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	議会基本条例の論点について調査する	自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー黒部IC ー自宅
原議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1940		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
29年10月18日から		調査			
平成 年 月 日 まで		経済建設部会において、代表質問並びに平成30年度県要望等について調査する		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日

平成29年9月22日

自由民主党政務調査会
経済建設部会会員各位

自由民主党政務調査会
経済建設部会長 永森 直人

経済建設部会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

1 日 時 平成29年10月18日(水) 12:00~
(昼食付き)

2 場 所 議事堂 2階 207面会室

3 協議事項

- (1) 11月定例会代表質問項目について
- (2) 30年度県予算に対する重点・基本要望事項について
- (3) 県政の重要課題に係る提言について
- (4) その他

※欠席される場合は、自民党控室(076-431-5244)へご連絡願います。

《参考》当日(10/18)の日程

8:30	決算特別委員会農林水産分科会
9:00	決算特別委員会経営企画分科会
10:00	決算特別委員会教育警務分科会
10:00	日中議連 訪中団員打合会
12:00	<u>自民党経済建設部会(207面会室)</u>
13:00	決算特別委員会厚生環境分科会



1941		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
29年10月20日から		意見交換会	
平成 年 月 日 まで	新川ブロック政務調査会長会議及び滑川・中新川ブロック政務調査会長会議	自宅-ホテルグランミラージュ-県連-富山IC-朝日IC-自宅	
魚津ホテルグランミラージュ 自民党県連			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 125 km =	4625		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4625
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1942		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
29年10月23日から		調査	
平成 年 月 日 まで	議会基本条例の論点に関する調査並びに10月30日の議会基本条例フォーラムの討論会に向けた準備		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
原議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 11月 27日
 決裁 平成 29年 11月 28日
 処理 平成 29年 11月 28日



1943					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料 (10月分)					
			8467		80%
			8467		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を偽し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005956

鹿熊 正一 様 平成 29 年 11 月 13 日

¥ 10,584 -

自し、ホームページホスティング料(10月)
上記の金額正に領収いたしました

株式会社 鹿熊の印刷 代表取締役 黄

〒330-0222 埼玉県川口市大宮1-1-1 055-4-0

取扱者印

内 印刷物代金	¥
外 消費税	¥

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1944		
07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
	05_会議費 10_人件費	
新聞代金 (10月分)		
高山新聞	3060	/
北日本新聞、日経新聞	6742	/
読売新聞	3093	/
	12895	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区域	全戸No	お問い合わせ先
34	86.00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

29年 10月分

84-8305

品名	部数	金額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 29年10月27日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊318



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

1729-10-31	新聞代金	*6,742	
1829-11-02		*3,060	トヤマシマフン

收受 平成 29年 11月 27日
決裁 平成 29年 11月 28日
処理 平成 29年 11月 28日



1945		
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
	03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費
	05_会議費	06_人件費
	07_資料購入費	08_事務所費
	09_事務費	10_人件費
電気料金(10月分) 事務所賃借料(11月分)		
電気料金(10月分)	1675	50%
事務所賃借料(11月分)	15000	50%
	16675	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を貼り、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

029-11- 9 電気料金 3,351 株式会社リョク

しんきんオンライン

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

取引日	29-11-01	取引金額	1405005-+133
口座番号			
お取引金額	003000000000 ￥30,000*		
お取引後の金額	¥0		
お振込	¥0		
手数料	¥0		
時刻	10:27		
氏名	11月分		
住所	カクマツカス コウインカイ様		
TEL	TEL0765-82-1333		
印紙税申告納付済	ご利用ありがとうございました。		

ご利用の際は、必ずご利用明細票を大切に保管してください。

にいがた信用金庫

收受 平成 29年 11月 27日
 決裁 平成 29年 11月 28日
 処理 平成 29年 11月 28日



1946		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年9月1日	から				
平成29年9月30日	まで	(内容) 高速代		(備考)	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		10210			
駐車場				計	10210
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
 主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日

ご利用 年月日	ご利用店名	ポイント	ご利用 金額 (円)	お支払 方法	今回請求 金額 (円)	概要
	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇	
7/9	〇〇〇〇	☆	1210	1回払	1210	ETC 富山 黒部 普通車
7/9	〇〇〇〇	☆	1440	1回払	1440	ETC 朝日 富山 普通車
7/9	〇〇〇〇	☆	1440	1回払	1440	ETC 朝日 富山 普通車
7/9	〇〇〇〇	☆	1440	1回払	1440	ETC 富山 朝日 普通車
7/9	〇〇〇〇	☆	1440	1回払	1440	ETC 朝日 富山 普通車
7/9	〇〇〇〇	☆	1440	1回払	1440	ETC 朝日 富山 普通車
** 今回ご利用金額合計 **			28220			
** ご請求金額合計 **					28220	

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆を表示、★をお支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ホ-1:ボーナス1回払い、ホ-2:ボーナス2回払い)、※今回請求:今回のお支払いが何回目をかを表示、※概要:ボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現金通貨(通貨別)・換算レート)を表示、○は支払方法を変更できます。ただし一部ご変更にお応えできない場合がございます。

ご案内
 TSSCARDは各種サービスなど特典が満載のカードです。
 特典の詳細はご入会時にお送りした「総合ガイド」または「活用BOOK」やTSSCARDモール
 (<http://ts3card.com>)でご確認ください。
 ※一部のカードはTSSCARDモールの提供サービス内容が異なる場合もございます。

カードの紛失・盗難後の不正利用が増えています!
 盗難中のカードはご利用できません。カードの紛失・盗難による不正利用がございましたら、カードの管理センターへご連絡ください。お手続きが完了するまで、ご利用ができません。カードの紛失・盗難による不正利用が増えています。お手続きが完了するまで、ご利用ができません。

1678		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月6日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 県立高校再編について、知事と意見交換を行う。2. 議会基本条例案の論点について検討する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-黒部IC-自宅
原議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日



1679		04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年9月11日 から		提言	
平成 年 月 日 まで	県議会	原総合計画について、自民党議員会として、知事に提言を行った。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-自宅
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29年 10月 8日
 決裁 平成 29年 10月 25日
 処理 平成 29年 10月 25日

	1680		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年9月13日	から		調査	
平成 年 月 日	まで	県議会	常任委員会の質問について調査する。 調査内容は、①自動車産業の今後の方向、②県内の自転車サイクリングコースの整備等。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440	
リース車	@18 ×	km =	0	
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日

1684		04_要請陳情等活動費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年9月28日 から		要請活動			
平成 年 月 日 まで		北陸農政局へ自民党議員会として要請活動を行った。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-(自民党県連の車で金沢往復)-富山IC-朝日IC-自宅	
金沢					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年10月20日
 決裁 平成29年10月25日
 処理 平成29年10月25日

2200		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年10月1日	から	高速代		(備考)	
平成 29年10月31日	まで				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × km =	0			
リース車	@18 × km =	0			
有料道		9500			
駐車場			計		9500
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日



1937		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年10月12日 から		勉強会	
平成 年 月 日 まで	自民党富山湾未来創造調査会勉強会	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-滑川IC-朝日IC -自宅	
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年11月27日
 決裁 平成29年11月28日
 処理 平成29年11月28日

1938		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年 10 月 13 日 から		講演会等	
平成 年 月 日 まで	とやま水土里フォーラムにおける基調講演並びにパネルディスカッション	自宅-朝日IC-富山IC-富山国際会議場-魚津IC-黒部IC-自宅	
富山国際会議場			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	700	計	5140
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			
<p>□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <p>□ 富山国際会議場 駐車場 □</p> <p>□ TEL 076-493-4455 □</p> <p>□□□□□□□□□□□□□□□□</p> <h2 style="margin: 10px 0;">領 収 証</h2> <p>入車日時 2017年10月13日 09時26分 出車日時 2017年10月13日 12時26分 No.02-000031 券No.01-5622</p> <p>駐車料金(一般) 700円</p> <p>料金計 700円</p> <p>投入現金 1,000円 釣銭額 300円</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1939		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年10月17日から		調査	
平成 年 月 日 まで		議会基本条例の論点について調査する	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-黒部IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日
 決裁 平成 29 年 11 月 28 日
 処理 平成 29 年 11 月 28 日



1940		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
29年10月18日から		調査	
平成 年 月 日 まで	経済建設部会において、代表質問並びに平成30年度県要望等について調査する	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 11 月 27 日

決裁 平成 29 年 11 月 28 日

処理 平成 29 年 11 月 28 日



2201		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年11月6日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 全国の中山間地域振興に関する取組状況を調査する。2. 県立高校再編に関する自民党議員会の集約について検討する。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 12月 22日
 決裁 平成 29年 12月 25日
 処理 平成 29年 12月 26日

2202		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年11月7日	から	調査	
	まで	中山間地域対策の現状について、南砺市及び朝日町を訪問し、首長他と意見交換を行う。	自宅 - 県庁（県庁からは、バスで移動）
県庁、南砺市役所、朝日町役場			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 60 km =	2220	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	2220
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日



2203		04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年11月9日	から	要請活動	
平成29年11月10日	まで	1. 11月9日は、東部土地改良協議会で農林水産省等に土地改良事業予算の要請活動を行う。2. 11月10日は、下新川海岸整備促進議員連盟で国土交通省等に海岸整備事業予算の要請活動を行う。(北陸新幹線運賃、都内移動の交通費は、各団体が負担)	
東京		自宅-黒部宇奈月温泉駅-東京(農林水産省、国土交通省、自民党本部他)-黒部宇奈月温泉-黒部IC-朝日IC-自宅	
経費の内訳		金額	経費の内訳
鉄道・バス			宿泊料 8200
タクシー			食事代 900
航空機			会費
自家用車	@37 × 30 km =	1110	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場			計 10210
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注 1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注 2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注 3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

No. 0130919

請求書

Description

(一財) 富山会館 東京宿泊所
 東京都港区赤坂7-5-5 1
 富山県赤坂会館
 支配人 平瀬 直太郎

お名前(Name)

鹿熊 正一

様

振込先：北陸銀行白山支店
 (当)1006152
 サイ)トヤマカイカン
 電話 03-3586-0991

お部屋 Room	ご到着日 Arrival	泊数 Nights	ご出発日 Departure	人数 Persons	発行日 Issue	担当 Clerk	ページ Page
201	2017/11/09	1	2017/11/10	1	2017/11/10	藤澤	1: 1

日付 Date	お部屋 Room	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Charges	入金 Payment
11/9	201	*2F和室(1) *朝食 <宿泊・飲食等計> 精算現金	8,200 900	1 1	8,200 900 9,100	9,100
ご署名 Signature					ご利用合計 Total	請求額 Balance
会社名 Firm					9,100	0

No. 0130919

領収書

Payment

お名前 (Name)

鹿熊 正一

様

(一財) 富山会館 東京宿泊所
 東京都港区赤坂7-5-5 1
 富山県赤坂会館
 支配人 平瀬 直太郎
 振込先：北陸銀行白山支店
 (当)1006152
 サイ)トヤマカイカン
 電話 03-3586-0991

予約金・前受金 Advance	クーポン Coupon	クレジット Card
売掛金 Credit	ご返金 Repayment	領収額 Receipt
		9,100

発行月日 (Issue)
2017/11/10

*収入印紙は印紙税法第5条1号により免除



2204		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年11月11日	から	講演			
	まで	第38回全国歯科保健大会において、特別講演及びシンポジウムを聴く。		自宅-朝日IC-富山IC-県民会館-富山IC-朝日IC-自宅	
県民会館					
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年12月22日
 決裁 平成29年12月25日
 処理 平成29年12月26日



2205		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成29年11月14日	から	調査					
平成 年 月 日	まで	新川農林振興センター管内における台風21号の被害状況と復旧計画について、ヒヤリングを行う。		自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-魚津IC-朝日IC-自宅			
新川農林振興センター							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車	@37 × 45 km =	1665					
リース車	@18 × km =	0					
有料道							
駐車場				計		1665	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成29年12月22日
 決裁 平成29年12月25日
 処理 平成29年12月26日



2206		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年11月15日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		富山県歯科医師会館		県歯科医師会館を訪問し、歯科技工士及び歯科衛生士の養成施設・設備の老朽化の実態、設備更新の必要性等について視察、意見交換を行う。(県議会から県歯科医師会館までは、別途車を手配)	
				自宅-県議会-(歯科医師会館)-県議会-自宅	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

11/15
社富歯発第599号

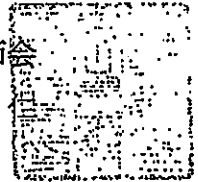
平成29年11月1日

自由民主党富山県支部連合会

政務調査会長 武田 慎一 様

一般社団法人富山県歯科医師会

会長 山崎 安



平成30年度県予算に対する要望及び歯科総合センター・

歯科総合学院視察並びに懇親会の開催について

謹啓 秋涼の候ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は会務運営に関し格別なるご指導ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

つきましては、平成30年度県予算に対する要望内容についてご懇談賜り、富山県歯科保健医療総合センター及び富山歯科総合学院のご視察下さいますようお願いいたします。

また、本会役員との懇親会を併せて開催させて頂きたいと存じますのでご多用のこととは存じますが、是非ご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

平成30年度県予算に対する要望及び歯科総合センター・歯科総合学院視察

日 時 平成29年11月15日(水) 午後1時

場 所 富山県歯科医師会館

自民党富山県議会議員会役員と富山県歯科医師会役員との懇親会

日 時 平成29年11月15日(水) 午後6時

場 所 「五万石本店」

一般社団法人 富山県歯科医師会事務局

(担当 〇〇〇)

〒930-0887 富山市五福字五味原2741-2

TEL 076-432-4466 / FAX 076-442-4013



2207		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年11月16日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	県建設業協会役員と、建設業の現状や県への要望等について意見交換を行う。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
県議会			
経費の内容及び金額	金額	経費の内容及び金額	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18. × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

調査研究費 01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年11月22日 から	平成 年 月 日 まで	調査	
呉羽ハイツ		北アルプス横断道路構想推進会議設立総会が行われ、これまでの経緯を踏まえ、本ルートの必要性やこれからの運動方針等について協議を行った。(県議会から呉羽ハイツは、別途車を手配)	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 ×	120 km =	4440	
リース車 @18 ×	km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年12月22日
 決裁 平成 29年12月25日
 処理 平成 29年12月26日

平成29年10月27日

富山県議会議員 鹿熊 正一 様

北アルプス横断道路構想推進準備会
(事務局：黒部市企画政策課)

北アルプス横断道路構想推進会議設立総会開催のご案内

秋晴の候 貴職にはますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本県と長野県を直結する横断道路構想につきましては、観光やビジネス、物流や情報の動きを飛躍的に高めるとともに、災害時におけるネットワーク確保にも貢献する事業効果の高い道路として期待されております。

このたび、県東部の行政機関や関係団体等が一致結束して本構想の実現化に向けた活動を展開するため、北アルプス横断道路構想推進会議を設立することとなりました。

つきましては、設立総会を下記により開催いたしますので、業務ご多端の折とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

期 日 平成29年11月22日(水)

午後2時30分～

会 場 呉羽ハイツ 大日薬師

富山市吉作4103-1 TEL:076-436-0191

議 事 ・北アルプス横断道路構想推進会議の設立

・規約、役員等の承認

・平成29年度事業計画案等の承認

※出欠を、裏面様式によりFAXで11月10日までに回答願います。

※会議は、おおよそ1時間を予定しています。

問合せ 黒部市企画政策課 長田、橋本

TEL:0765-54-2115

FAX:0765-54-4461

報告者* 

2209 平成29年11月28日 から 平成 年 月 日 まで 原議会 富山新世紀産業機構 北日本新聞ホール	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費		
調査等 1. 富山新世紀産業機構を訪問し、島崎専務から業務の現状と課題についてヒヤリングを行い、意見交換を行う。 2. 自民党議員会から知事に平成30年度予算要望と重要課題提言を行う。 3. 救う会全国協議会会長の西岡カ氏の講演を聴く。	自宅ー入善ICー富山ICー富山新世紀産業機構ー県議会ー北日本新聞ホールー自宅		
経費の内容*	金額*	経費の内容*	金額*
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 128 km =	4736		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4736
(領収書貼付枠) (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

平成29年11月14日

自由民主党 富山県議会議員会
役員各位
政務調査会 副会長 殿
(正副議長 同席)

自由民主党 富山県議会議員会
会長 鹿熊 正一

役員会の開催について

下記により役員会を開催いたしますので、ご出席願います。

記

- 1 日 時 平成29年11月28日(火) 午後1時30分から
- 2 場 所 議事堂3階 特別室
- 3 協議事項 (1) 予算要望 知事申入れについて
(2) その他

※ 欠席の場合は、控室へ連絡願います。(TEL 076-431-5244)

参考 当日の予定

13:30	自民党 役員会	議事堂 特別室
14:00	自民党 予算要望 知事申入れ	知事応接室
15:30	自民党 定例記者会見	議事堂 中会議室

平成29年11月7日

会 員 各 位

北朝鮮に拉致された日本人を早期に
救出する富山県議会議員連盟

会長 四方 正治

(仮称) 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出する
富山県地方議員連盟設立総会の開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、ご多忙中
とは存じますが、ご出席くださるようお願いいたします。

記

1 日 時 平成29年11月28日(火)
(総 会) 15:30~16:00
(講 演) 16:00~17:00

2 場 所 北日本新聞ホール

〔 富山市安住町2-14
TEL 076-445-3399 〕

3 講演：救う会全国協議会 会長 西岡 力 様



22/0					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
ホームページホスティング料 (11月分)					
		8467			80%
		8467			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005603

鹿熊 正一 様 平成 29 年 12 月 12 日

¥ 10,584-

値目: H.P.ホスティング料 (11月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 印刷 代表取締役 印

取扱者印

内	印刷物代立	業
取	消	取

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

報告者* 

2211	
07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
新聞代金 (11月分)	
新聞の内容	金額
富山新聞	3060
北日本新聞、日経新聞	7072
読売新聞	3093
合 計	13225

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	86,00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

29 年 11 月分

84-8305

品 名	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

◇ 左記の通り領収しました

領収日 29 年 12 月 3 日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊 318
0765-82-0971



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

29-11-30	新聞代金	*7,072	
29-12-04		*3,060	トマソンマン

收受 平成 29 年 12 月 22 日
決裁 平成 29 年 12 月 25 日
処理 平成 29 年 12 月 26 日


2212					
08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
電気料金(11月分) 事務所賃借料(12月分)					
品名		金額	%		
電気料金(11月分)		2105	50%		
事務所賃借料(12月分)		15000	50%		
		17105	/		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



D29-12- 8 電気料金 4,211 株式会社リョウ



お取扱日	取扱金額	店番	通番
29-12-04	1405005-+285		
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額		お取引後の金額	
003000000000	¥30,000*		
お振込		¥0	
手数料	¥0	ページ	硬貨
時刻	10:37	おつり	
カクマサカス コウインカイ様 TEL0765-82-1333			
印紙税申告前 *付まつ *付まつ *付まつ *付まつ		ご利用ありがとうございました。	

 にいかち信用金庫

収受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

事業番号	2213		事業名称	
経費項目	09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
内容	富士ゼロックストータルサービス料金 (コピー使用料)			
	区分(内容)	金額(円)	備考	
	8月請求分	22296	/	50%
	11月請求分	11504	/	50%
	(合計)	33800	/	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				
	D29- 8-23	44,593	SMBC(株)ロックス	
	D29-11-24	23,009	SMBC(株)ロックス	

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

熊正会

請求書

発行日：2017年08月20日
請求書番号：770619-0001883

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 37,179円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
※請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ番号：3214039720 電話：0120-069-840

お支払約束日	2017年08月23日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

品名	期	金額	数量	単価	小計	合計
1 トータルサービス料金	2017/03/16-2017/06/15					34425
2						
3 ご使用合計					6885	
4						
5 【代金/料金合計】						34425
6 【消費税(8%)】						2754
7 【今回ご請求額】						37179
8						
9 ※ご利用機種/機種番号:DocuCentre-III 3000 F 201697						
10						
11 1(202230) (195345) (0) (0)						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						

15301 01108 3214039720 15 0622 000
A-000085 0000 3214039720 510 1NK 0000 10402000

31 備考:

HIF003

熊正会

請求書

発行日：2017年08月20日
請求書番号：770619-0001885

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 7,414円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
※請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ番号：3214039721 電話：0120-069-840

お支払約束日	2017年08月23日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

品名	期	金額	数量	単価	小計	合計
1 トータルサービス料金	2017/03/16-2017/06/15					6865
2						
3 ご使用合計					1379	
4						
5 【代金/料金合計】						6865
6 【消費税(8%)】						549
7 【今回ご請求額】						7414
8						
9 ※ご利用機種/機種番号:DocuCentre-III 2000 F 201753						
10						
11 1(41011) (39638) (0) (0)						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						

15301 01108 3214039721 15 0622 000

31 備考:

熊正会

請求書

発行日：2017年09月21日
請求書番号：770920-0005165

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 12,598円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合わせ番号：3214039720 電話：0120-069-840

お支払約束日	2017年11月24日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
トータルサービス料金		2017/06/16-2017/09/15																										11665
ご使用合計																												
【代金/料金合計】																												11665
【消費税(8%)】																												933
【今回ご請求額】																												12598
*ご利用機種/機械番号:DocuCentre-III 3000 F 201697																												
1(204565) (202230) (0) (0)																												

15301 01108 3214039720 15 0922 OCO
A-003015 0000 3214039720 510 1NK 0000 10402000

31 備考:

HIF003

熊正会

請求書

発行日：2017年09月20日
請求書番号：770919-0004879

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 10,411円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合わせ番号：3214039721 電話：0120-069-840

お支払約束日	2017年11月24日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	
本・支店名	
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
トータルサービス料金		2017/06/16-2017/09/15																										9640
ご使用合計																												
【代金/料金合計】																												9640
【消費税(8%)】																												771
【今回ご請求額】																												10411
*ご利用機種/機械番号:DocuCentre-III 2000 F 201753																												
1(42939) (41011) (0) (0)																												

15301 01108 3214039721 15 0922 OCO

31 備考:



2214			
09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費
	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費	
コピー用紙代 インク代			
コピー用紙代	620	/	50%
インク代	3706	/	50%
	4326	/	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収証

近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2017年12月8日(金)12:45 0832-0002
4503
28*コピー用紙 A4 ¥1,240
(5個 x @248)

小計 ¥1,240
(内消費税 8% ¥91)
商品計 5点

合計 ¥1,240
お預り ¥5,000
お釣り ¥3,760

領収証

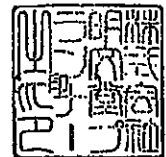
2017年11月10日 No.01-00162580

鹿籠正一様

金額 ¥7,412-

但し インク代
(内消費税額 549円含む)
上記正に領収いたしました。

明文堂書店 朝日店
富山県下新川郡朝日町道下922-3
電話 0765-83-3223



收受 平成 29 年 12 月 22 日
決裁 平成 29 年 12 月 25 日
処理 平成 29 年 12 月 26 日

管理番号 <div style="text-align: center; font-size: 24px;">2473</div>		使途項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
期 間	平成29年11月1日 から	活動の概要 高速代	(備考)
	平成29年11月30日 まで		
場所			
経費の内容		金額	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × km = 0		
リース車	@18 × km = 0		
有料道		9440	
駐車場		計	
		9440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日



2201		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年11月6日 から		調査			
平成 年 月 日 まで		1. 全国の中山間地域振興に関する取組状況を調査する。2. 県立高校再編に関する自民党議員会の集約について検討する。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29年 12月 22日
 決裁 平成 29年 12月 25日
 処理 平成 29年 12月 26日

2203		04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年11月9日	から	要請活動	
平成29年11月10日	まで	1. 11月9日は、東部土地改良協議会で農林水産省等に土地改良事業予算の要請活動を行う。2. 11月10日は、下新川海岸整備促進議員連盟で国土交通省等に海岸整備事業予算の要請活動を行う。(北陸新幹線運賃、都内移動の交通費は、各団体が負担)	
東京		自宅-黒部宇奈月温泉駅 -東京(農林水産省、国土交通省、自民党本部他)- 黒部宇奈月温泉-黒部IC -朝日IC-自宅	
鉄道・バス		宿泊料	8200
タクシー		食事代	900
航空機		会費	
自家用車	@37 × 30 km =	1110	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	10210
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日



2204		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29 年 11 月 11 日	から	講演	
	まで	第38回全国歯科保健大会において、特別講演及びシンポジウムを聴く。	自宅-朝日IC-富山IC-県民会館-富山IC-朝日IC-自宅
県民会館			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

ZZ05		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年11月14日	から	調査	
平成 年 月 日	まで	新川農林振興センター管内における台風21号の被害状況と復旧計画について、ヒヤリングを行う。	自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-魚津IC-朝日IC-自宅
新川農林振興センター			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 45 km =	1665	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	1665
<p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
 (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
 (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成29年12月22日
 決裁 平成29年12月25日
 処理 平成29年12月26日



2207		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年11月16日 から		意見交換			
平成 年 月 日 まで		県建設業協会役員と、建設業の現状や県への要望等について意見交換を行う。		自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 29 年 12 月 22 日
 決裁 平成 29 年 12 月 25 日
 処理 平成 29 年 12 月 26 日

整理番号	2474		債権項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年12月3日	から	活動の概要	講演	
	平成 年 月 日	まで		「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」講演会(別紙)	
場所	ボルファートとやま			自宅-朝日IC-富山IC-ボルファートとやま-富山IC-朝日IC-自宅	
経費の内容			金額	金額	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			320	計	4760
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					
<p>(株)富山北モータープール TEL 076(433)0071</p> <p>領収書 訂正</p> <p>精算機 #01 A 精算No.000164 発券機 #11 発券No.061214 入庫時刻 2017年12月 3日(日) 09:34 精算時刻 2017年12月 3日(日) 11:59 駐車時間 2:25 駐車料金 H料金 540円 店008 1枚 H料金 -220円 合 計 320円 ===== 現金領収額 320円 お預り 1,000円 お釣り 680円</p> <p>またのご利用をお待ちしております。</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 1 月 29 日
 決裁 平成 30 年 1 月 30 日
 処理 平成 30 年 1 月 30 日



準備番号	2475		送附機関	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年12月4日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで		管内における台風21号の被害状況と復旧対応について、両事務所でヒヤリングを行う。	自宅-入善土木事務所-新川農林振興センター-黒部IC-朝日IC-自宅
場所	入善土木事務所 新川農林振興センター				
経費の内容			金額	金額	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 45 km =			1665		
リース車 @18 × km =			0		
有料道					
駐車場				計	1665
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 / 月 29 日
 決裁 平成 30年 / 月 30 日
 処理 平成 30年 / 月 30 日



整理番号	2476	領金額	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年12月10日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	講演	
場所	県民会館		「地方から考える日本の未来」と題する講演会（別紙）	
			自宅—黒部IC—富山IC— 県民会館—富山IC—朝日 IC—自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日

自民党富山県連青年局 勉強会
「地方から考える日本の未来」 次 第

日 時：平成29年12月10日（日）15:00～

会 場：富山県民会館 401号室

1. 開 会

1. 開会挨拶 自民党県連青年局長 川島 国 富山県議会議員

1. 講 演 琉球新報、沖縄タイムスを正す県民・国民の会 代表運営委員
日本文化チャンネル桜 沖縄支局 キャスター

我那覇 真子さん

演 題「沖縄のマスコミが伝えない真実」

1. 質疑応答

1. 閉会挨拶 自民党県連女性部長 堀田 紀子

1. 閉 会



報告番号	2477	経費種別	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成29年12月14日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	議事内容	議会基本条例の素案について、論点整理のための調査を行う。	自宅ー県議会ー滑川ICー黒部ICー自宅
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年 1月29日
 決裁 平成30年 1月30日
 処理 平成30年 1月30日



管理番号	2478		経費項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
開始日	平成 29年12月18日	から	活動の概要	調査活動		
終了日	平成 年 月 日	まで	1. 山村振興議員連盟の予算要望について内容の検討を行う。2. 関電ルートの旅商品化に関する事柄について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-入善IC- -自宅		
場所	県議会					
経費の内容			金額	経費の内容		金額
鉄道・バス				宿泊料		
タクシー				食事代		
航空機				会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440			
リース車	@18 ×	km =	0			
有料道						
駐車場				計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 1 月 29 日
 決裁 平成 30 年 1 月 30 日
 処理 平成 30 年 1 月 30 日



案内番号	2479		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成 29年12月19日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例制定に関わる第7回 検討会議に向けた事前の検討を行う。 2. 山村振興議連の要望に関して2回 目の検討を行う。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計		4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 1月29日
 決裁 平成 30年 1月30日
 処理 平成 30年 1月30日



整理番号		2480		使途項目		02_研修費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成29年12月22日		から	活動の概要		調査活動			
	平成 年 月 日		まで	1. 11月補正予算の箇所付けの状況について調査する。2. 議会基本条例素案のうち、少数会派の取扱い・県民参加の規定・会派の規定等について検討を行う。		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅			
開催場所		県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額			
鉄道・バス				宿泊料					
タクシー				食事代					
航空機				会費					
自家用車	@37 ×	120 km =	4440						
リース車	@18 ×	km =	0						
有料道									
駐車場				計		4440			
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>									

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 1 月 29 日
 決裁 平成 30 年 1 月 30 日
 処理 平成 30 年 1 月 30 日



管理番号	2481	
(経費項目)	03_広聴広報費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	ホームページホスティング料 (12月分)	
金額(円)	8467	80%
合計	8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005604

鹿熊 正一 様 平成 30 年 / 月 12 日

¥ 10,584 -

目し HPホスティング料 (12月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 印刷

取扱番号 005604

收受 平成 30 年 / 月 29 日
 決裁 平成 30 年 / 月 30 日
 処理 平成 30 年 / 月 30 日



総理番号	2482	
経費種別	07_資料購入費	
内容	01_調査研究費 02_研修費 03_広聴広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費	
内容	新聞代金(12月分)	
結果の内容	金額(円)	備考
高山新聞	3060	
北日本新聞、日経新聞	7072	
読売新聞	3093	
	13225	

《領収書貼付枠》

領収書		<table border="1"> <tr> <th>区 域</th> <th>全 戸 数</th> <th>お問い合わせ先</th> </tr> <tr> <td>34</td> <td>86.00</td> <td>1899</td> </tr> </table>	区 域	全 戸 数	お問い合わせ先	34	86.00	1899									
区 域	全 戸 数	お問い合わせ先															
34	86.00	1899															
お名前 鹿熊 正一様 殿町1495																	
29年 12月分		84-8305 ◇左記の通り領収しました															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>送 柄</th> <th>部 数</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 読売新聞</td> <td>1</td> <td>3,093</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>3,093 円</td> </tr> </tbody> </table>	送 柄	部 数	金 額	1 読売新聞	1	3,093	2			3			合 計		3,093 円	領収日 29年12月29日	
送 柄	部 数	金 額															
1 読売新聞	1	3,093															
2																	
3																	
合 計		3,093 円															
便利な自動振替受付中！手数料はいりません YC泊 富山県下新川郡朝日町泊318																	
領収印		※裏面もあわせて内容を十分お読みください。															
11 30-01-04	新聞代金	*7,072															
13 30-01-04		*3,060 トヨタマシン															

收受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日



管理番号	2483		
経費科目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	電気料金(12月分) 事務所賃借料(平成30年1月分)		
上書き禁止 訂正欄	経費の内容	金額(円)	備考
	電気料金(12月分)	2959	/
	事務所賃借料H30.1月分	15000	/
	合 計	17959	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

收受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日

しんきんバンク

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	取扱金庫	店番	通番
30-01-05	1405005	-	+258
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額		お取引後の金額	
009000000000		¥30,000*	
お取扱内容		お取引後の金額	
お振込		¥0	
手数料	¥0	ペーシ	硬貨
時刻	10:48	おつり	
[Redacted]			
[Redacted]			
[Redacted]様			
カクマサカス コウインカイ様			
TEL0765-82-1333			
印紙税申告納 [Redacted]		ご利用ありがとう ございました。	

ご利用金額とお取引金額をお確かめください。
お振込手数料はご利用の口座から自動的に引かれます。

にいかち信用金庫

030-1-11 電気料金

5,919 株式会社 [Redacted]




	2484			
09_事務費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費			
	ノートパソコン (FMVA42B2B) 購入			
	ノートパソコン (FMVA42B2B) 購入	54000		50%
		54000		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

收受 平成 30 年 1 月 29 日
 決裁 平成 30 年 1 月 30 日
 処理 平成 30 年 1 月 30 日

請求書

鹿熊 正一 様

平成 30 年 1 月 19 日
下記のとおり御請求申し上げます

(有)坂東電器 
富山県下新川郡朝日町栄町 150-1
TEL83-0066

品名	数量	単価	金額	摘要
ノートパソコン			1000000	
FMVA42B2B				
セットアップ、データ復旧	サービス		0	
(消費税)			8000	
合計			1080000	

領収証

No 06518

鹿熊 正一 様

金額	百	拾	万	千	百	拾	円
	7		108	000			



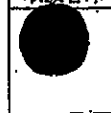
但しノートパソコン代は
上記金額正に領収いたしました
平成 30 年 1 月 22 日

(有)坂東電器 

富山県下新川郡朝日町栄町 150-1
TEL 83-0066
FAX 83-1174

領収金額に含まれる消費税	
金額	円
区分	金額
現金	円
小切手	
手形	
振込	
相殺	
計	

取扱者印



本領収証に取扱者印のないもの、金額を訂正したものは無効。

引取修理

FUJITSU 保証書



お客様保管

品名 LIFEBOOK AH42/B2
型名 FMVA42B2B 製造番号 R7X00019

最初の電源投入時に本品内に記録される「保証開始日」を別途御確認のうえ、下記「保証開始日」欄に必ずご記入願います。保証開始日の記入がない場合、保証期間中であっても有料修理となります。

保証開始日	保証期間
年 月 日	保証開始日より1年間

(お買い上げ日記入欄) 年 月 日

修理記録

販売店/販売会社様へのお願い
ご購入時にお買い上げ日、買店/買店名、住所、電話番号をご記入のうえ、本保証書をお客様にお渡しください。
住所・会社名 (または店名)・電話番号

〒839-0744 富山県下新川郡朝日町平柳150-1
(有)坂東電器
TEL 0765-83-0066 FAX 0765-83-1174

富士通株式会社 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留サービスセンター
●ハードウェアの故障・修理のご相談窓口

故障や修理に関する受付窓口
0120-926-220 (通話料無料)
※受付時間9:00~19:00 (システムメンテナンス日などを除く)
携帯電話、PHS、IP電話などからのご利用
045-514-2260 (通話料お客様負担)
※受付時間9:00~17:00 (システムメンテナンス日などを除く)

※保証書はお買主様のみがご所有ください。紛失の際はご報告ください。

本保証書は、保証期間中、裏面の「無料修理規定」に定める範囲で本製品を無料で修理することを約束するものです。<必ず裏面をご覧ください。>
本保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間終了後の修理等、アフターサービスについてご不明な点は、本保証書記載の修理受付窓口またはお買い上げの販売店/販売会社へお問い合わせください。

FMV延長保証制度 保証書

保証の対象となるFMVシリーズパソコン

お客様のお名前(姓のみ) 鹿熊様	受付番号 189165
商品名 LIFEBOOKAH42/B2	型名 FMVA42B2B
製造番号 R7X00019	申込み番号 8011519292
お買上日 2018年1月20日	お買上金額 108,000円 (税込)
販売店名 (有) 坂東電器	販売店コード 61191

弊店（以下「甲」といいます。）におきましてお買上いただきました上記商品が、お買上日から3年間、故障・破損・火災等の偶然的事故により損害を受けた場合、下記「FMV延長保証規約」に基づき、保証を受けることができます。

FMV延長保証規約

（保証）

第1条 (株)富士通パーソナルズ（以下「乙」といいます。）は、上記「保証の対象となる商品」（以下「保証対象商品」といいます。）について下記各号の定めのとおり保証いたします。

- (1) 故障 — 保証期間中に取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書に従った使用状態で故障が発生した場合、乙の定める条件によって修理いたします。
- (2) 火災・盗難・破損 — 保証期間中に日本国内で火災・盗難・偶然的破損事故にあわれた場合、乙の定める条件によって修理いたします。

（保証の請求権者）

第2条 保証の請求権者は、上記製造番号のパソコンを所有する「お客様のお名前」欄に記載がある保証対象商品のお買上者（以下「丙」といいます。）とします。

（保証期間）

第3条 保証期間は、保証対象商品をお買上げいただいた日から3年目の応答日の午前0時までとし、丙は保証対象商品を引取った時点から保証を受けることができます。

（保証の対象となる商品とその範囲）

第4条 保証の対象となる商品は、保証対象商品の機器本体及び同梱の純正ディスプレイ、キーボード、マウスとします。

（保証が受けられない場合）

第5条 次の各号に該当する場合は、丙は保証を受けることはできません。

- ① 第3条に定める保証期間外の事故
- ② 故障、重過失、誤用、乱用および取扱い不注意による故障および損傷
- ③ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ④ 甲および乙の了解なく他社で修理された場合
- ⑤ 地震、噴火その他の天災事象による故障および損傷
- ⑥ コンピュータプログラム、インプットデータ等ソフトに関する損害
- ⑦ 自然の消耗、さび・かび・むれ・変質・ねずみ食い、虫食いによる損害
- ⑧ 戦争・暴動または公共機関による差押え・撤去・破壊による損害
- ⑨ 塵忘れ・紛失による損害
- ⑩ 核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された物の放射性、爆発性、その他の有害な特性またはこれらの特性による事故
- ⑪ 部品交換の伴わない事故による損害

（保証限度額）

第6条 乙が保証する限度額は下記のとおりとします。

- (1) お買上日から1年後の応答日の午前0時まで・・・お買上金額の100%または10万円のいずれか低い金額
- (2) お買上日から2年後の応答日の午前0時まで・・・お買上金額の70%または7万円のいずれか低い金額
- (3) お買上日から3年後の応答日の午前0時まで・・・お買上金額の50%または5万円のいずれか低い金額

（請求方法）

第7条 万一事故が発生した場合は、丙は速やかに甲に報告するものとします。事故報告が不当に遅延した場合でかつ事故の確認がとれない場合は、

第1条に基づく保証を受けることはできません。

2. 第1条に基づく保証の請求には、丙は、下記の書類を甲に提出するものとします。

- (1) 「メーカー保証書」
- (2) 火災事故の場合、罹災証明書
- (3) 盗難事故の場合、警察への盗難届出書（受理番号の記載のあるもの）

（丙の自己負担額）

第8条 1回の事故による保証につき、メーカー保証の対象となる事故を除き、10,000円の自己負担をいただくものとします。

（禁止事項）

第9条 丙は、本規定に定める地位もしくは権利を第三者に譲渡、質入れまたは担保提供の行為を行うことはできません。

2. 保証対象商品が第三者に譲渡された場合は、保証対象商品の譲受人がFMV延長保証制度を利用することはできません。

（損害保険契約の締結）

第10条 乙は、「FMV延長保証制度」の運用に伴い、東京海上日動火災保険㈱と丙を被保険者とする動産総合保険契約を締結いたします。

（保険金の代理受領）

第11条 動産総合保険契約により支払われる保険金は、原則として、丙の指図により甲に支払うものとします。

（準則）

第12条 本FMV延長保証規約に定めのない事項が生じた場合、甲および乙は信義に反せず誠実にお取扱いを決定いたします。

2. 本FMV延長保証規約に定めのない事項については日本国の法令の定めるところに従います。

お取扱店印

〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳160-1

(有) 坂 東 電 器

TEL 0765-83-0066 FAX 0765-83-1174



2750		02_研修費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年12月1日	から		
平成 29年12月31日	まで	高速代	(備考)
調査の内容		経費の内訳	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × km =	0		
リース車 @18 × km =	0		
有料道	10550		
駐車場		計	10550
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 2月 26日
 決裁 平成 30年 2月 26日
 処理 平成 30年 2月 27日



2474		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年12月3日 から	講演		
平成 年 月 日 まで	「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」講演会(別紙)	自宅-朝日IC-富山IC- ポルファートとやま-富山IC -朝日IC-自宅	
ポルファートとやま			
経費内訳			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場	320	計	4760
(領収書貼付枠) (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			
(株)富山北モータープール TEL 076(433)0071			
領収証			
精算機 #01	A 精算No.000164		
発券機 #11	発券No.061214		
入庫時刻	2017年12月 3日(日) 09:34		
精算時刻	2017年12月 3日(日) 11:59		
駐車時間	2:25		
駐車料金	H料金 540円		
店008	I料金 -220円		
合計	320円		
現金領収額	320円		
お預り	1,000円		
お釣り	680円		
またのご利用をお待ちしております。			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数(Km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 1 月 29 日
 決裁 平成 30年 1 月 30 日
 処理 平成 30年 1 月 30 日



2475		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成29年12月4日	から	調査活動			
平成 年 月 日	まで	管内における台風21号の被害状況と復旧対応について、両事務所でヒヤリングを行う。		自宅—入善土木事務所—新川農林振興センター—黒部IC—朝日IC—自宅	
入善土木事務所 新川農林振興センター					
経費内容		金額		合計	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 45 km =	1665			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				1665	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30年 / 1月 29日
 決裁 平成 30年 / 1月 30日
 処理 平成 30年 / 1月 30日



2476		01_調査研究費	01_調査研究費 - 02_研修費 03_広聴広報費 - 04_要請陳情等活動費
平成29年12月10日 から		講演	
平成 年 月 日 まで		「地方から考える日本の未来」と題する講演会（別紙）	自宅ー黒部ICー富山ICー 県民会館ー富山ICー朝日 ICー自宅
県民会館			
経費の内容		金額	
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日



2477		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成29年12月14日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	議会基本条例の素案について、論点整理のための調査を行う。	自宅ー県議会ー滑川ICー黒部ICー自宅
県議会			
①内容		金額	②内容
鉄道・バス			宿泊料
タクシー			食事代
航空機			会費
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場			
		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年1月29日
 決裁 平成30年1月30日
 処理 平成30年1月30日

2478		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 29年12月18日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	1. 山村振興議員連盟の予算要望について内容の検討を行う。2. 関電ルートの旅行商品化に関する事柄について調査する。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-富山IC-入善IC-自宅
県議会			
経費の名称	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 1 月 29 日
 決裁 平成 30 年 1 月 30 日
 処理 平成 30 年 1 月 30 日



2479		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成 29年12月19日	から		調査活動		
平成 年 月 日	まで	1. 議会基本条例制定に関わる第7回 検討会議に向けた事前の検討を行う。 2. 山村振興議連の要望に関して2回 目の検討を行う。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
県議会					
経費の項目		金額		経費の項目	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場				計	
				4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 1月 29日
 決裁 平成 30年 1月 30日
 処理 平成 30年 1月 30日



2757		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月9日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	・新川農林振興センター、新川土木センターにおいて、台風21号被害の復旧計画等についてヒヤリングを行う。 ・県議会において議会基本条例案の内容について検討する。	自宅ー朝日ICー魚津ICー新川農林振興センターー新川土木センターー魚津ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅
新川農林振興センター 新川土木センター 県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 130 km =	4810	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4810
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

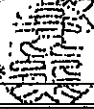
收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日



2752		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年1月11日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		山村振興議員連盟の知事への要望事項 (1月19日)について理事会を開催し、 当局からヒヤリングをして検討する。		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-入善IC -自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日



2753		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月12日	から	意見交換	
平成 年 月 日	まで	県山林協会役員から平成30年度予算要望について説明を受けた後意見交換を行う。	自宅-朝日IC-流杉IC- 県議会-富山IC-入善IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
【領収書貼付枠】 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日

平成 29 年 12 月 1 日

自由民主党富山県議会議員会

様

富山県林政連盟

会長

平成 30 年度林業関係事業の要望について

初冬の候、貴台にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より、森林、林業、木材産業の振興のため、格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成 30 年度の予算編成にあたり、林業行政に係る諸問題についてのご高見を拝聴いたしたく下記にて懇談会を開催しますので、ご多用中のところ誠に恐縮に存じますがご出席方よろしくお願い申し上げます。

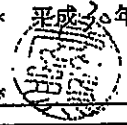
記

1. 日 時 平成 30 年 1 月 12 日 (金) 午前 11 時 50 分～

2. 場 所 富山県民会館 302 会議室
(電話 076-432-3111 代)

昼食を準備しています。

なお、出欠のご返事を別紙の FAX 用紙でいただきたくお願いいたします。



2754		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月16日	から	調査活動	
平成30年1月17日	まで	朝日町の取り組む事業に関し、町長他町職員、議長等と共に、視察並びに関係者との意見交換を行い、課題や県政からの支援策等について調査検討を行う。	別紙
京都市、福山市、大阪市			
鉄道・バス	33560	宿泊料	9500
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × km =	0		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	43060
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>			
<p>別紙</p>			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日

領収書 鹿熊正 様

領収年月日 2018.-1.11

金額 ¥33,560-

上記金額確かに領収いたしました。

購入内容 JR乗車券類発行

原券番号 -00000

あいの風とやま鉄道株式会社

泊駅発行 71-01580

印紙税申告納
付につき富山
税務署承認済

領 収 書

No.000501114 精-03 18/01/16 14:54

[チェックイン]

部屋番号 1122

ご利用期間 2018/01/16~2018/01/17

ご利用日 2018/01/16

かまやか 様

ご請求額 9,500円

ご入金額 10,000円
おつり 500円

上記金額を現金にて領収致しました

◆ ご利用明細 ◆

室料(1泊分) 9,500円
総合計 9,500円

ごゆっくりおくつろぎください

リッチモンドホテル福山駅前

広島県福山市東桜町1-1


TEL.084-973-8030

FAX.084-973-8028

印紙税申告納
付につき玉川
税務署承認済

県外・海外政務活動報告書

平成30年2月26日

整理番号	2754	会派・議員名	
活動名称	調査活動		
目的	朝日町の取組も事業に関し、町長・議長と共に、視察先に関係者との意見交換を行い、課題や景政への支援策等について調査検討を行う。		
日程	平成30年1月16日(火)～平成30年1月17日(水)		
場所 <small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small>	京都看護大学(京都市)、キエック株式会社(福山市) 富山県大阪事務所、関西医薬品協会他		
相手方等 <small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small>	別紙の別紙に		
<p>行程・活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 行程は別紙。 ○ 活動内容 <ol style="list-style-type: none"> ① 京都看護大学 … 理事長及び学長等と朝日町の看護師養成に関する協定やデータセンターの設置等について意見交換を行い、大学の施設を視察する。 ② キエック … 朝日町に立地(仮)の事業状況等について社長等と意見交換を行う。 ③ 大阪事務所 … 朝日町と富山県への観光客や企業の新設など、関西との経済交流の実情等について意見交換を行う。 ④ 関西医薬品協会 … 関西医薬品企業、富山県と朝日町の立地の見直し等について意見交換を行う。 ⑤ 西鉄旅行 … 富山県と朝日町の観光客や修学旅行の誘致について意見交換を行う。 			

※日帰りの政務活動を含む。



学校法人 京都市英館

理事長 松尾英孝

京都看護大学
〒604-8845
京都市中京区壬生東高田町1-21
TEL 075-311-0123
FAX 075-311-2002
携帯 [REDACTED]

苫小牧駒澤大学 開設準備室
〒059-0998
北海道白老郡白老町緑丘4丁目676番地
北海道栄高等学校内
TEL 0144-82-2185
大平成30年4月開学予定



近畿道 五箇山合衆道場



富山県大阪事務所
所長 酒井 勝

〒550-0004 大阪市西区報本町1-9-15 近畿富山会館3F
TEL 06-6446-2811
FAX 06-6446-2611
E-mail: [REDACTED]



京都看護大学

豊田 久美子
学長

President / Keio college of nursing
Kumiko Toyoda
mail: [REDACTED]
tel:075-311-0123 fax:075-311-2002

一般財団法人近畿富山会館
管理部

主任 [REDACTED]

〒550-0004
大阪市西区報本町1-9-15
TEL: 06-6446-9181
FAX: 06-6446-1898
E-mail: [REDACTED]



関西医薬品協会
Kansai Pharmaceutical Industries Association

理事長

國枝 卓
KUNIEDA TAKASHI

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目4番6号
TEL: 06(6231)9191(代表)
FAX: 06(6231)9195
http://www.kpia.jp
E-mail: [REDACTED]



関西医薬品協会
常務理事

薬学博士 山岸正文

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目4番6号
TEL: 06(6231)9191(代表) http://www.kpia.jp
FAX: 06(6231)9195 E-mail: [REDACTED]



西鉄旅行株式会社
NISHITETSU TRAVEL CO., LTD.

関西営業部
副部長



まさに、夢を描こう。

Nishitetsu Group

〒541-0043
大阪市中央区高麗橋3-2-7(ORIX高麗橋ビル8階)
TEL 06-6231-1795 FAX 06-6222-6466
e-mail: [REDACTED]
http://www.nishitetsutavel.jp/



西鉄旅行株式会社
NISHITETSU TRAVEL CO., LTD.

関西営業部 関西団体支店
支店長代理



まさに、夢を描こう。

Nishitetsu Group

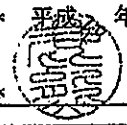
〒541-0043
大阪市中央区高麗橋3-2-7(ORIX高麗橋ビル8階)
TEL 06-6222-2791 FAX 06-6228-2457
e-mail: [REDACTED]
https://www.nishitetsutavel.jp/



2755		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月18日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	・議会基本条例案について検討する。 ・県内の看護師の需給見通しについて担当課長からヒヤリングをする。 また、認定看護師、専門看護師の養成計画について調査する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日



2156		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年1月19日 から		調査活動、要請活動			
平成 年 月 日 まで		<ul style="list-style-type: none"> ・経済建設部会において、代表質問について検討する。 ・山村振興議員連盟による平成30年度要望を知事に行う。 ・県土地改良団体連合会役員と意見交換を行う。 		自宅-県議会-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日

平成29年12月20日

自由民主党政務調査会
経済建設部会員各位

自由民主党政務調査会
経済建設部長 永森 直人

経済建設部会の開催について

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご出席願います。

記

1 日時 平成30年1月19日(金) 議員総会終了後

2 場所 議事堂 2階 自民党控室内会議室

3 協議事項

(1) 平成30年度県予算に関する要望について

(企画委員会・党折衝に向け、政府予算案、11/28 知事要望書
提出後の状況を踏まえての検討)

(2) 2月定例会代表・総括質問項目について

(3) その他

※ 欠席の場合は、自民党控室へご連絡願います。(Tel.076-431-5244)

(参考) 当日のスケジュール

10:00 自民党役員会

(議事堂特別室)

10:45 自民党議員総会【昼食付】

(議事堂第2委員会室)

上記終了後 経済建設部会

(自民党控室内会議室)

13:45 山村振興議員連盟知事要望

(知事応接室)



2757		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月22日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	・平成30年度に黒部市で建設予定の鳥獣処理施設の概要（事業主体、予算規模、事業見通し等）について担当課長からヒヤリングを行う。	自宅ー黒部ICー滑川ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅
県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》（原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。）			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日



2758			01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成30年1月29日	から	調査活動		
平成 年 月 日	まで	・中山間地域振興に関する勉強会を開催し、その後、中山間地域振興推進本部会議を開催しこれまでの経緯と今後の取組みについて意見交換を行う。		自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅
県議会				
経費の内容	数量	単価	金額	合計
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =			4440
リース車	@18 × km =			0
有料道				
駐車場			計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日

平成30年1月9日

自由民主党富山県議会議員会
所 属 議 員 各 位

中山間地域振興条例（仮称）検討プロジェクトチーム
座 長 宮 本 光 明

**中山間地域の振興に関する講演会および意見交換会の
開催について**

このことについて、下記のとおり開催しますので、ご案内します。
記

2. 日程等 1月29日（月）
13:30～ **講演会**
(県議会議事堂2階大会議室)
15:00 (休憩)
15:15～ **講師と自民党議員との意見交換会**
(県議会議事堂2階大会議室)
※1時間程度を予定
3. 講 師 NPO法人ローカル・グランドデザイン理事
坂本 誠 氏（プロフィール別紙）
4. 演 題 『中山間地域における地域社会の「空洞化」と対応策の検討』
5. 出席者 (講演会および意見交換会)
自民党議員
(講演会のみ)
グリーンツーリズムとやま
県の関係部局職員
市町村の関係職員
- ※このほか報道関係者へ開催を案内します。



2759		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年1月30日 から		調査活動(意見交換)			
平成 年 月 日 まで		企画委員会において、知事他執行部と、平成30年度予算並びに県政全般について、意見交換を行う。		自宅-県議会-自宅	
県議会					
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計 4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 2月 26日
 決裁 平成 30年 2月 26日
 処理 平成 30年 2月 27日



2760					
03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
ホームページポスティング (1月分)					
			8467		80%
			8467		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を偽し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005605

鹿熊 正一 様 平成 30 年 2 月 13 日

¥ 10,584 -

但し、上記の金額正に領収いたしました。

HP株式会社 印刷

代表取締役 鹿熊 正一

〒330-0812 埼玉県川口市大宮1-1-1

内	印刷物代金	¥
取	消 費 税	¥

取 扱 者 印

收受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日



2761

03_広聴広報費

01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費
06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費

かくま正一通信 (NO.32) 発行並びに郵送

レイアウト及び印刷代 500部	156600
郵送料 31部	6642
	163242

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日

領収書 00602

鹿熊正一様

2018. 2. 14

¥156,600-



領収書

毎度ありがとうございます

様

[販売]		
森の贈りもの第1集・82	820円 8枚	¥6,560 80枚
日本の建築シリーズ第3集	82円 1枚	¥82
小計		¥6,642
課税計		¥0
(内消費税等)		¥0
非課税計		¥6,642
合計		¥6,642
お預り金額		¥10,642
おつり		¥4,000

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時：2018年 2月13日 10:01
担当：[REDACTED]
発行No. 180213J3444 端N03箱01
連絡先：朝日桜町郵便局
TEL:0765-83-0911

政策を磨く

●随時勉強会を開催
メタハイドレートに
ついて勉強会 (7/23)



青山千早農林大学校教授

●県農協中央会役員
との意見交換 (9/14)



伊原会長の説明

●政調5部会と関係
団体との意見交換 (9/20)



自民党経済政策部会

●県医師会役員との
意見交換 (9/25)



原副会長の説明

●県栄養士会役員
との意見交換 (12/1)



西田友樹部長から私に、石黒会長から政野郎
会長に感謝状の手交

●各市町村の商工
会長等と意見交換 (12/5)



石黒農工産会会長の説明

●その他

10/20 県内市町村自民党
政調会長会議

11/16 県建設業協会役員との
意見交換

H30
1/15 県山林協会役員との
意見交換

11/15 県歯科医師会役員との
意見交換

11/29 県漁道役員との
意見交換

H30
1/19 県土改連役員との
意見交換

自民党議員会は、これらの
意見交換会により把握した課
題等を整理し、政調パツケー
ジとして、知事に提議・要望を
行い、県政に反映するよう努め
ています。また、事務によっては、
国に對し要望します。

現場を歩く

●台風21号被害を受け、
自民党議員会、知事に緊急要望

要望項目
被災した蓮池、河川、
砂防、落石、嵐山用
崩落等の早期復旧
被災した農林水産事
業に對する緊急農
産物の支援



10/27 知事への
緊急要望

知事は、11月県議会において、災害復旧等事業費として1,347,150千円、及び農業・漁業被害に對する特別融資枠の増正予算を提案し、可決されました。

知事政進

●新川地域推進協議会、知事に新川地区の
課題前進のための要望 (8/22)

**主な
要望項目**
国道8号入替・黒部ハ
イパス環濶化船尾坂
あいの風とやま鉄道の
有償化向上
有償化反対派の推進
等



石井知事に要望

●自民党代表質問 (6/13)



主な質問項目
○県内中小企業の事業継続時間について
○地産におけるバス路線等生活路線の復
活について
○北朝野議員に對する総務管理について
○県立高校の再編について
○中山間地域の開発について
○特別定住区域の開発について

質問と答弁の詳細は、富山県議会のHPに掲載されていますのでご参照ければ
幸いです。ここでは、質疑項目に関連して2点、報告します。

「畜畜畜」について
県は、全国でコメの新品種が相次いでデビューし産地競争が激しくなる中で、「畜畜畜」の生産者に登録制度を
採用し、栽培技術や出荷基準の定めた高品質な生産を徹底することとしました。平成30年度「畜畜畜」の登録
生産者には、消費券・実需者から販売について高い評価が得られるように期待します。

H30産「畜畜畜」生産者登録申請状況 全 体：申請者数 489 申請面積 535ha
JAのみ数：申請者数 36 申請面積 62ha
029-122-8840

●立高校再編議論について
私は、H28の2月議会予算特別委員会、H28の11月議会一般質問、H29の6月議会自民党代表質問の3回、県立
高校再編をテーマとし、小規模校の存在意義、高校生への学びと地方創生との強い関係性、環境の恵みを受け育つ
名、丁寧な教育に注目を促してまいりました。しかし、H30.1.19、県立高校教育協議会開催は、知事に、泊高校を含む4校の
統合・廃校を容許しました。これは、「小規模校を再編対象とする」との方針を、前期協議会を定めた時点（10年前）
から不変の路線としていた、と驚かざるを得ません。大胆な、柔軟性、時代が求める教育刷新等といった利点をなく
確立したものの考え方を覆います。今後は、石井知事の責任、覚悟を問うていきます。

●自民党議員会、知事に平成30年度県政重要課題提言及び予算要望 (11/28)



4月以降のあいせつ
A 石井知事のあいせつ

4月から行ってきてきた自民党議員会や各議員の様々な活動の成果を報告し、政研パツ
ケージとして知事に進呈要望。これは県民の声を整理したものであり、県議会への積極
的導入を知事に力強く申し入れました。

この進呈要望が平成30年度の総議にどのように反
映されるかは、2月県議に行われる自民党議員会と
知事との予算折衝で決着することとなります。



2762	
07_資料購入費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
新聞代金(2月分)	
高山新聞	3060 /
北日本新聞、日経新聞	7072 /
読売新聞	3093 /
	13225

《領収書貼付枠》



領収書

区 域	全 戸 数	お問い合わせ先
34	86.00	1899

※別紙に整理すること。)

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

30年 1 月分

84-8305

銘 柄	部 数	金 額
1 読売新聞	1	3,093
2		
3		
合 計		3,093 円

◇左記の通り領収しました

領収日 30年 2月 2日

便利な自動振替受付中！手数料はいりません
Y C 泊
富山県下新川郡朝日町泊318



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

19 30-01-31	新聞代金	*7,072	
20 30-02-02	...	*3,060	トヤマシブカン

収受 平成 30年 2月 26日
決裁 平成 30年 2月 26日
処理 平成 30年 2月 27日



2763	
08_事務所費	01_調査研究費 02_研修費 03_広報広報費 04_要請陳情等活動費 05_会議費 06_資料作成費 07_資料購入費 08_事務所費 09_事務費 10_人件費
電気料金(1月分) 事務所賃借料(2月分)	

電気料金(1月分)	2875	/		50%
事務所賃借料(2月分)	15000	/		50%
	17875			

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

6 D30-2-8 電気料金 5,750 ネットバンク



お取扱日	取扱金庫	店番	通番
30-02-02	1405005	-	+133
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額	お取引金額		
003000000000	¥30,000*		
お取扱内容	お取引後の金額		
お振込	¥0		
手数料	¥0	ページ	硬貨
時刻	12:32		おつり
2月分家賃			
カクマサカス コウエイカイ様			
TEL0765-82-1333			
ご利用ありがとうございました。			

ネットバンクサービスご利用明細票



收受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日

政務活動費対象事業実績報告書

報告日* 平成30年2月26日

報告者*



2764					
09_事務費	01_調査研究費 08_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広報広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
コピー用紙代 インク代					
コピー用紙代		416	/		50%
インク代		1782	/		50%
		2198	/		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2018/02/08(木) 09:31
担当 : [REDACTED]

■ 令頁以又言正 ■

文具	184	
2002000004932		
② 文具	10-用紙(A4)	454
2002000004932		} 932
③ 文具	10-用紙(B5)	
2002000004932		
.....		
合計	¥1,016	
お預り	¥5,016	
	(消費税等 ¥75)	
	(お買上げ点数 3)	
お釣り	¥4,000	

Tカード番号 ***** [REDACTED]
付与ポイント合計 : [REDACTED]
(通常付与ポイント : [REDACTED])
(キャンペーンポイント : [REDACTED])
利用ポイント : [REDACTED]
利用可能ポイント : [REDACTED]

本日付与されたポイントは3日目以降に反映されます。有効期限切れ等の理由で、Tカードにポイントが加算されないことがあります。詳細はwww.tsite.jpにてご確認ください。

レシートNo. 00170631 店 4213-01



000042130100170631

MEIBUNDO

明文堂書店 朝日店
Tel : 0765-83-3223
2018/02/14(水) 14:46
担当 : [REDACTED]

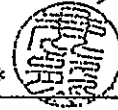
■ 令頁以又言正 ■

文具	10-用紙	3,564
2002000004932		
.....		
合計	¥3,564	
お預り	¥5,000	
	(消費税等 ¥264)	
	(お買上げ点数 1)	
お釣り	¥1,436	

レシートNo. 00170992 店 4213-01



000042130100170992



経理番号	2995		
使途項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費	
内容	かくま正一通信 (NO. 33) 制作費・印刷製本費		
上記事業に要した経費	経の内容	金額(円)	備考
		105840	
	合 計	105840	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

領 収 証

No. _____

鹿熊正一様

平成30年3月29日

★ 105,840円

但 かつ正一通信NO.33制作費の熊正会正啓様
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

熊正会



振込金受取書(兼振込手数料受取書)

預金払戻請求書による振込受付書(兼振込手数料受取書)
 預金口座振替 (該当しない方を二条線により抹消する。)

お願い
 ●振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。この時刻以降のお受付分は、翌営業日のお取扱いとなることとありますのでご了承ください。

ご注意
 ●電信扱の場合には、受取人名等をカナ文字で送信いたします。
 ●ご記入相違などの不備がありました場合には、照会等のために、振込が遅延することがあります。
 ●やむを得ない事由による通信機器回線の障害等によって振込が遅延することがありましても当金庫は責任を負いません。

定期的に、決まった先へ決まった金額をお振込になる場合には、「自動送金システム」をご利用頂くと大変便利です。どうぞ取扱店窓口までお申し出ください。

振込金として現金または有価証券(当座小切手等)を受領した場合は、「振込金受取書(兼手数料受取書)」、預金払戻請求書による場合は、「振込受付書(兼手数料受取書)」として使用しています。

収入印紙
 金額外且つ5万円
 (振込金+手数料)
 以上貼付

※口座振替の時是不課

振替(相手)内容
 当() 他()

にいかお信用金庫



取扱店

当金庫をご利用くださりましてありがとうございます。
 今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

年 10 月 13 日 11 時 16 分 にいかお信用金庫 桜井支店		電 信 扱 現金振替 324
1. 普通 ② 当座 4. 貯蓄 9. その他 0100114		金額 十 萬 千 百 拾 円 ￥ 105840
フリガナ おなまえ 株式会社 すかべの印刷 様	フリガナ おなまえ エフセイカイ 熊正会 様	手数料には消費税が含まれています。
おところ 電話 (0765) 54-0112 黒部市若栗 2630	おところ 電話 (0765) 82-1333 朝日町沼保 97701	

政策を語る

● 随時勉強会を開催
メタンハイドレートに
ついて勉強会



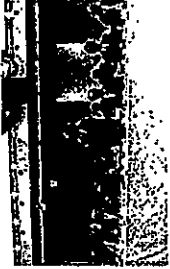
青山学院大学産学協会の勉強会

● 泉嶽崎中央会役員
との意見交換



伊藤会長の説明

● 各市町村の商工
会長等と意見交換



石井副市長と各会長の説明

● その他

9/25 県医師会役員との
意見交換

11/29 県漁連役員との
意見交換

120
1/15 県山林協会役員との
意見交換

11/15 県産科医師会役員との
意見交換

12/1 県栄養士会役員との
意見交換

120
1/19 県土改選役員との
意見交換

11/16 県建設業協会役員との
意見交換

自民党議員会は、これらの
意見交換会により把握した課
員等を精査し、政策パッケージ
として、知事・知事補・県政を
行い、県政に反映するよう努め
ています。また、事例によって
は、画一に押し廻し願います。

現場を歩く

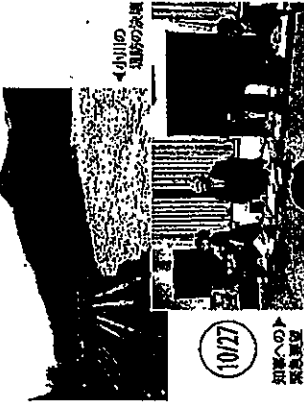
● 台風21号被害を受け、
自民党議員会、知事に緊急要望

要望項目

被災した漁船、羽川
砂防、沼津、鹿島川
施設等の早期復旧

被災した県営水産養
殖場に対する緊急救
済等の支援

10/23



10/27

知事への
緊急要望

知事は、11月県議会において、災害復旧等事業費として1,347,150千円、及び産業・漁業被害に対する特別対策
枠の補正予算を提案し、可決されました。

知事政見

● 新川地域推進協議会、知事に新川地区の
課題前進のため要望

主な要望項目

西海8号入倉・黒川パイプライン推進促進

海岸道路整備促進

地域医療体制の充実

有事高齢者対策の推進



石井知事に要望

8/22

● 自民党代表質問 6/13



主な質問項目

- ◎ 県内中小企業の事業承継問題について
- ◎ 県産品改革と長崎県産品の公正等に
ついて
- ◎ 県産品の流通改善と販路管理につ
いて
- ◎ 県がなぜ若づくりと林業の発展につ
いて
- ◎ 中山間地域の振興について
- ◎ 「高富富」の品質向上等について
- ◎ 地域におけるバス路線等生活路
線の確保について
- ◎ 北朝鮮情勢に関する危機管理に
ついて
- ◎ 県立高校の再編について
- ◎ 特別支援教育の充実について

質問と答弁の詳細は、新川県議会のHPに掲載されていますので参照ください。ここでは、質問項目に関連
して2点、報告します。

「富富富」について

県は、全国でユメの新品種が相次いでデビューし産地競争が激しくなる中で、「富富富」の生産者
に登録制度を採用し、栽培基準や出荷基準の要件を定め高品質な生産を徹底することとしました。平
成30年度「富富富」の登録生産者には、消費者・実需者から品質について高い評価が得られるよう
期待します。

H30産「富富富」生産者登録申請状況 全 体：登録予定者数 481 登録予定面積 531ha
JAみなと：登録予定者数 36 登録予定面積 70ha

県立高校再編議論について

私は、H28の2月議会予算特別委員会、H28の11月議会一般質問、H29の6月議会自民党代表質問
の3回、県立高校再編をテーマとし、小規模校の存在意義、高校生の学びと地方創生との深い関係性、
議論の進め方の問題点等を質問してきました。しかし、H30.2.5、県総合教育会議において、知事は、
泊瀬校を含む4校の統合・閉校方針を決定しました。議論の進め方に疑問は湧きますが、私は、今後、
閉校となる高校に在学する生徒一人一人への適切な教育や進路指導とならざるを得ない生徒への対
応、時代が求める高校教育のあり方等について、石井知事の責任と覚悟を問うていきます。

● 自民党議員会、知事と平成30年度
予算折衝

139
2/1

折衝の焦点である、主要員単独等予算は、平成30年度当初
予算14,900百万円、平成29年度2月補正予算1,700百万円、計
16,670百万円(対前年103.6%)で決着しました。また、その他
の68等予算において自民党議員会が力を入れた項目は、概ね予
算化されました。

折衝で決まった政策予算の一部

- ◎ 中小企業事業支援若者活性化事業費 …… 250百万円
- ◎ 発達障害者支援センター事業費 …… 170百万円
- ◎ とやまの産林水産物輸出促進事業費 …… 2,100百万円
- ◎ とやまの産林水産物輸出促進事業費 …… 2,100百万円
- ◎ 富山米ブランド力向上対策事業費 …… 1,200百万円
- ◎ 福祉人材確保事業費 …… 2,300百万円
- ◎ 県営高齢者住宅建設事業費 …… 17,300百万円
- ◎ バス利用促進事業費補助金 …… 840百万円





整理番号	2996		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年1月1日	から	活動の概要	高速代	
	平成30年1月31日	まで			
場所					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	km =	0		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道		13700			
駐車場			計		13700
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 23 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

ご利用年月日	ご利用店名	等級	ご利用金額(円)	お支払方法	金額	今回請求金額(円)	摘要
			座席 正一様				
		☆					
		☆					
18-1-9	ETC通行料金	☆	650	1回払	1	650 ETC 朝日	魚津 普通車
18-1-9	ETC通行料金	☆	440	1回払	1	440 ETC 朝日	朝日 普通車
18-1-9	ETC通行料金	☆	950	1回払	1	950 ETC 魚津	富山 普通車
18-1-11	ETC通行料金	☆	330	1回払	1	330 ETC 富山	入善 普通車
18-1-11	ETC通行料金	☆	440	1回払	1	440 ETC 朝日	富山 普通車
18-1-12	ETC通行料金	☆	260	1回払	1	260 ETC 朝日	朝日 普通車
18-1-12	ETC通行料金	☆	330	1回払	1	330 ETC 富山	入善スマー 普通車
18-1-18	ETC通行料金	☆	440	1回払	1	440 ETC 富山	朝日 普通車
18-1-18	ETC通行料金	☆	210	1回払	1	210 ETC 富山	富山 普通車
		☆					
		☆					
18-1-20	ETC通行料金	☆	440	1回払	1	440 ETC 富山	朝日 普通車
18-1-29	ETC通行料金	☆	210	1回払	1	210 ETC 富山	富山 普通車
			0290				
						19290	

※ポイント:今回ポイント獲得対象のご利用に☆等を表示、※お支払方法:お支払方法またはお支払回数を表示(ポ-ーボーナス1回払い・ポ-ーボーナス2回払い)。※今回回数:今回のお支払いが何回目かを表示、※摘要:ポ-ーボーナス払いのお支払い月など一部のご利用についてのご説明(海外でのご利用には現地通貨(通貨単位・換算レート)を表示、○は支払方法を変更できます。ただし一部ご変更にお応えできない場合がございます。

ご利用の履歴を詳しく確認するには、ご利用履歴のダウンロードをご利用ください。



2751		01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 30年1月9日	から	調査活動	
平成 年 月 日	まで	・新川農林振興センター、新川土木センターにおいて、台風21号被害の復旧計画等についてヒヤリングを行う。 ・県議会において議会基本条例案の内容について検討する。	自宅-朝日IC-魚津IC-新川農林振興センター-新川土木センター-魚津IC-富山IC-県議会-富山IC-朝日IC-自宅
新川農林振興センター 新川土木センター 県議会			
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車	@37 × 130 km =	4810	
リース車	@18 × km =	0	
有料道			
駐車場		計	4810
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日



号	2752	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
平成 30年1月11日	から	調査活動	
平成 年月 日	まで	山村振興議員連盟の知事への要望事項 (1月19日)について理事会を開催し、 当局からヒヤリングをして検討する。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-入善IC -自宅
県議会			
経費の名称	金額	経費の内容	金額
鉄道・バス		宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =	4440		
リース車 @18 × km =	0		
有料道			
駐車場		計	4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日

案内番号	2758	活動項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
開始日	平成30年1月12日	から	意見交換	
終了日	平成 年 月 日	まで	県山林協会役員から平成30年度予算要望について説明を受けた後意見交換を行う。	自宅-朝日IC-流杉IC- 県議会-富山IC-入善IC- 自宅
開催場所	県議会			
経費の種別	金額	経費の種別	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 2 月 26 日
 決裁 平成 30 年 2 月 26 日
 処理 平成 30 年 2 月 27 日

2755		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
平成30年1月18日 から		調査活動			
平成 年 月 日 まで		・議会基本条例案について検討する。 ・県内の看護師の需給見通しについて担当課長からヒヤリングをする。 また、認定看護師、専門看護師の養成計画について調査する。		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
県議会					
給費の内容		金額		給費の内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440			
リース車 @18 × km =		0			
有料道					
駐車場				計	
				4440	
《領収書貼付枠》		(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日



2758		01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費			
平成30年1月29日	から	調査活動					
平成 年 月 日	まで	・中山間地域振興に関する勉強会を開催し、その後、中山間地域振興推進本部会議を開催しこれまでの経緯と今後の取組みについて意見交換を行う。		自宅ー黒部ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅			
県議会							
経費の内容		金額		経費の内容		金額	
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車	@37 × 120 km =	4440					
リース車	@18 × km =	0					
有料道							
駐車場				計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)							

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

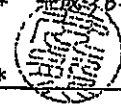
収受 平成30年2月26日
 決裁 平成30年2月26日
 処理 平成30年2月27日



管理番号	2997		経費項目	04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年2月1日	から	活動の概要	要請活動	
場所	県議会	まで	自民党議員会、平成30年度予算について、知事と折衝を行なう。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計	4440		
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



管理番号 <p style="font-size: 2em; text-align: center;">2998</p>		使途項目 01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間 平成30年2月15日 から 平成 年 月 日 まで		活動の概要 調査活動、講演会 ・役員会で、平成30年度予算についての概要説明を聴く。 ・富山県日中友好団体連合会主催の講演会が開催され、富坂 聰氏より「激変する習近平の中国と東アジア情勢」のテーマで講演を聴く。	
場所 県議会 富山第一ホテル		自宅-県議会・富山第一ホテル-自宅	
経費の内容 鉄道・バス		金額 宿泊料	
タクシー		食事代	
航空機		会費	
自家用車 @37 × 120 km =		4440	
リース車 @18 × km =		0	
有料道			
駐車場		計	
		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

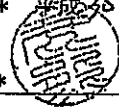
収受 平成30年3月22日
 決裁 平成30年3月28日
 処理 平成30年3月28日



整理番号	2999	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年2月16日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	3月16日の予算特別委員会において 中山間地域振興に関する質問を行なう に当たり、調査活動を行なう。	自宅ー県議会ー自宅	
経費の内容		金額	経費の内容	
鉄道・バス			宿泊料	
タクシー			食事代	
航空機			会費	
自家用車	@37 × 120 km =	4440		
リース車	@18 × km =	0		
有料道				
駐車場			計	
			4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



経費番号	3000		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年2月19日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	新年度予算のうち中山間地域振興に関する事業について調査する。具体的には、①集落の実態調査事業 ②サテライトオフィスの誘致事業等。	自宅ー魚津ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
場所	県議会				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



整理番号	3001		活動項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年2月20日	から	活動の概要	調査活動		
	平成 年 月 日	まで		①新年度予算の土地改良事業予算について、小水力発電事業、水管理のICT化事業について調査する。②中山間地域における再生可能エネルギーの可能性について調査する。		
場所	県議会		自宅-入善IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC- 自宅			
経費の内容			金額	経費の内容		金額
鉄道・バス				宿泊料		
タクシー				食事代		
航空機				会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440			
リース車	@18 ×	km =	0			
有料道						
駐車場				計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



整理番号	3002		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年2月21日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで		富山県議会日口友好議員連盟主催の勉強会に出席。別紙。	
場所	県議会		自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-魚津IC-朝日IC -自宅		
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

ロシアの東方政策と日露関係 日露交流年の課題

堀江 典生

富山大学経済地域研究センター

@富山県議会日露友好議員連盟勉強会

2018年2月21日(水) 14:30-15:40

富山県議会議事堂4階 第三委員会室



会計年度	2018	
使途番号	02_研修費	01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費
内容	第5回ペアものの集い 会場使用料 (内容及び講演資料は別紙)	
非課税に属した経費	ものの内容	金額(円)
		10900 後援会との共催 50%
	(合 計)	10900

【領収書貼付特】 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 朝日町鹿熊正一後援会 様 No. 3137

★ ￥21,800-

但会場使用料として

平成30年2月26日 上記正に領収いたしました

内 訳

取 入	税抜金額
印 紙	消費税額等(%)

有限会社 あさひふるさと創造社
代表取締役 南茂 常人



コクヨ ウケ-55

收受 平成30年3月22日
決裁 平成30年3月28日
処理 平成30年3月28日



第5回ベアもんの集い



ネーミングの由来

鹿熊先生の「熊」を英語の「ベア」に置き換え、人気のゆるキャラのように親しみやすく、活動的で、しかも「熊」が持つ毅然とした存在感をイメージしました。

次 第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 ピアノコンサート
～音のゆうびん～おしゃべり Quarto
浅井 康恵先生 他
- 4 来賓祝辞
- 5 講 演
講 師 鹿熊 正一 先生
- 6 質疑応答
- 7 休 憩
—お茶会準備—
- 8 お茶会・親睦会
- 9 夫人あいさつ
- 10 閉 会



～音のゆうびん～おしゃべり Quarto

2007年にピアノ講師仲間で結成
音の郵便を
保育所や高齢者施設・病院・子育てサークル等か
ら依頼を受け、届けていらっしやいます。



主な演奏曲

- トルコ行進曲
ピアニカアンサンブル
- 四季の歌メドレー
色々な楽器を使って
- ハンガリアン舞曲
ピアノ連弾
- もしもピアノが弾けたなら
ピアノ
- こぎりこ節
ハンドベル・手拍子
- 故郷（ふるさと）
全員合唱

鹿熊正一先生プロフィール

昭和52年 東京大学法学部卒業
衆議院法制局に入り、各分野の議員立法の立案に携わる

平成3年 富山県議会議員初当選 以来連続7期当選し現在に至る。
<議会> 建設企業常任委員長、新幹線・総合交通対策特別委員長、
予算特別委員長、議会運営委員長、県議会議長 歴任

<自民党> 議員会長、中山間地域振興対策推進本部長、医療問題調査会長
<自民党県連> 政務調査会長、幹事長、副会長を歴任

【座右の銘】 慎重敢為 【趣味】 サッカーをすること、観ること
【好物】 豆腐、カレー



日 時 平成30年2月24日(土) 13:00
会 場 なないろKAN

平成30年度富山県一般会計予算 ●ポイント

H30 5,487億55百万円 (H29 5,474億42百万円) +0.2% ↑ 14ヶ月予算5,692億円 +2.4%
 (H29 5,487億55百万円) +1.0% ↑

① 結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進
 ② 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ③ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ④ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など

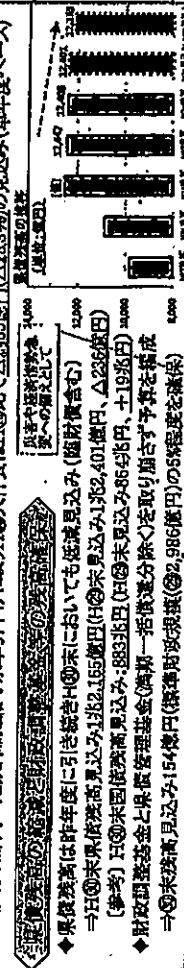
⑤ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ⑥ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ⑦ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ⑧ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ⑨ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
 ⑩ 産学連携による製品開発支援、ペイ内医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など

行政機関の削減

◆ 社会保険関係費は、H29(289億)に比べ、約2倍(H30(577億))となっており、今後も増加する見込み
 ◆ 県税収入は、企業収益の改善などにより増収となるが、リーマンショック以前の水準には未だ回復しない状況
 [県税の状況] H29当初1,319億円→H30当初1,335億円(増収)H30末1,351億円(増収)
 [県税の状況] H29当初1,319億円→H30当初1,335億円(増収)H30末1,351億円(増収)

◆ 地方財政対策において、地方一般財源総額は前年度を若干上回る額(+0.01%)が確保されるとともに、本県においては、税源の偏在を是正し地方消費財の消費を喚起しなどにより、実質的な一般財源は約9億円増加(+0.2%)
 ※実質的な一般財源(県税収入+地方交付税+地方交付税+地方交付税+地方交付税)H29(2,966億円)→H30(2,964億円)
 [職員数の削減]
 ◆ 一般行政部門…H29からH30までの10年間(H29)で削減目標20%(832人)を上回る21%(872人)の削減を達成
 ⇒ H30までで23%(955人)の削減見込み
 ◆ 普通会計…職員1,555人削減、人件費削減効果(H29)は約1,633億円の見込み(H30)は約1,633億円の削減見込み
 ◆ 一般行政部門…定数抑制と給与引下げによりH29人件費はH29比で約55億円の削減見込み(H29)は約1,633億円の削減見込み(H30)は約1,633億円の削減見込み

◆ 県債は昨年同様H29末においても減見込み(償還費含む)
 ⇒ H29末償還見込み1,165億円(H29末見込み1,362,401億円、△236億円)
 (参考) H29末償還見込み: 883億円(H29末見込み864,946円、△198億円) 償還見込み
 ◆ 財政調整基金と県債管理基金(前期一括償還分を除く)定額取り崩し予算を構成
 ⇒ ①未償還見込み154億円(前期償還効果(約2,986億円)の5%程度を確保)



「元気とやま」の創造とやま新時代へ 新たな挑戦

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

◆ 大当り予算で9年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額
 とするなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

★富山スタンダード…富山ならではの質の高い教育を行って
いくための特色ある取組みや環境整備

教育の振興 — 高等学校 —

高校教育のさらなる充実 (県立高校)

学習活動のさらなる充実 生徒指導・支援体制のさらなる充実

新 魅力と活力ある学校づくり推進事業 (1,300万円) ★
・各校の特色化に向けた教育活動を支援

対象校	校数	支援額	支援期間
再編統合する学校	4	60万円	4年間
再編統合先の学校	4	60万円	2年間
上記以外	24	30万円	1年間

新 新たな学び創造事業 (600万円) ★
・高校教育の変革に的確に対応できる授業改善
・拠点校18校を中心に実施し、全校に拡大

再編8校全てを拠点校に指定

拡 ICT教育推進事業 (4,946万円) ★
・ICT機器を活用した効果的な授業を推進
実施校:12校→27校
タブレット:480台→1,024台
再編8校全てに導入(新規6校、既存2校)

拡 とやまの高校グローバルチャレンジ事業 (840万円) ★
・海外有名大学等での現地研修拡充を支援
とやまの高校生留学促進事業 (685万円)

高校生郷土史・日本史学習教材の活用 (349万円) ★

新 県立学校のトイレ洋式化 (2月補正 4億7,000万円)
(2月補正 4億7,000万円)
・37年で生徒トイレを100%洋式化
①まず再編8校で整備
②次に洋式化の低い学校から順次整備

拡 武道場の改築 (2億2,800万円)
・改築:1校(富山工業高校)
・設計:2校(南砺福野高校、入善高校)
再編統合先の学校を優先して改築

拡 運動場等整備事業 (1億5,298万円)
・グラウンド:2校(南砺福野高校、富山高校)
・テニスコート:2校(富山北部高校、桜井高校)
再編統合先の学校を優先して整備

※高岡高校のグラウンド整備はH29実施中

拡 県立高等学校建設事業 (1億9,802万円)
・中央農業高校寄宿舎政策実施設計等
拡 学校修繕(全日制、定時制、特別支援) (8億2,000万円)

富山型キャリア教育の充実 (662万円) ★
・起業体験やインターンシップの推進など発達段階に応じたキャリア教育を充実

拡 高校スクールカウンセラーの配置 (1,771万円)
・再編8校を全て拠点校とし、配置時間を倍増
・再編校以外の高校も、配置時間を拡充
・拠点校を拡大し、きめ細かい対応(8校→16校)

拡 高校スクールソーシャルワーカーの派遣 (268万円)
・再編8校の派遣時間を倍増
・再編校以外の高校も、派遣時間を拡充
・拠点校を拡大し、きめ細かい対応(2校→4校)

新 部活動指導員配置促進事業 (352万円)
・部活動指導に係る教員の負担軽減と競技力の向上を図るため、県立高校に配置(10名)

高等学校等就学支援金等 (29億6,643万円)
拡 高校等奨学のための給付金 (2億3,739万円)
・低所得世帯の高校生に給付金を支給

新 発達障害教育支援事業 (174万円) ★
・各発達段階に応じたチェックリストの作成及び活用
・個別の教育支援計画の作成・活用マニュアルの作成
新 特別支援学校防犯対策事業 (1,300万円)

とやまの特別支援教育強化充実事業 (1,627万円) ★
・小中学校巡回指導員、高等学校巡回指導員による専門的な指導助言を実施
・理職教員の特別支援学校新設研修等

特別支援教育



整理番号	3004		
使途項目	03_広聴広報費 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費		
内容	ホームページホスティング代 (2月分)		
上記事項を記載した領収書	品名	金額(円)	備 考
		8467	80%
	合 計	8467	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証 005607

鹿熊 正一 様 平成 30 年 3 月 12 日

¥ 10,584 -

但し HPホスティング料 (2月分)
上記の金額正に領収いたしました。

株式会社 **あかの印刷**
代表取締役 **あかの印刷**
〒330-0022 豊田県豊田市中野町1-1-1 (054-0120)

取入印紙

取扱者印

内 訳	印刷物代金	¥
	消費税	¥

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



報告者*

管理番号	3005			事業年度																				
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費																		
内容	新聞代金(2月分)																							
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考																					
	富山新聞	3060	/																					
	北日読売新聞、日経新聞	7072	/																					
	読売新聞	3093	/																					
	(合計)	13225																						
《領収書貼付》	4 30-02-28	新聞代金	*7,072		ること。)																			
	5 30-03-02		*3,060	トヤマシンパン																				
領収書		<table border="1"> <tr> <th>区域</th> <th>全戸No.</th> <th>お問い合わせ先</th> </tr> <tr> <td>34</td> <td>86.00</td> <td>1899</td> </tr> </table>	区域	全戸No.	お問い合わせ先	34	86.00	1899																
区域	全戸No.	お問い合わせ先																						
34	86.00	1899																						
お名前 鹿熊 正一様																								
殿町1495																								
30年 2月分		84-8305																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>銘</th> <th>柄</th> <th>部数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>読売新聞</td> <td>1</td> <td>3,093</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>3,093 円</td> </tr> </tbody> </table>		銘	柄	部数	金額	1	読売新聞	1	3,093	2				3				合計			3,093 円	◇左記の通り領収しました		
銘	柄	部数	金額																					
1	読売新聞	1	3,093																					
2																								
3																								
合計			3,093 円																					
		領収日 年 月 日																						
便利な自動振替受付中！手数料はいりません YC泊 富山県下新川郡朝日町泊318																								
※裏面も合わせて内容を十分お読みください。																								

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

報告者*



整理番号	3006	事業番号	
使途項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費 08_事務所費
		05_会議費	09_事務費 10_人件費
内容	電気料金(2月分) 事務所賃借料(3月分)		
上記に要した経費	経費の内容	金額(円)	割合
	電気料金(2月分)	2721	50%
	事務所賃借料(3月分)	15000	50%
	合計	17721	

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

18 D30-3-9 電気料金 5,443 株式会社リョク

しんきんバンク

ネットキャッシュサービス取扱票
(ご利用明細票)

お取扱日	30-03-05	取扱金庫	1405005-ナ111
口座番号			
*****-*****-*****			
お取引金額	003000000000 ￥30,000*		
お取扱内容	お取引後の金額		
お振込	¥0		
手数料	¥0	ペーシ	硬貨
時刻	13:20	おつり	
様 3月分			
カクママサカス コウインカイ様			
TEL0765-82-1333			
ご利用ありがとうございました。			

この請求金額は、お取引金額をお預かりした金額から、手数料を引いた金額です。お振込金額と一致しない場合は、お振込金額を参照してください。

にいがた信用金庫

收受 平成 30年 3月 22日
 決裁 平成 30年 3月 28日
 処理 平成 30年 3月 28日



報告者*

経理番号	3007	事業年度	
用途項目	09_事務費	01_調査研究費 06_資料作成費	・02_研修費 ・07_資料購入費 ・03_広聴広報費 ・08_事務所費 ・04_要請陳情等活動費 ・09_事務費 ・05_会議費 ・10_人件費
内容	コピー用紙代 富士ゼロックストータルサービス料金		
上記事業に要した経費	用途の内容	金額(円)	割合
	コピー用紙代	690	50%
	ゼロックストータルサービス料金	17549	50%
	合計	18239	

《領収書貼付枠》。(原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

24 030-2-23

35,099 SMBC(株)ロックス

領収証
近くて便利の、その先へ



コメリハードアンドグリーン朝日店
0765-83-9025
2018年3月6日(火)14:00 0832-0001
4258
28*北用紙 A4 5個 x @298 ¥1,490
まとも値引BS 1回 -210
28*ふせん <75x15> B*75シート ¥100

小計 ¥1,380
(内消費税 8% ¥102) 6点
商品計
合計 ¥1,380
お預り ¥1,500
お釣り ¥120

6P



收受 平成 30 年 3 月 22 日
決裁 平成 30 年 3 月 28 日
処理 平成 30 年 3 月 28 日

熊正会

請求書

発行日: 2017年12月25日
請求書番号: 771222-00046Q4

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 8,445円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合せ番号: 3214039721 電話: 0120-069-840

【お知らせ】お客様のご請求への満足度向上活動を実施しております。お手数をおかけいたしますが、弊社サービスセンターまでご連絡の程よろしくお願いたします。

お支払約束日	2018年02月23日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	*****
本・支店名	*****
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

品名	期間	数量	単価	金額	合計
トータルサービス料金	2017/09/16-2017/12/15			7820	7820
ご使用合計				1564	
【代金/料金合計】					7820
消費税(8%)				625	
【今回ご請求額】					8445
※ご利用機種/機種番号: DocuCentre-III 2000 F 201753					
前回	2017/09/16-2017/12/15				
1	(44512)	(42939)	(9)	(0)	

15301 01108 3214039721 15 1222 0C0
A-000341 0000 3214039721 510 1NK 0000 10402000

31 備考:

HIF003

熊正会

請求書

発行日: 2017年12月19日
請求書番号: 771218-0006191

様

富士ゼロックス北陸



今回請求額 26,654円

毎度お引立を賜りありがとうございます。上記のとおりご請求申し上げます。
ご請求内容のお問い合わせ、ご請求の住所、郵便名、届け日の変更の際は、下記にご連絡をお願いいたします。

お問合せ番号: 3214039720 電話: 0120-069-840

【お知らせ】お客様のご請求への満足度向上活動を実施しております。お手数をおかけいたしますが、弊社サービスセンターまでご連絡の程よろしくお願いたします。

お支払約束日	2018年02月23日
お支払方法	口座振替(SMBCファイナンス)
金融機関名	*****
本・支店名	*****
預金種目/口座番号	*****
指定口座名	上記、お支払約束日に口座より引落しさせていただきます。

品名	期間	数量	単価	金額	合計
トータルサービス料金	2017/09/16-2017/12/15			24680	24680
ご使用合計				4936	
【代金/料金合計】					24680
消費税(8%)				1974	
【今回ご請求額】					26654
※ご利用機種/機種番号: DocuCentre-III 3000 F 201697					
前回	2017/09/16-2017/12/15				
1	(209506)	(204563)	(7)	(0)	

15301 01108 3214039720 15 1222 0C0

31 備考:



管理番号	3219		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年2月1日	から	活動の概要	高速代	
	平成30年2月28日	まで			
場所					
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	km =	0		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道			10130		
駐車場					
			計		10130
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月13日
 処理 平成30年4月16日



管理番号	2997		使途項目	04_要請陳情等活動費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年2月1日	から	活動の概要	要請活動	
		まで	自民党議員会、平成30年度予算について、知事と折衝を行なう。	自宅-朝日IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅	
場所	県議会				
経費の内容			金額	経費の内容	
鉄道・バス				宿泊料	
タクシー				食事代	
航空機				会費	
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場				計	
				4440	
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



整理番号	3000	使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年2月19日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	県議会	新年度予算のうち中山間地域振興に関する事業について調査する。具体的には、①集落の実態調査事業 ②サテライトオフィスの誘致事業等。	自宅ー魚津ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 120 km =	4440			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日

整理番号	3001		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年2月20日	から	活動の概要	調査活動		
	平成 年 月 日	まで				
場所	県議会		①新年度予算の土地改良事業予算について、小水力発電事業、水管理のICT化事業について調査する。②中山間地域における再生可能エネルギーの可能性について調査する。	自宅ー入善ICー富山ICー 県議会ー富山ICー朝日IC ー自宅		
経費の内容			金額	経費の内容		金額
鉄道・バス				宿泊料		
タクシー				食事代		
航空機				会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440			
リース車	@18 ×	km =	0			
有料道						
駐車場				計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>						

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数(km)をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



管理番号	3002		使途項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年2月21日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	富山県議会日口友好議員連盟主催の勉強会に出席。別紙。	自宅-朝日IC-富山IC-県議会-魚津IC-朝日IC-自宅	
場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計		4440	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 3 月 22 日
 決裁 平成 30 年 3 月 28 日
 処理 平成 30 年 3 月 28 日



管理番号	3220		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月1日	から	活動の概要	講演会	
	平成 年 月 日	まで	北アルプス横断道路構想推進会議講演会	自宅—新川文化ホール— 自宅	
場所	新川文化ホール				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 39 km =	1443			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		1443
<p>【領収書貼付枠】 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月13日
 処理 平成30年4月16日

平成30年1月17日

富山県議会
議員 鹿熊 正一 様

北アルプス横断道路構想推進会議
会長

北アルプス横断道路構想推進会議講演会開催のご案内

新春の候 貴職には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本県と長野県を直結する横断道路構想実現に向けて強力な運動を展開するため、県東部の市町村、議会、企業、団体等の皆様方から幅広く参画を得て、昨年11月22日に「北アルプス横断道路構想推進会議」が設立されました。

この度、今年度の事業として、講演会を下記により開催いたしますので、業務ご多端の折とは存じますが、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

記

- 1 期 日 平成30年3月1日(木)
午後2時～4時
- 2 会 場 新川文化ホール 201号室
魚津市宮津110 TEL: 0765-23-1123
- 3 講 演 講演者 株式会社熊谷組 相談役 大田 弘 氏
演題は未定ですが、富山県と長野県を結ぶ道路に関連するテーマの講演をしていただく予定です。

※出欠を、裏面様式によりFAXで2月21日(水)までに報告願います。

事務局 魚津市企画政策課 赤坂、浦田

TEL: 0765-23-1067

FAX: 0765-23-1054



整理番号	3221		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月5日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	予算特別委員会の質問に関する調査活動 ・サテライトオフィスの誘致関連 事項 ・田園サイクリング コース関連事項等	自宅ー朝日ICー富山ICー 県議会ー富山ICー黒部IC ー自宅	
場所	県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道・バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 120 km =	4440				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計	4440		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。 枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は
主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日



案番号	3222		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月13日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	1. 田園サイクリングコースの起点・終点である上市駅を視察し、整備の現状を調査する。 2. 予算特別委員会の質問に関する調査活動・新年度事業である中山間地域集落の実態調査事業についての事項他	自宅—富山地方鉄道上市駅—県議会—魚津IC—朝日IC—自宅	
場所	富山地方鉄道上市駅 県議会				
経費の内容	金額	経費の内容	金額		
鉄道：バス		宿泊料			
タクシー		食事代			
航空機		会費			
自家用車 @37 × 130 km =	4810				
リース車 @18 × km =	0				
有料道					
駐車場		計	4810		
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を枚し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日

決裁 平成 30 年 4 月 13 日

処理 平成 30 年 4 月 16 日



管理番号	0223		使途項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年3月17日	から	活動の概要	講演会	
	平成 年 月 日	まで	富山県防火・防災推進大会において、基調講演並びにパネルディスカッションを聴講する。	自宅-朝日IC-富山IC-県民会館-富山IC-黒部IC-自宅	
場所	富山県民会館				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 ×	120 km =	4440		
リース車	@18 ×	km =	0		
有料道					
駐車場			計		4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>					

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月13日
 処理 平成30年4月16日



管理番号	3224		経費項目	01_調査研究費 01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月19日	から	活動の概要	調査活動	
	平成 年 月 日	まで	常任委員会の質問に関する調査活動・富山県新世紀産業機構の業務内容の見直しに関する事項他	自宅ー黒部ICー富山ICー県議会ー富山ICー朝日ICー自宅	
場所	県議会				
経費の内容		金額	経費の内容		金額
鉄道・バス			宿泊料		
タクシー			食事代		
航空機			会費		
自家用車	@37 × 120 km =	4440			
リース車	@18 × km =	0			
有料道					
駐車場			計		4440
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)					

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日



管理番号	0225	使用項目	01_調査研究費	01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費
活動期間	平成30年3月26日 から 平成 年 月 日 まで	活動の概要	調査活動	
場所	魚津商工会議所、黒部商工会議所、入善町商工会、朝日町商工会	新川地域経済産業懇談会の開催に関し、別紙の各担当者に開催の趣旨説明を行い、併せて意見交換を行う。	自宅ー朝日ICー魚津ICー魚津商工会議所ー黒部商工会議所ー入善町商工会ー朝日町商工会ー自宅	
経費の内容	金額	経費の内容	金額	
鉄道・バス		宿泊料		
タクシー		食事代		
航空機		会費		
自家用車 @37 × 52 km =	1924			
リース車 @18 × km =	0			
有料道				
駐車場		計	1924	
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)				

- (注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。
- (注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。
- (注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

収受 平成 30 年 4 月 13 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日

《ご提案》

新川地域 経済・産業懇談会の開催についてのご提案

【目的】

地域経済・産業を取り巻く最近の情勢下、地元企業の課題や展望等
について実態を把握し県政に反映する。

【参加予定者】

《経済・産業界 12名前後》

魚津商工会議所会頭他役員、黒部商工会議所会頭他役員

入善町商工会長他役員、朝日町商工会長他役員

《新川地区選出県議会議員 5人》

《県当局に出席要請の予定》

【想定テーマ】

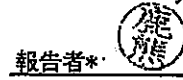
- ・人手不足
- ・生産性向上
- ・産業支援機関の必要性
- ・職業訓練等人材育成
- ・高校教育
- ・働き方改革等

【開催日等】

5月末までの平日を予定

開会時刻、会議終了後の懇親会等をご相談させて下さい

会場は、魚津か黒部のホテル



整理番号	3226		使用科目	01_調査研究費		01_調査研究費・02_研修費 03_広聴広報費・04_要請陳情等活動費	
活動期間	平成30年3月27日	から	活動の概要	調査活動			
	平成 年 月 日	まで		中山間地域振興条例の検討に関連し、高知県の中山間地域対策の取組み状況を調査する。	自宅-黒部IC-富山IC- 県議会-富山IC-朝日IC -自宅		
場所	県議会						
経費の内容			金額	経費の内容			金額
鉄道・バス				宿泊料			
タクシー				食事代			
航空機				会費			
自家用車 @37 × 120 km =			4440				
リース車 @18 × km =			0				
有料道							
駐車場				計			4440
<p>《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>							

(注1) 備考欄または余白に、公共交通機関及び有料道路については利用区間、自家用車利用の場合は主な行程を記載すること。

(注2) 自家用車は利用距離数 (Km) をキロ数を入力すると金額が自動計算されます。

(注3) 経費項目の合計は自動計算されます。

收受 平成 30年 4月 12日
 決裁 平成 30年 4月 13日
 処理 平成 30年 4月 16日



事業番号	3227	
(基金項目)	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費
		02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費 08_事務所費
		04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費 10_人件費
内容	予算特別委員会の質問時 (H30.3.16) の写真撮影代	
上記の金額は 確定済み	格の内容	金額(円)
		12960
	(合計)	12960

《領収書別

整理すること。)

領 収 証

No.

30年3月22日

鹿熊 正一 様

¥ 12,960

但 議会報告用写真

上記正に領収いたしました

内 訳
現金
小切手 /
手形 /
消費税 (均)

しんぎんおと
富山市豊田本町 2-16-35
〒931-8312 TEL FAX 076-438-3326

收受 平成30年4月13日
決裁 平成30年4月13日
処理 平成30年4月16日

平成30年3月19日

請求書

鹿熊 正一 様

下記の通り御請求申し上げます

しらさぎフォト

〒931-7801

富山市豊田東町2-16-35

TEL:076-433-3926

代表 一ノ谷敏浩



御請求金額: ￥ 12,960 (消費税込み)

<当月売上明細>

商品名	単価	数量	合計
議会撮影	12,000		12,000
小計			12,000
消費税			960
合計			12,960

備考: 取引銀行
 北陸銀行豊田支店
 (普) 4016930



001.jpg



002.jpg



003.jpg



004.jpg



005.jpg



006.jpg



007.jpg



008.jpg



009.jpg



010.jpg



011.jpg



012.jpg



013.jpg



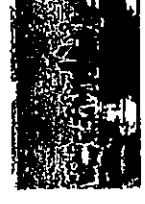
014.jpg



015.jpg



016.jpg



017.jpg



018.jpg



019.jpg



020.jpg



021.jpg



022.jpg



023.jpg



024.jpg



025.jpg



026.jpg



027.jpg



028.jpg



029.jpg



030.jpg



031.jpg



032.jpg



033.jpg



034.jpg



035.jpg



036.jpg



037.jpg



038.jpg



039.jpg



040.jpg



041.jpg



042.jpg



043.jpg



044.jpg



045.jpg



046.jpg



047.jpg



048.jpg



049.jpg



050.jpg



051.jpg



052.jpg



053.jpg



054.jpg



055.jpg



056.jpg



057.jpg



058.jpg



059.jpg



060.jpg



061.jpg



062.jpg



063.jpg



064.jpg



065.jpg



066.jpg



067.jpg



068.jpg

処理番号	3228	事務番号	
基金項目	03_広聴広報費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費
		03_広聴広報費	04_要請陳情等活動費 09_事務費
		05_会議費	10_人件費
内容	かくま正一通信NO. 3・3の郵送費		
上記内容に要した経費	内容	金額(円)	備考
		16154	
	合計	16154	


《領収書貼付枠》 (原則、領収書を貼り、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)


領収書
毎度ありがとうございます

〃 佐藤 正一様

[別納引受] 区内特別区 082	(定) 197通	37.08	¥16,154
小計		¥16,154	
郵便物引受合計通数	197通	¥16,154	
課税計		¥1,196	
(内消費税等 非課税計)		¥0	
合計 お預り		¥16,154	¥0
	現金		¥16,154
	切手		

印紙税申告納付につき廻町
税務署承認済

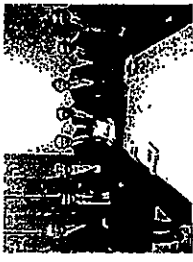


〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区霞が関1-3-2
取扱日時: 2018年 3月29日 15:19
担当: 
発行No. 180329A3515 端N03箱01
送付先: 朝日新聞郵便局
TEL: 0765-83-0911

收受 平成 30 年 4 月 10 日
 決裁 平成 30 年 4 月 13 日
 処理 平成 30 年 4 月 16 日

●下新川海岸整備 促進の要望 (11/10)

国産修海岸である下新川海岸の整備促進の要望を、毎年恒例として、国土交通省轄に行っています。



東海建設部記者

●自民党議員会、党本部・関係大臣に要望 (12/6)

北陸新幹線の空折〜数回〜大規模の早期開業に向けた公共事業の推進

土地改良事業予算の確保

地方分権推進のための安定した地方税制取組の確立



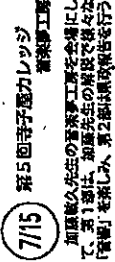
二井科事務長



東海建設部長大庭

トピックス

7/15 第5回女子力アップ 第2期研修会
加藤敏久先生の講話「工場を会場にして、第1期は、加藤先生の講話で様々な「情報」を頂き、第2期は研修会を行う」



12/24 第5回 ペアものの集い(女性部) 会場: ISKAN



第1期 コンサート

●第2部 県政報告

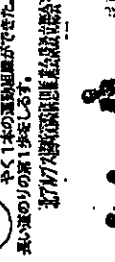


10/31~11/4 日中友好富山県地方議員連盟で四景として中国訪問(四景、北政、大崎)



選挙人大会事務局 倉澤建設部長と会談

11/22 北アルプス横断道南信濃道建設促進協議会、委員に空席代議員就任
この空席代議員は、国事への選挙活動を一歩進めたい、よやく1本の運動期間ができた、最い望りの第1歩である。



12/22 第9回 県会基本条例制定 委員会が設置された。富山県は、県会基本条例制定の委員会が設置された。富山県は、県会基本条例制定の委員会が設置された。



富山県議会のあいさつ

●かへき正一の後援

- 後援者
● 次世代人材育成、環境特別推進委員会
● 富山県会 (自民党議員会)
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会

- 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会

- 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会
● 富山県連合会

かへき正一 通信

今とあしたに責任を持つ政策

(発行日) 平成30年3月 (発行所) 自由民主党富山県連合会 (連絡所) 〒939-0742 下新川郡朝日町沼保977-1 (TEL) 0765-82-1333 (FAX) 0765-92-2113 (URL) http://kakuma-massakazu.jp (Eメール)

皆様こんにちは。平素より皆様の温かいご指導、ご支援を賜わり、元気に充実した議員活動ができております。ここにあらためて心より感謝申し上げます。当選後では、主な活動状況、《課題に挑む》《政策を届く》《現場を走る》《知事と対峙》《国政に申す》の観点から報告させて頂きたいと存じます。

社会には様々な課題がありますが、私は、特に次の2つのテーマに力を入れたいと考えています。●中山間地域(高山・村地域)の衰退は、都市部(中心部)の衰退にもつながるとの認識を県民が共有し、本県の中山間地域振興策をもっともつとめ、希望と自立の実現に取り組みます。2つとも難しいテーマですが、同志と共にしっかりと取り組み、政策に反映していく決意です。何卒、皆様のご指導と叱咤激励を引き続き賜わりますようお願い申し上げます。

平成30年春 鹿嶋 正一

●中山間地域の振興策を練る (11/7) 自民党中山間地域振興対策推進本部 高山市、朝日町を訪問し関係者と意見交換



高山市訪問のあいさつ

●高齢化・長期化する「ひきこもり状態」への対応は社会的課題 (8/31) ひきこもり対策推進委員会開催

ひきこもり対策推進委員会を開催。秋田県連盟社会福祉協議会長の新地まゆみ氏を招き講演会並びにワークショップを行いました。県内で4000人を超えると言われる「ひきこもり状態」への対応は、行政と社会、民間、NPO等が連携し地道な取組が必要であることをあらためて認識しました。

●中山間地域振興の条例 化に向けた講演会 (11/19) 高山市、朝日町を訪問し関係者と意見交換

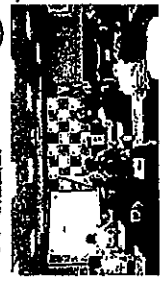


高山市訪問のあいさつ

高山市訪問のあいさつ

政策を磨く

◎臨時勉強会を開催
マツハンリゾートに
ついて勉強会
7/23



青山学院大学経済学部の勉強会

◎県議協中央会役員
との意見交換
9/14



伊豆会場の説明

◎各市町村の商工
会長等と意見交換
12/5



石狩商工会議会場の説明

◎その他

9/25 県医師会役員との
意見交換

11/29 県漁連役員との
意見交換

12/1 県士族協会役員との
意見交換

1/15 県山林協会役員との
意見交換

11/15 県医師会役員との
意見交換

12/1 県士族協会役員との
意見交換

1/15 県山林協会役員との
意見交換

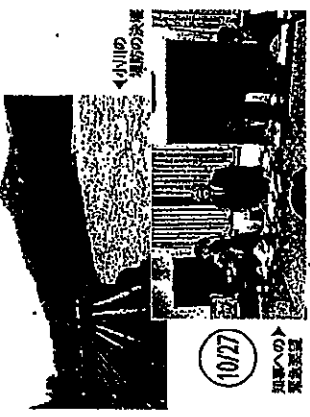
11/16 県建設業協会役員との
意見交換

自民党議員会は、これらの
意見交換会により抱積した課
題を整理し、政策パッケージ
として、知事に提言・要請を
行い、県政に反映するよう努め
ています。また、事例によっては、
国に対し要望します。

現場を走る

◎台風21号被害を受け、
自民党議員会、知事に緊急要望

要望項目
被災した漁港、河川、
被災した農林水産部
関係者に対する緊急
要請の支援



10/27 知事への
緊急要望

10/23 被災した農林水産部
関係者に対する緊急
要請の支援

知事は、11月県議会において、伊豆半島日笠町地震被害として、347,150千円、及び農機・漁業施設に対する特別融資
枠の補正予算を提案し、可決されました。

知事への

◎新川地域進捗協議会、知事に新川地区の
課題前進のため要望

主な要望項目
漁港8日入庫・船舶バリエーション整備
あいの風とやま鉄道の新線延伸
漁業関係者の接道



8/22 石井知事に要望

◎自民党代表質問 6/13



◎県内中小企業の事業継続問題について
◎働き方改革と長時間労働の是正等につ
いて
◎新法の漁業労働改善と漁業管理につ
いて
◎農がなをめぐりとりと林業の振興につ
いて
◎中山間地域の振興について

◎「富富富」の品質向上等について
◎地域におけるバリエーション生活活
躍の確保について
◎北相模原産品に関する危機管理に
ついて
◎県立高校の再編について
◎特別支援学校の充実について

質問と答弁の詳細は、富山県議会のHPに掲載されていますのでご参照ください。ここでは、質問項目に就いて2点、報告します。

「富富富」について

県は、全国でコメの新品種が相次いでデビューし産地間競争が激しくなる中で、「富富富」の生産者に登録制度を採用し、栽培基準や出荷基準の要件を定め高品質な生産を徹底することとしました。平成30年度「富富富」の登録生産者には、消費者・実需者から品質について高い評価が得られるよう期待します。

H30産「富富富」生産者登録申請状況
08.1.31現在
金 体：登録予定者数 481 登録予定面積 531ha
JAみなと：登録予定者数 36 登録予定面積 70ha

県立高校再編議論について


私は、H28の2月議会予算特別委員会、H28の11月議会一般質問、H29の6月議会自民党代表質問の3回、県立高校再編をテーマとし、小規模校の存在意義、高校生への学びと地域創生の深い関係性、議論の進め方、進捗の進捗等について質問をいたしました。しかし、H30.2.5、県総合教育会議において、知事は、泊瀬校を含む4校の統合・閉校方針を決定しました。議論の進め方について質問はありますが、私は、今後、閉校となる高校に在学する生徒一人一人への適切な教育や進路指導とならざるを得ない生徒への対応、時代が求める高校教育のあり方等について、石井知事の責任と覚悟を問うていきます。

◎自民党議員会、知事と平成30年度 予算折衝

折衝の焦点である、主要単独事業予算は、平成30年度当初予算4,900百万円、平成29年度2月補正予算1,700百万円、計6,600百万円(例年103.6%)で決着しました。また、その他の関係予算においても自民党議員会がを入れた項目は、概ね予算にされました。

折衝で決まった政策予算の一部

- ◎中小企業事業継続支援活性化事業費 250万円
- ◎とやまの農林水産物輸出促進事業費 2,100万円
- ◎富山ブランド向上対策事業費 1,200万円
- ◎農産物加工防止総合対策事業費 17,300万円
- ◎発達障害者支援事業費 170万円
- ◎とやま移住・転入促進事業費 1,100万円
- ◎福祉人材確保事業費 2,300万円
- ◎バス利用促進事業費補助金 840万円

報告者* 

報告番号	3229	
使途項目	03_広聴広報費 01_調査研究費 ・ 02_研修費 ・ 03_広聴広報費 ・ 04_要請陳情等活動費 ・ 05_会議費 06_資料作成費 ・ 07_資料購入費 ・ 08_事務所費 ・ 09_事務費 ・ 10_人件費	
内容	ホームページホスティング代(3月分)	
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)
		8467
	《合計》	8467

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)


領 収 証 005609

鹿熊正一 様 平成30年3月30日

¥ 10,584 -

株式会社 鹿熊印刷

收受 平成 30年 4月 13日
 決裁 平成 30年 4月 13日
 処理 平成 30年 4月 16日

報告者* 

経費番号	3230	経費概要	
使途項目	07_資料購入費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費 03_広聴広報費 08_事務所費 04_要請陳情等活動費 09_事務費 05_会議費 10_人件費
内容	新聞代金 (3月分)		
	経費の内容	金額 (円)	
	富山新聞	3060	
	北日本新聞、日経新聞	7072	
	読売新聞	3093	
合計	13225		

《領収書貼付枠》 (原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)



領収書

区 域	全 戸 番	お問い合わせNo
34	86.00	1899

お名前 鹿熊 正一様
殿町1495

30年 3月分

84-8305

記 号	品 名	部 数	金 額
1	読売新聞	1	3,093
2			
3			
合 計			3,093 円

◇ 左記の通り領収しました

領収日 30年 3月 30日

便利な自動振替受付中！手数料はおりません

Y C 泊

富山県下新川郡朝日町泊318




※取戻もあわせて内容を十分お読みください。

13 30-04-02	新聞代金	*7,072	
16 30-04-02		*3,060	トクモトナウ

收受 平成 30年 4月 13日
 決裁 平成 30年 4月 13日
 処理 平成 30年 4月 16日

報告者* 

管理番号	3231		事業計画番号			
経費項目	08_事務所費	01_調査研究費 06_資料作成費	02_研修費 07_資料購入費	03_広聴広報費 08_事務所費	04_要請陳情等活動費 09_事務費	05_会議費 10_人件費
内容	電気料金(3月分)					
上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)		備考		
		2074		50%		
	合計	2074				
《領収書貼付枠》 (原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)						
D30-4-9 電気料金 4,148 株式会社リョウ 						

收受 平成30年4月13日
 決裁 平成30年4月13日
 処理 平成30年4月16日